農林水産省　御中

令和６年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業
（主要な輸出先国における物流・商流の実態把握・コスト分析調査）
（東南アジア）

最終報告書

Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.　（NRIシンガポール）

令和7年3月26日

NRI

Envision the value,
Empower the change

議題

- 本調査の背景・目的およびスケジュール
- 分析の対象選定（Task 1）
- 韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）
- 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

本調査の背景・目的およびスケジュール

- 分析の対象選定（Task 1）
- 韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）
- 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査の背景および目的

本事業の背景

- 日本政府は、2030年まで農林水産物・食品の輸出額を5兆円とすることを目標とし、農林水産物・食品の輸出を促進しており、輸出拡大を行う上で、産地から海外市場までのサプライチェーンを効率化、大規模化し、低コストでより安価に高品質な日本産品を提供できるようにしていくことを志向している。その中で、貴省では、輸出先国までの戦略的サプライチェーン構築、輸出体制の促進、輸出支援プラットフォームの設置などを実施している。
- 東南アジア地域は、輸出支援プラットフォーム設置国10か国・地域の中、4か国が含まれており、日本の農林水産物の重要な輸出先となっている。そのため、同地域において輸出重点品目の輸出を促進していくことは非常に重要であり、競合国のサプライチェーンを分析することで、効果的な方策を検討する必要がある。

本事業の実施事項

- 上記の背景認識のもと、**本事業においては、東南アジア地域において、韓国など主な競合国から輸出先国までのサプライチェーンやコスト構造などの輸出実態を調査することで、日本の農林水産物・食品の輸出促進に資する方策を検討することを目的とする。**
- 具体的に、本事業では、以下を実施した。
  1. **調査対象の競合国および品目の選定**
  2. **競合国から輸出先国向けのサプライチェーン実態調査**
  3. **競合国と日本のサプライチェーンにおける相違点の分析および示唆出し**

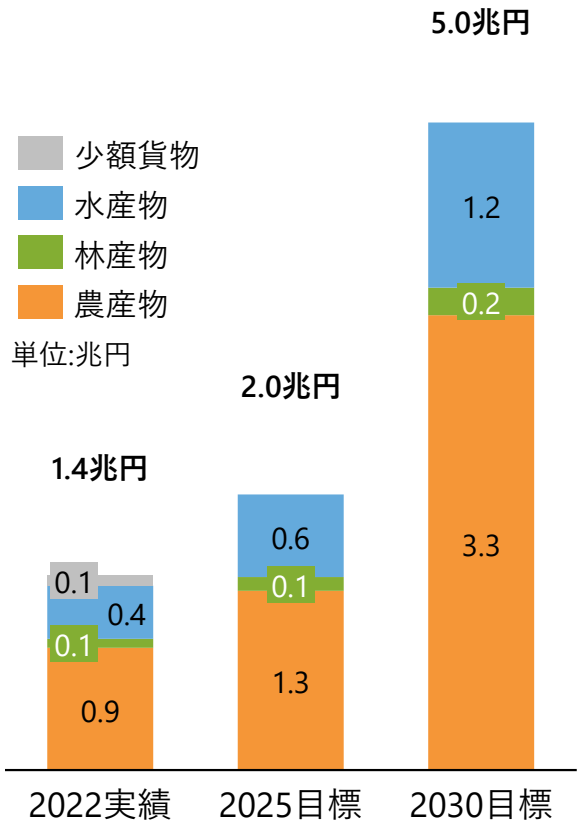
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査の背景・目的およびスケジュール

2020年に、次なる目標である輸出額5兆円が発表され、輸出促進は新たなステージに突入

- 2020年3月に「農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議」にて、2030年に輸出を5兆円にすると発表
- 「農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律」に基づき、2020年4月に農林水産省に農林水産物・食品輸出本部を設置
- 2020年11月に、政府は、日本の強みを有する品目を重点品目として選定し、輸出実行戦略を策定

新たな輸出目標



出所）首相官邸、農林水産省HP

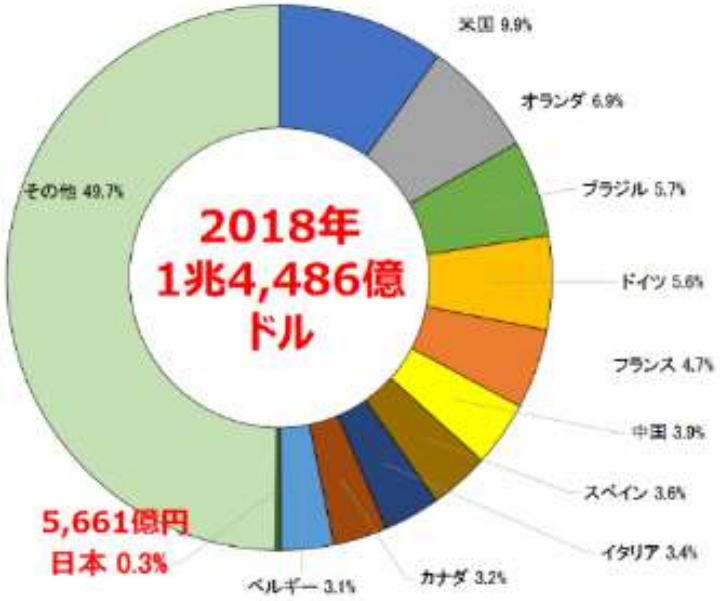
品目	2022年実績	輸出額の目標	
		2025年	2030年
畜産品	1,268億円	2,462億円	5,692億円
牛肉	520億円	1,600億円	3,600億円
牛乳・乳製品	319億円	304億円	720億円
鶏卵	85億円	63億円	196億円
穀物等	627億円	1,101億円	2,961億円
米	74億円	97億円	261億円
野菜・果実等	687億円	924億円	2,306億円
りんご	187億円	177億円	279億円
ブドウ	54億円	125億円	380億円
いちご	52億円	86億円	253億円
ながいも	27億円	33億円	65億円
かんしょ	28億円	28億円	69億円
その他農産物	1,236億円	1,449億円	2,545億円
緑茶	218億円	312億円	750億円
花き	91億円	147億円	196億円
林産物	638億円	718億円	1,660億円
水産物	3,873億円	5,568億円	1兆2,303億円
加工食品	5,052億円	7,127億円	1兆9,962億円
その他	767億円	1,110億円	2,722億円

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

5兆円目標は、輸出上位国のフランスやイタリア同等の輸出大国になることを意味する。輸出額を現状の5倍の規模に引き上げるという中で、国内での輸出体制の変革が求められている

- 輸出5兆円を達成するには、現状の国内生産額の輸出割合を2%から10%に引き上げつつ、海外市場を攻略する必要があり、体制面の見直しが必須
- 体制見直しに当たって、事業者側からは以下のような課題が存在するとのコメントがなされている
  - 輸出先国の規制・ニーズに応える産品を生産するには試行錯誤が必要。規制に対応した農薬で食品ロスが増加するなど短期的には収入減も想定される
  - 国内向け産地の余剰品を輸出しているのが実情であり、輸出先国のニーズがあっても、価格の設定、量の確保に問題がある
  - 食品製造事業者が輸出先国の規制やニーズを把握できておらず、そのため具体的な対応もできていない。ニーズに合致しているケースでも添加物などで輸出対象に出来ない
  - 継続的で地道なマーケティング活動ができておらず、結果、輸出先国での売り込む力が不足。自治体の単発イベントも多く、オールジャパンとしての継続性が確立されていない

世界の農産物輸出市場（2018年）



出所）首相官邸ホームページ

5兆円輸出の意味

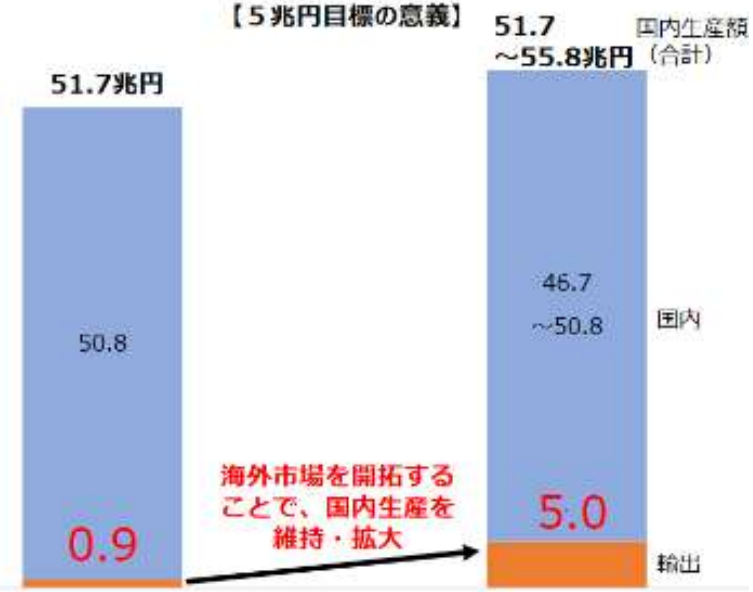
【諸外国の農産物・食品の輸出割合】

（億ドル）

国名	生産額（農産物・食品製造業）	輸出額（農産物・加工食品）	輸出割合
アメリカ	12,335	1,442	12%
フランス	2,591	730	28%
イタリア	2,302	485	21%
イギリス	1,548	286	18%
オランダ	1,066	1,018	95%
日本	4,725	84	2%

注：日本以外の諸外国の林業・漁業生産額については、比較可能な統一が取れないことから、生産額、輸出額とも含めていない。日本のみ農林水産物として算出。
資料：FAOSTAT，二井物産戦略研究所，Global Trade Atlas,生産農業所得統計，工業統計，林業産出額，漁業産出額，農業・食料関連産業の経済計算

【５兆円目標の意義】



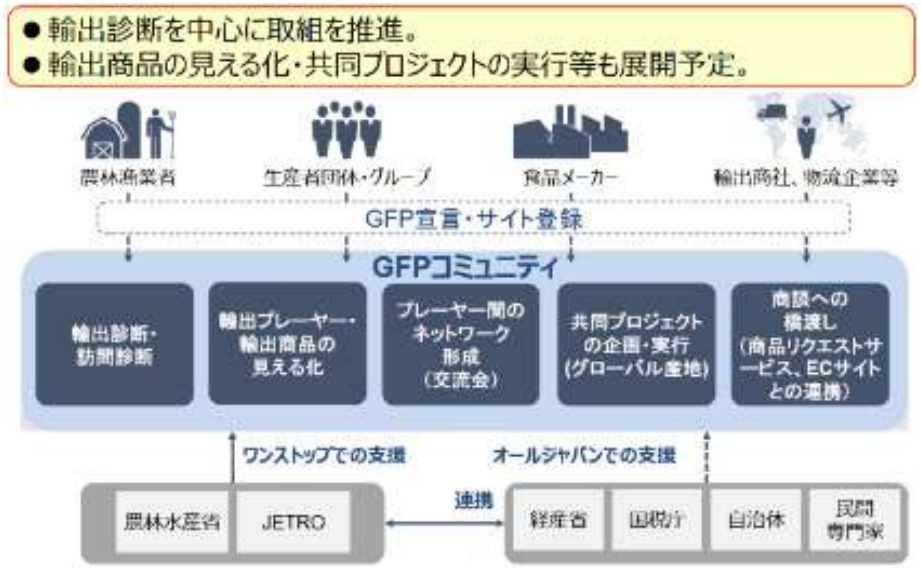
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査の背景・目的およびスケジュール

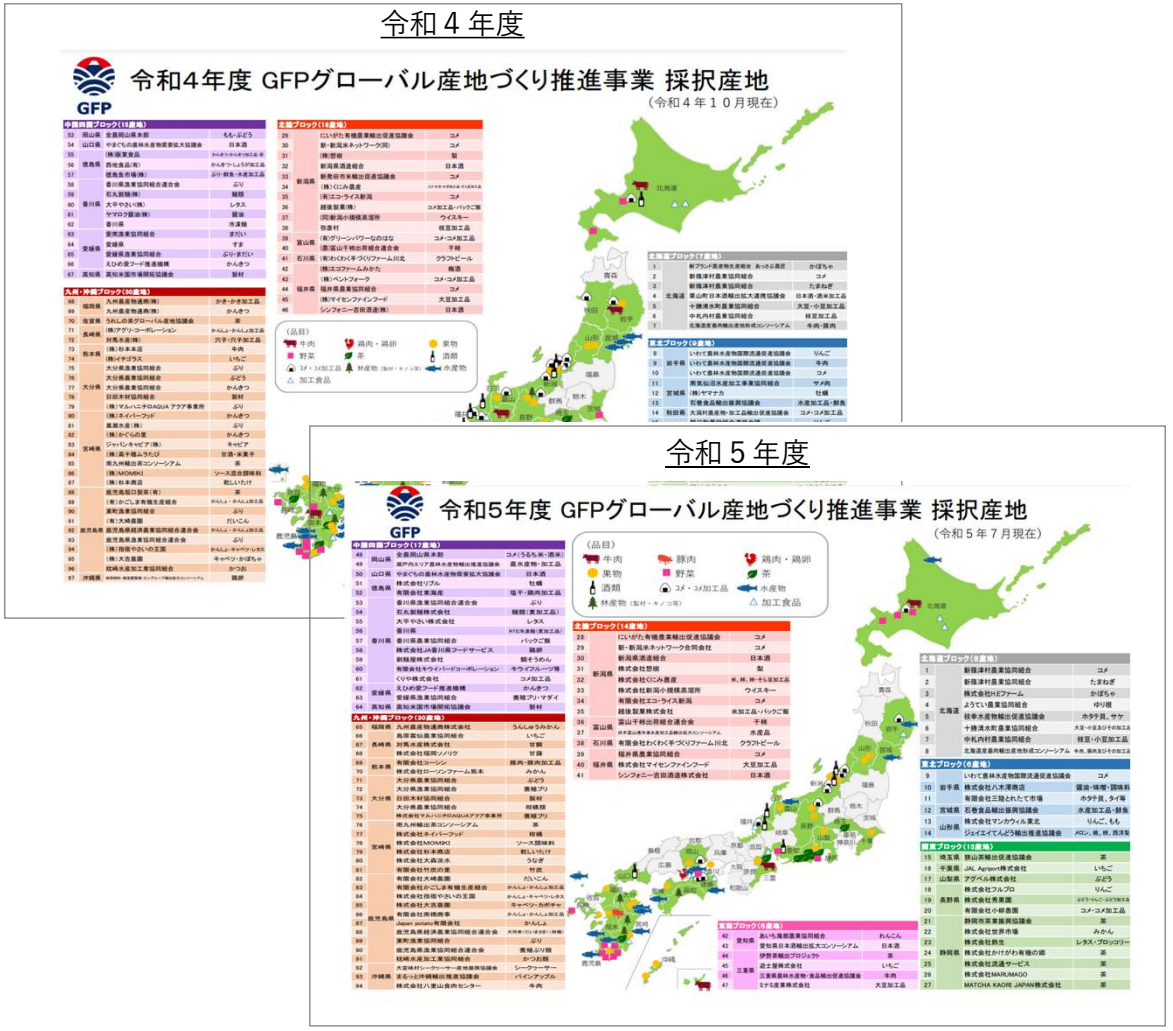
体制変革の1つとして、国内では、GFPの活動を推進
国内の関係各位を巻き込んだ輸出体制を整備すべく、輸出産地の強化を行っている

- GFPは、2018年8月に発表され、輸出診断など輸出拡大に向けた取り組みや、コミュニティーサイトなどを通じた各種議論が実施される輸出拡大の基盤（プラットフォーム）として存在
  - 輸出戦略実行事業から継続し、アクセンチュア殿が事務局を全面サポート
- GFPグローバル産地は、GFPの活動の中でも、海外から求められる品質・コスト・ロットでの生産や海外の規制等に対応した産地の形成を目指すものであり、令和５年度までに90を超える産地が採択され、現在、輸出計画を検討・実行している状況にある

GFP（農林水産物・食品の輸出プロジェクト）について、



GFPグローバル産地（採択産地）



出所）農林水産省ホームページ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

海外現地においては、重点輸出国の主要都市に、現地商習慣や法規制等に関する専門的知見のアドバイスを行う支援部隊として、「輸出支援プラットフォーム」の整備を進めている

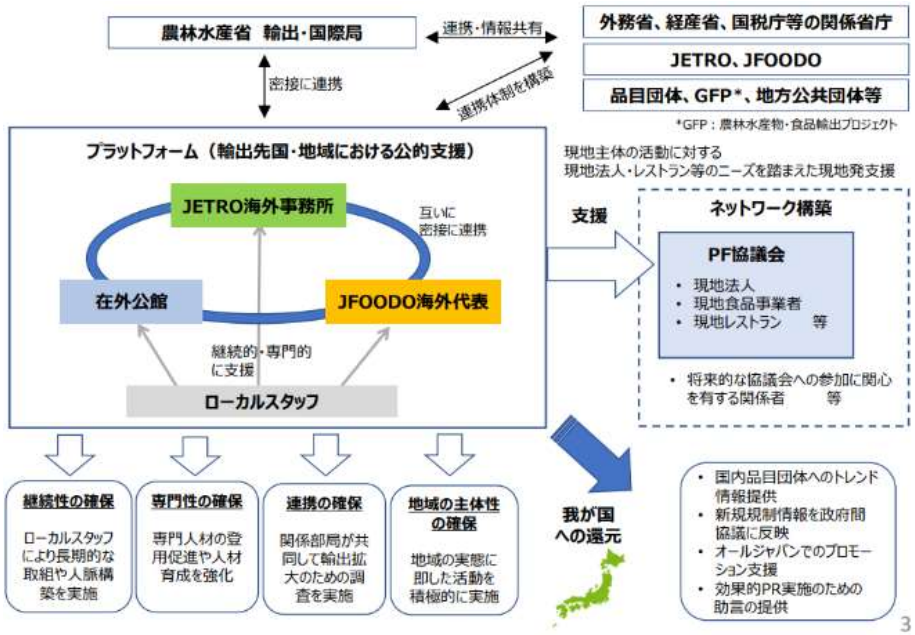
- 輸出支援プラットフォームは、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、マーケットイン・マーケットメイクの輸出を進めるため、輸出先国・地域において輸出事業者を包括的・専門的・継続的に支援するために設立された。
  - 輸出支援プラットフォームでは、輸出先国・地域の在外公館やジェトロ海外事務所等が主要な構成員として連携するとともに、現地事情に精通した人材をローカルスタッフとして活用し、輸出事業者等を支援する体制を整備
- 輸出支援プラットフォームの活動として、「事業者や地方公共団体からの様々な相談対応及び現地発の情報発信」・「オールジャパンでのプロモーション活動への支援」・「未開拓商流の新規開拓」・「現地事業者との連携強化」などを実施している。
  - 上記に加えて、2023年度から、輸出支援プラットフォームでは順次模倣品対策窓口を設置し、農林水産物・食品の模倣品について、相談や疑義情報等を受け付けている

プラットフォーム設置国・地域

設置国・地域	事務局設置都市
米国	ロサンゼルス
	ニューヨーク
	ヒューストン
タイ	バンコク
シンガポール	シンガポール
EU	パリ
	ブリュッセル
ベトナム	ホーチミン
香港	香港
中国	北京
	上海
	広州
	成都
台湾	台北
マレーシア	クアラルンプール
UAE	ドバイ

出所）農林水産省ホームページ

輸出支援プラットフォーム（PF）のイメージ



Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査の背景・目的およびスケジュール

また、2023年の輸出拡大実行戦略の改定にて、「戦略的サプライチェーン」が明文化された

輸出拡大実行戦略改訂のポイント（令和5年12月25日）

戦略的サプライチェーンの構築（輸出拡大実行戦略の改訂のポイント③）

1．現地商流の開拓支援の強化

○ 輸出支援プラットフォームを活用し、**日系以外も含めた現地商流に対する新規のアプローチを強化**するため、現地スーパーや飲食店を対象とした販売促進や商談会等の開催により商流構築を支援するとともに、品目団体の現地体制の強化を進める。

○ 市場として有望な国・地域に**輸出支援プラットフォームの設置を拡大。**
（8か国・地域、14拠点⇒2023年度中にも10か国・地域、16拠点へ）

◆現地商流に対する新規のアプローチ強化

○ ベトナム・輸出支援プラットフォームが仲介し、現地の大型スーパー「MMメガマーケット・ベトナム」の店舗で日本産食品フェアを実施。

北海道産ホタテが一番の目玉

北海道産牛肉特設販売

◆輸出支援プラットフォームの設置拡大

○ 2023年12月５日、米国テキサス州ヒューストンにおいて、米国輸出支援プラットフォームのヒューストン拠点を立上げ。

○ 2023年度中に、マレーシアとUAEにも設置予定。

◆輸出支援プラットフォームの設置状況

◆輸出先進国（米国）の取組事例

7

戦略的サプライチェーンの構築（輸出拡大実行戦略の改訂のポイント③）

2．海外展開プロジェクトの支援

○ 農林水産物・食品の輸出に伴い海外で生じる利益を日本の食品産業事業者が取り込めるような海外展開を促すため、**投資に係るフィージビリティ・スタディへの支援**や公的機関による資金供給（海外事業展開に利子助成制度を創設）により、**海外現地における加工・流通施設等に対する投資案件の形成等を促進。**

◆ 輸出の各段階におけるコスト構造例
（シンガポールにおける日本酒のケース）

飲食店への販売

蔵出荷額（四合瓶）	1,500 円（卸業者へのマージン15%は除く）
物流コスト（船便）	560 円
関税	750 円
輸入業者マージン（※）	800 円
飲食店マージン（※）	3,200~4,800 円
売価	6,820~8,420 円

日本の事業者の**海外展開**により、海外で生じる**利益を取り込む。**

注：上記は、2021年３月時点での聞き取り情報。典型的な純米吟醸酒（四合瓶1,500円）の飲食店での価格。１５ドル＝80円で計算。輸入業者及び飲食店マージン（※）には、経費と利益が含まれる。

出典：JETRO海外流通実態調査（シンガポール）

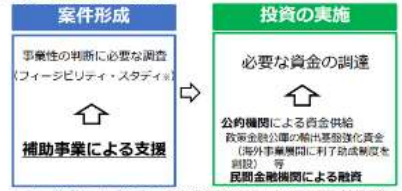
◆ 想定される海外展開の類型

①現地での加工、外食の展開 ⇨ ・付加価値を高めた販売の拡大 ・日本からの原材料の輸出拡大

②現地での物流構築 ⇨ ・オペレーション効率化によるコスト縮減

③現地でのライセンス生産 ⇨ ・ロイヤルティ収入の獲得

◆ 投資案件形成の支援策



※フィージビリティ・スタディ：事業の実現可能性についての事前調査（市場調査（予測）、法務調査など。金融機関側が融資決定をする際の重要な判断材料）

8

戦略的サプライチェーンの構築（輸出拡大実行戦略の改訂のポイント③）

◆ 海外展開の事例

JA全農による鶏卵加工工場の運営（香港）

経緯
- 本年３月、JA全農インターナショナル香港が葵涌に食品工場を新設。

機能
- 4,000平方フィートの工場で、日本産鶏卵を用い、卵焼き、温泉卵など卵加工品を製造。
- 香港の日系すしチェーンや日本食レストランからの需要に応えた卵商品を提供。
- 各レストランのニーズに応じた多様な卵加工品を製造予定。また、深セン や広州への輸出の可能性も追求。

川崎汽船による冷蔵・冷凍倉庫運営（タイ）

経緯
- 川崎汽船は、2021年度事業計画において、タイ・サムットプラカーン県において行う冷蔵・冷凍倉庫運営事業及び常温倉庫運営事業を位置づけ。JBIC融資を活用。

機能
- 現地に進出する日系企業との関係性を基盤に倉庫事業・配送事業を展開。
- 急成長を遂げるEコマース需要の取り込みや取扱貨物の多角化を図るとともに、生鮮・冷凍食品等の品質を長く維持し、品質劣化を防止。

（参考）対外直接投資による収益

- 日本から海外への直接投資からの収益（食料品業）は、９，８５７億円（２０２２年）

出典：国際収支統計（財務省）
注：直接投資からの収益とは、海外子会社等が当期に獲得した利益のうち、親会社に帰属するものを示す。

9

戦略的サプライチェーンの構築（輸出拡大実行戦略の改訂のポイント③）

3．品目団体の取組強化

○ 認定品目団体については、今後、規格策定等を通じた**物流効率化などに向けた取組を強化**するとともに、それらの会員が求めるサービスに見合った拠出金等の徴収や、会費の増大等により、輸出促進活動に必要な**自主財源の充実**を図ることを目指す。

◆令和４年10月の制度開始後、**27品目15団体**を認定。
（前回開催会合以降、11品目６団体を新たに認定）

認定団体名	対象とする輸出重点品目
（一社）全日本菓子輸出促進協議会	菓子
（一社）日本木材輸出振興協会	製材、合板
（一社）日本真珠振興会	真珠
日本酒造組合中央会	清酒（日本酒）、本格焼酎・泡盛
（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会	コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品
（一社）全国花き輸出拡大協議会	切り花
（一社）日本青果物輸出促進協議会	青果物７品目※
（公社）日本茶業中央会	茶
（一社）全日本鮮魚振興会	鮮魚
全国醤油工業協同組合連合会	醤油
全国味噌工業協同組合連合会	味噌
（一社）日本ほたて貿輸出振興協会	ホタテ貝
（一社）日本海藻漁業輸出推進協会	ぶり、たい
（一社）日本畜産物輸出促進協会	牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、牛乳乳製品
全日本カレー工業協同組合	ソース混合調味料のうち カレールウ及びカレー調製品

※りんご、ぶどう、もも、かんきつ、かき・かき加工品、いちご、かんしょ・かんしょ加工品・その他の野菜

◆物流効率化等のための包材等の規格化の取組

✓ 産地間で異なるかんしょや包材の規格を統一して実証を行い、リレー出荷による安定供給や物流効率化を図る。

◆自主財源の充実を見据えた取組

✓ オンライン商談会の取引ソフトウェアの開発及びオンラインでも真味の品質を正確に表現できる撮影方法の検証を行い、業界内でのコンセンサスを得た上で手数料等の一部徴収を目指す。

10

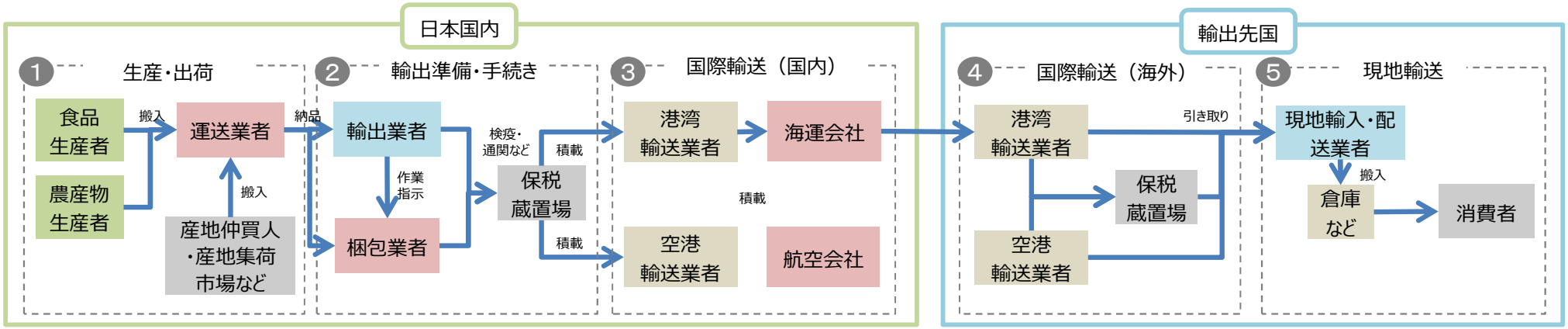
出所）農林水産省ホームページ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査の背景・目的およびスケジュール

弊社は、過去に輸出先進国の取り組みついて、5兆円目標となった際に調査事業を担当。商流や物流、金流など、幅広い体制や仕組みの整備を進めていくことの重要性を整理した

輸出業務の全体像



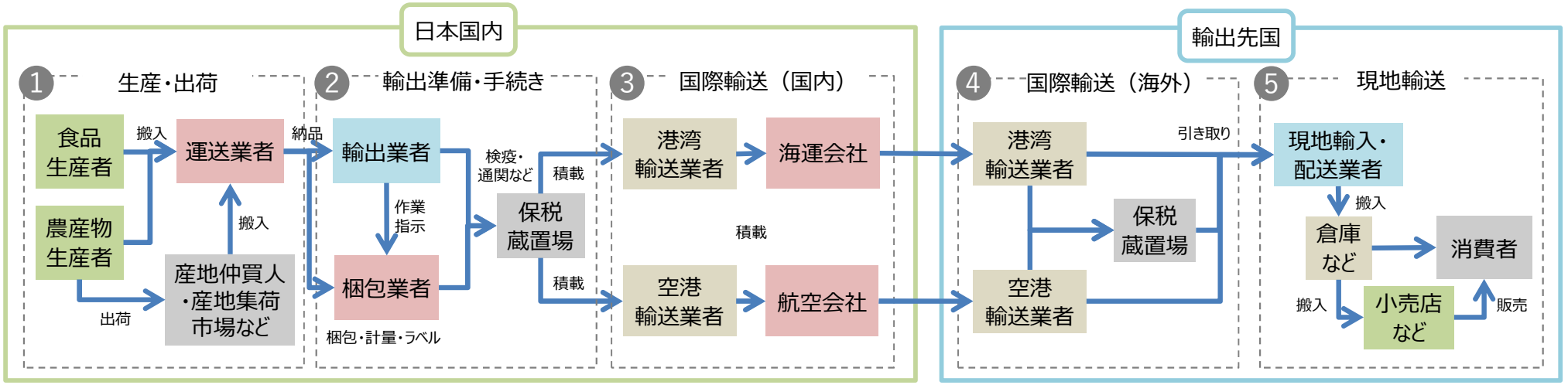
生産	戦略商材生産拡大	不足産品の第三国・現地生産体制整備
	生産性向上（設備・IT）	一次加工体制整備
商流	自国産品の品質保証	現地流通・物流における連携先ネットワークの整備
	輸入規制・関税等の交渉	デジタルでのプロモーション
	産品トレース・サプライチェーンプラットフォーム（ブロックチェーン活用等）	
物流	物流資材の共通化	電子通関・相互電子認証
	共同物流の推進	輸出先現地での共同物流インフラの整備
	自国基準（添加物・残留農薬）での農産品・食品の輸出入に向けた交渉	
金流	輸出保証金融等の事業者のリスク低減	
情報流	生産者・輸出業者等が連携した輸出チーム組成	現地市場情報等収集と戦略・施策活用
	品目別輸出促進団体の強化	
	マーケットや商流・物流に関する情報データベース	

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

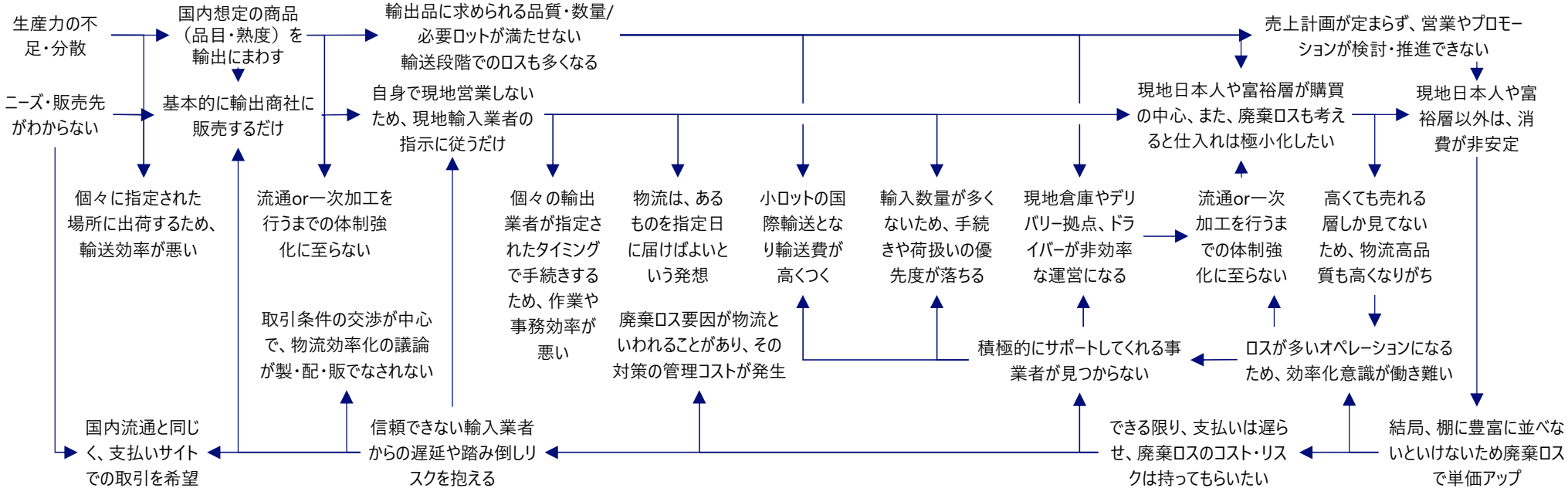
また、改めて、日本の輸出課題を整理すると商流・物流、また金流面での課題が多く、サプライチェーンという目線で効率化の余地を引き続き探索していくことが重要である

■ 食品輸出に必要な3つの流（物流・商流・金流）は、それぞれ単独では解決できず、その関係性も意識する必要がある

輸出業務の全体像



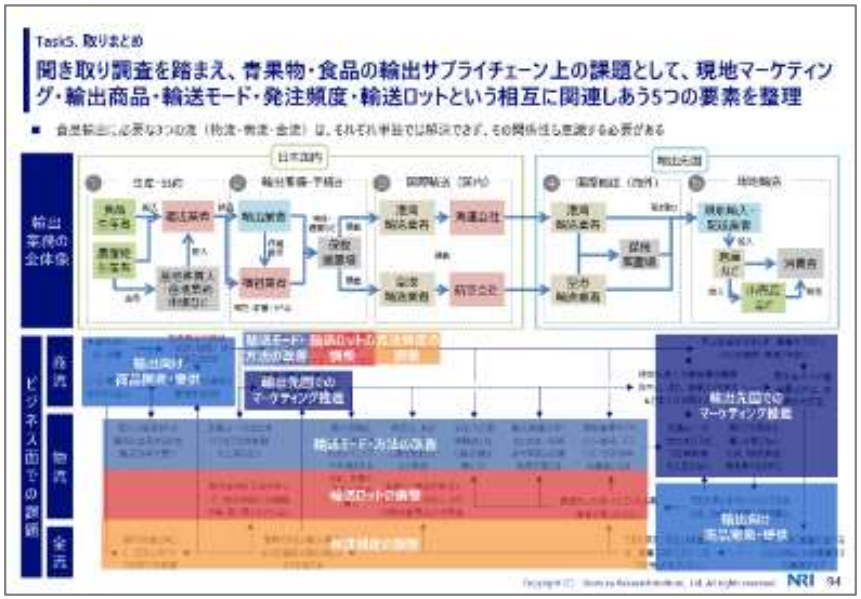
ビジネス面での課題

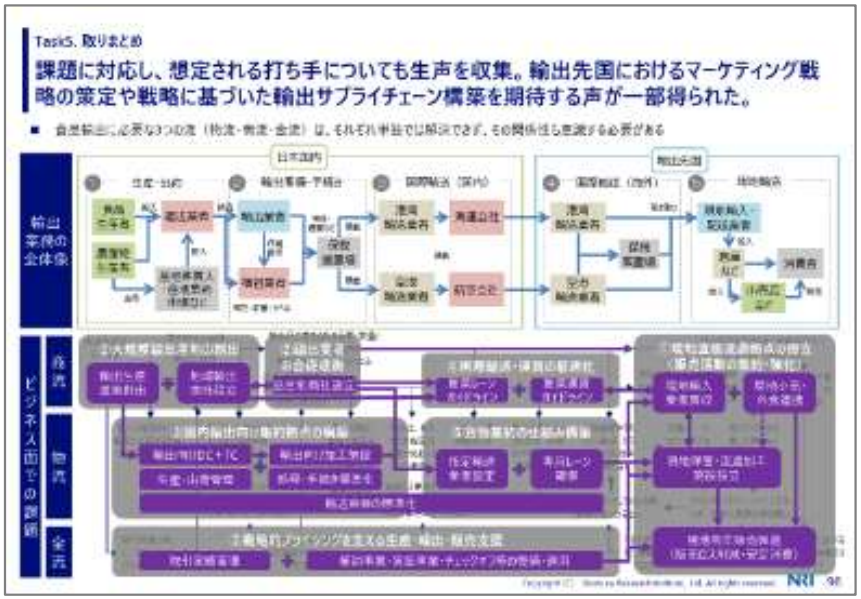


Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査の背景・目的およびスケジュール

昨年度のサプライチェーン調査では現状調査と課題に対する方策整理と優先順位付け等を実施。今年度は、他国の状況調査結果を踏まえアップデートを行っていく位置づけと認識



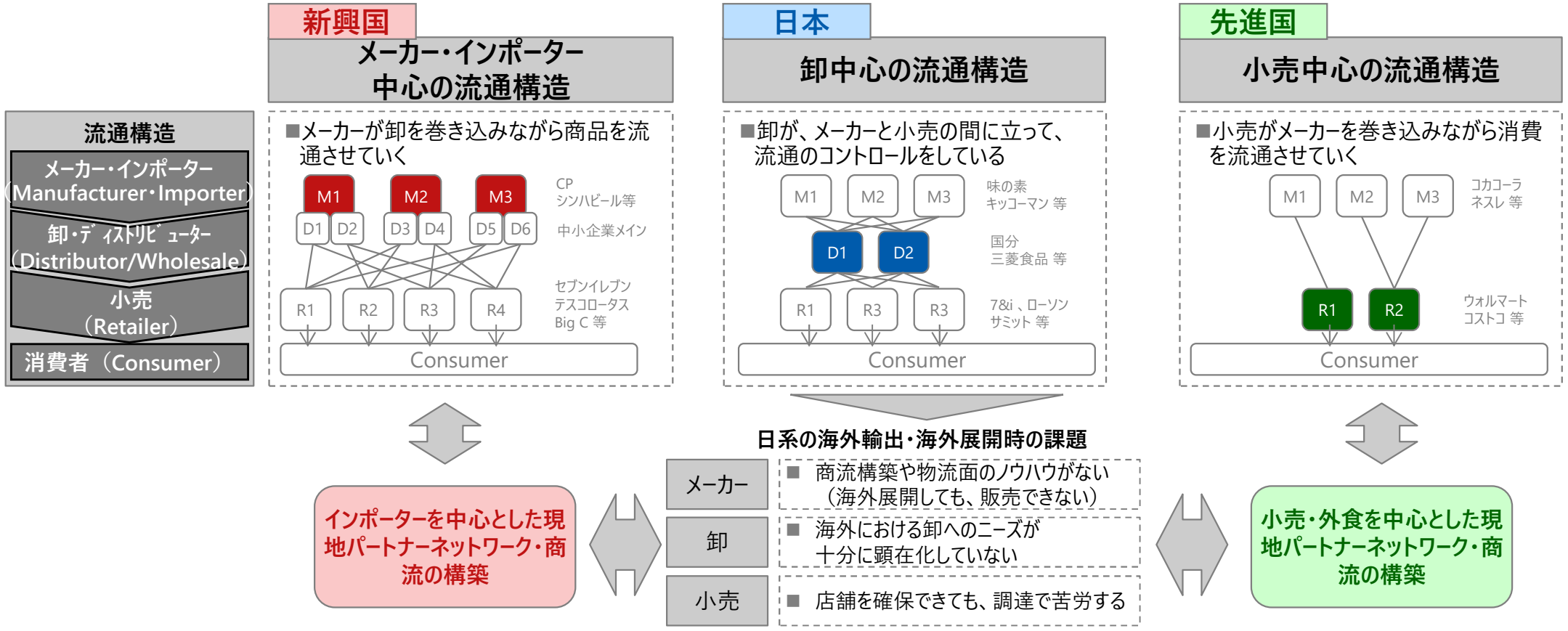


Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

商流については、流通構造や商習慣の違いがネック。日本企業の多くは、食品卸に良いものを提供すれば売ってくれるという習慣からの脱皮ができず、海外展開につまずくケースが多い

- 世界の食品流通構造は、大きく“①メーカー（インポーター）主導型”、“②卸主導型”、“③小売主導型”の３つに整理される。日本企業は、海外も日本と同じ流通構造（“②総合卸主導型”）であると勘違いし、現地側と日本側の役割分担の認識などが一致せず、商流の構築まで至らないケースが多い。
- そのため、輸出時には、現地パートナーの声を十分吸い上げ、その意味を咀嚼し、どのような連携をしていくべきかを考えていくことが、海外展開の成功確率を高めるために必要であると想定される。

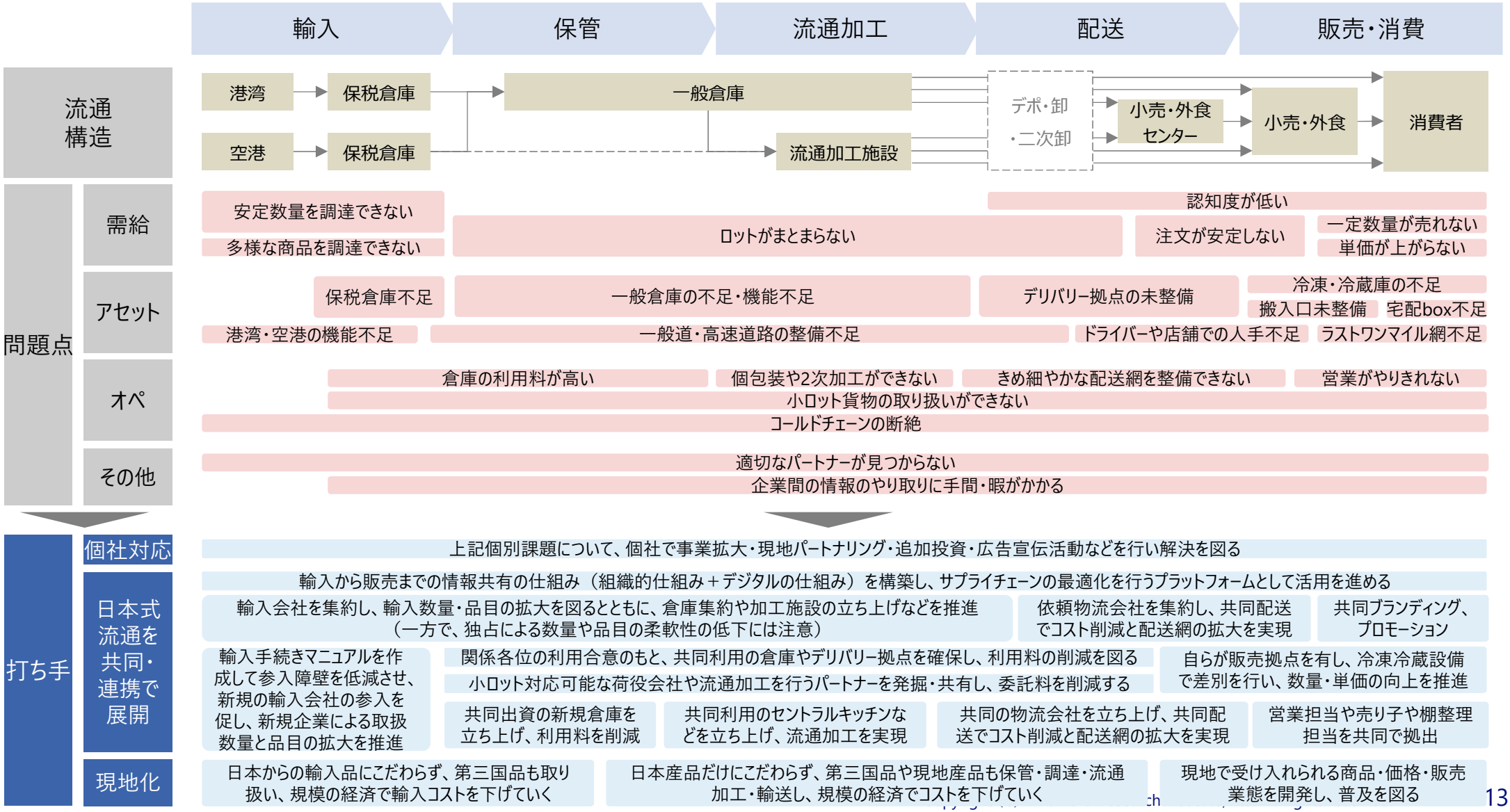
流通構造の３パターン



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

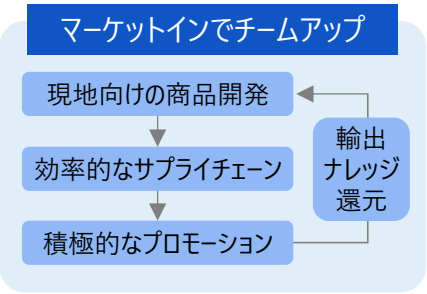
商流を掴み、生産～販売をトータルコーディネートできる日本輸出のサプライヤー育成が必要。中でも、早く着手しやすいのは現地流通を一元管理できる輸入業者の育成と想定される

■ 以下は、海外現地の日本産の流通における課題と打ち手を弊社過去知見踏まえて整理したもの。

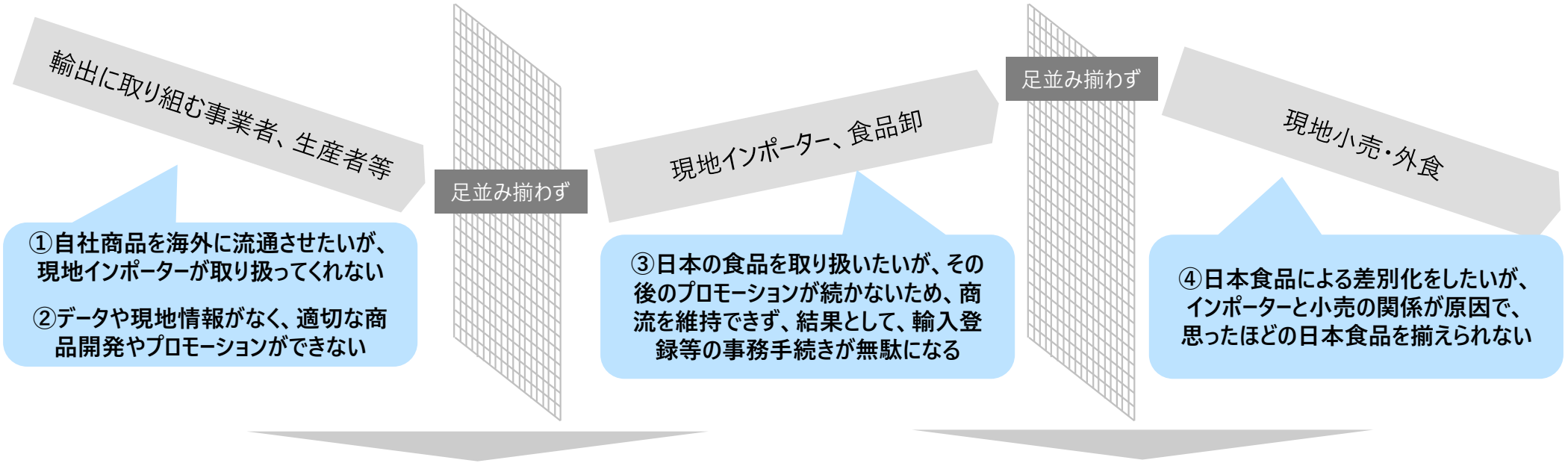


根本課題は、国内・海外の関連主体の足並みがそろっていないこと。同じ方向性を向くために、輸出における共有課題と共通のゴールを設定し、そのゴールを目指す連携チームの組成が重要

- 【輸出に取り組む事業者、生産者等】 海外市場の魅力や食品輸出の難しさの知識不足。また、国内が最優先のマーケット
  →**国内向けの産品を海外に輸出するというプロダクトアウトの発想が中心**
- 【現地インポーター・食品卸】 調達先の探索や輸入手続き、現地輸送手配など商材1つ流通させるのに手間がかかる
  →**商品数は増やしたいが、日本からの協力が得られる商品でなければやりたくない**
- 【現地小売・外食】 売上の中心は、現地産品や他国産品であり、日本産品に割ける棚・区画は一部のみ
  →**現地向けの商品でなければ、日本産品は特定コーナーにおけるキラーコンテンツどまり**



輸出に取り組む事業者の足並み不揃いの状況とマーケットインを通じた連携活動促進の必要性



マーケットインでのチームアップに向けて実施すべき事項

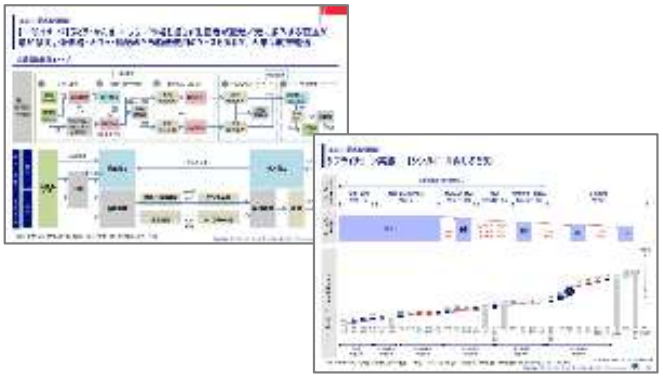
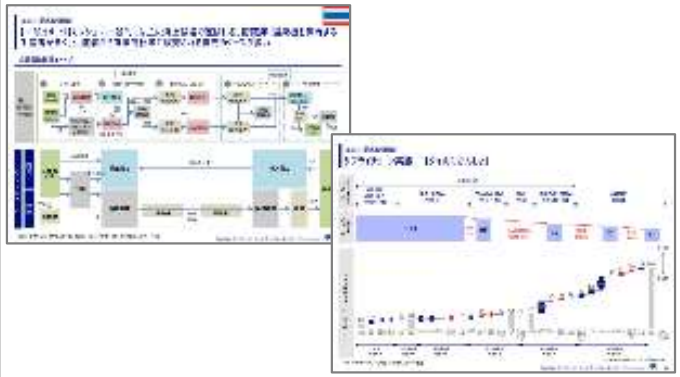
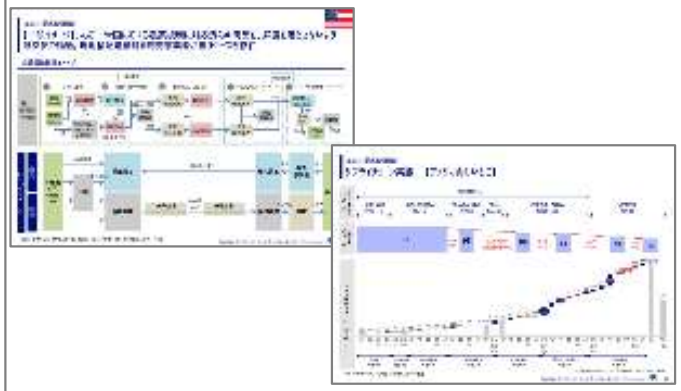
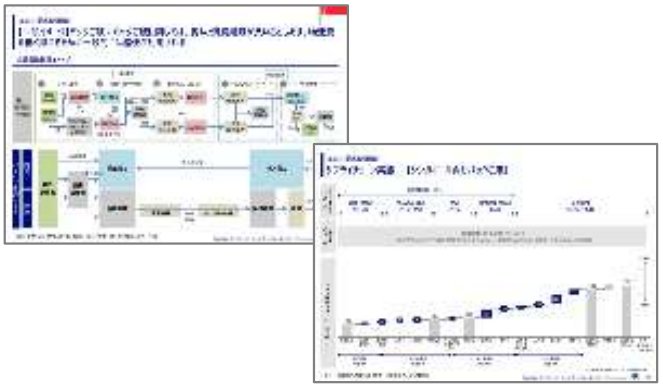
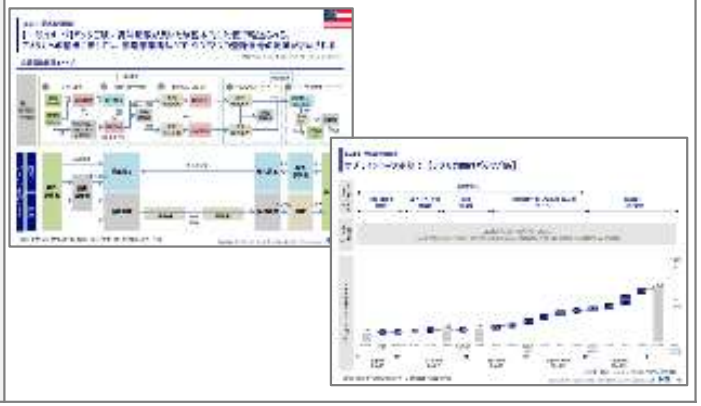
- （１）ターゲット消費者の具体化・ニーズの把握
- （２）流通構造の見える化と現地パートナー構築
- （３）輸出・現地販売拡大が見込まれる販売戦術の構築

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査の背景・目的およびスケジュール

共通認識を醸成するために、昨年度は以下対象国・品目に関し日本からのサプライチェーン・コスト構造の把握を実施。今年度は競合国に焦点をあてた深掘り調査の実施が主題

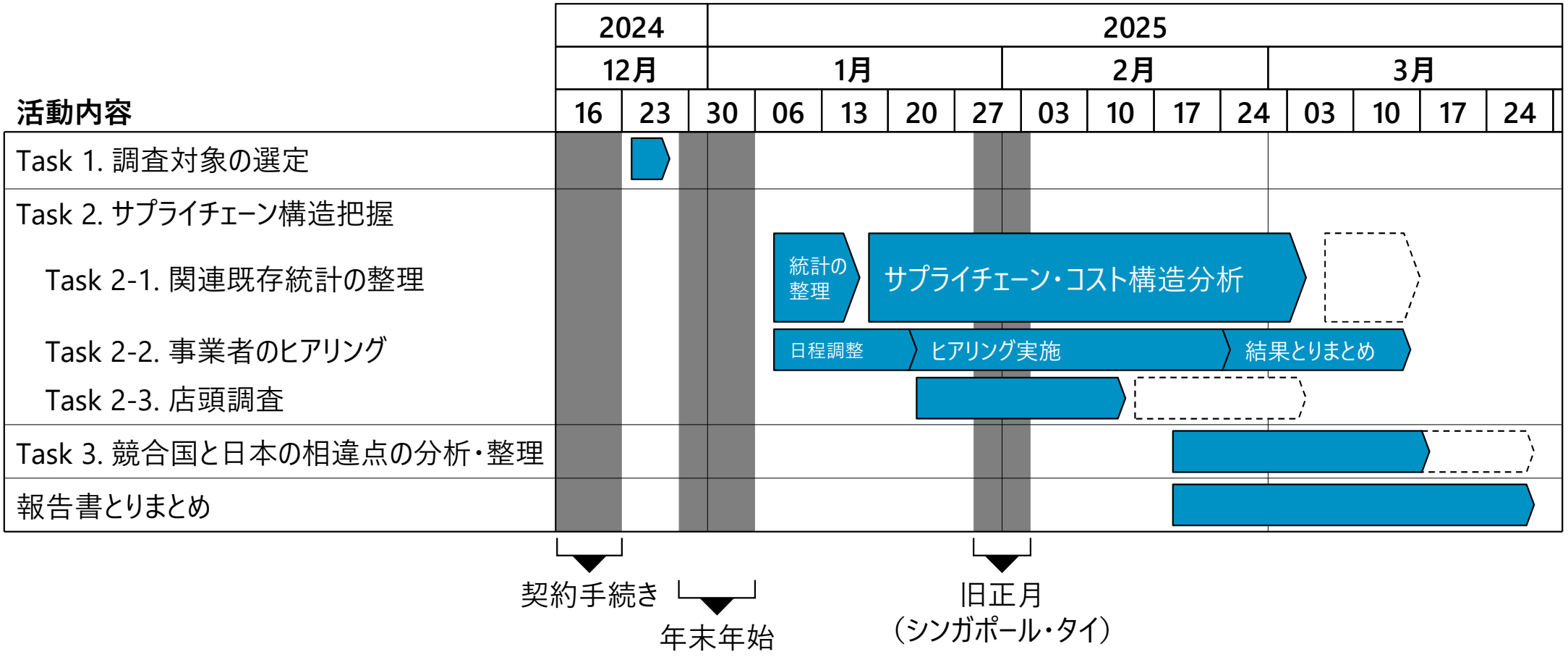
昨年度の調査対象国・対象品目（日本からのサプライチェーン・コスト構造の把握）

	対象国		
	シンガポール	タイ	アメリカ
青果物	ブドウ・かんきつ・もも 	カンショ 	いちご 
加工食品	パックご飯 	－	パックご飯 

出所：農林水産省

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

本調査におけるスケジュールは、以下の通りであった



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- 本調査の背景・目的およびスケジュール
- **分析の対象選定（Task 1）**
- 韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）
- 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

分析の対象選定（Task 1）

タイ・シンガポールに対して高単価のブドウ及びいちごを対象品目とし、品種や市場でのポジショニングが類似している韓国を競合国として調査対象にした

Step 1.　輸出先国の特定

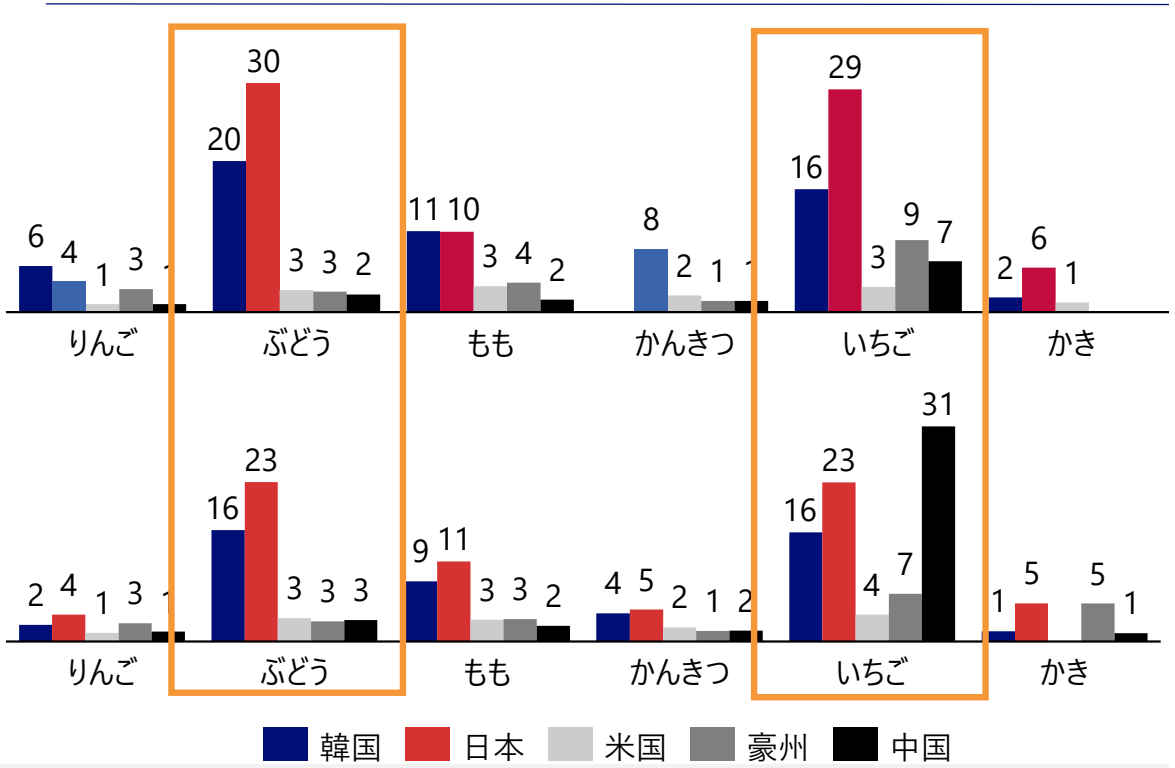
日本からの青果物輸出が多い国（2022）

国名	輸出額（量）	地域
台湾	206.8億円（47,739トン）	東アジア
香港	189.3億円（25,350トン）	東アジア
タイ	20.9億円（3,207トン）	東南アジア
シンガポール	20.3億円（3,223トン）	東南アジア
米国	10.8億円（2,301トン）	北米
・・・	・・・	・・・

✓　輸出先国は、①輸出支援プラットフォーム設置国、かつ、②東南アジア諸国（ASEAN加盟国）の中で選定

Step 2.　輸入単価をベースとした品目および競合国の特定
（輸出重点品目の中、果樹・野菜6品目（かんしょを除く））

主要国別・品種別の輸入単価の比較[注]



✓　調査品目は輸出単価が高く、輸出促進施策の期待効果が大きいブドウといちごが有望

✓　競合国としては、ブドウといちごにおいて、少量・プレミアム品種に集中するというポジショニング類似している韓国が妥当

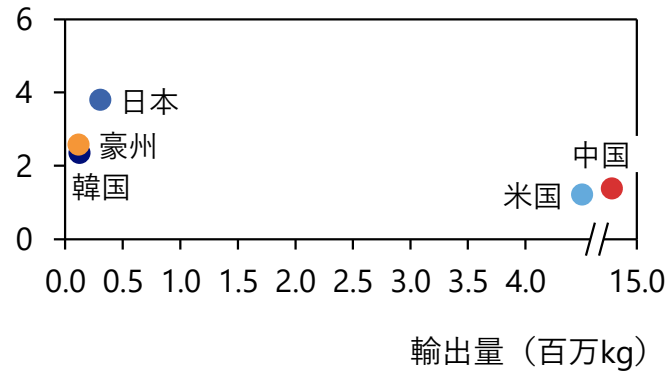
注）それぞれの品目に対するHSコードは右の通り。りんご（080810）、ブドウ（080610）、もも（080930）、かんきつ（080521）、いちご（081010）、かき（081070）
出所）農林水産省、貿易統計、UN ComtradeよりNRI作成

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

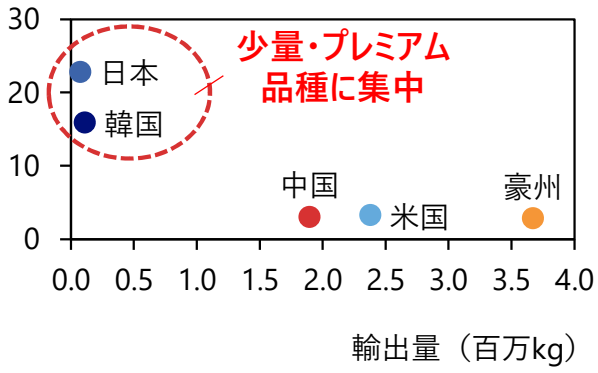
分析の対象選定（Task 1）

シンガポール向けでもブドウといちごは、少量・プレミアム品種を追求する日韓のポジショニングが類似しており、参考とすべき価値があると思料

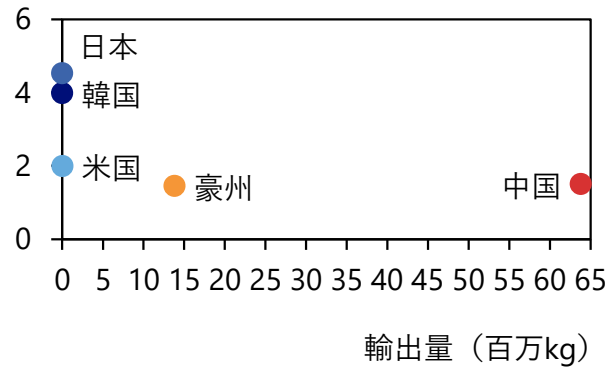
りんご



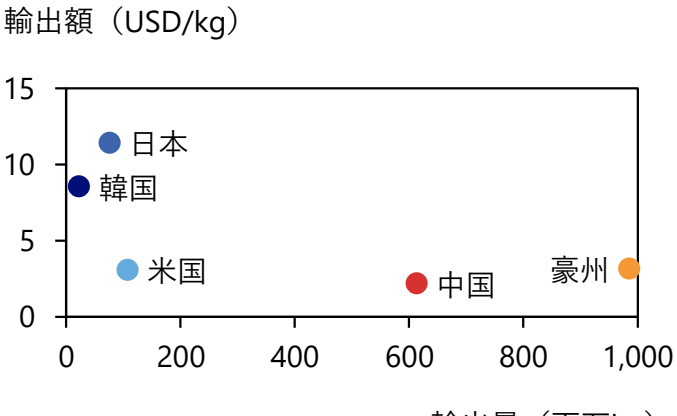
ブドウ



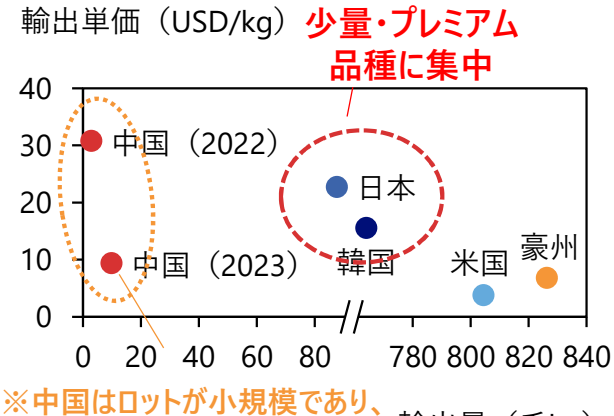
かんきつ



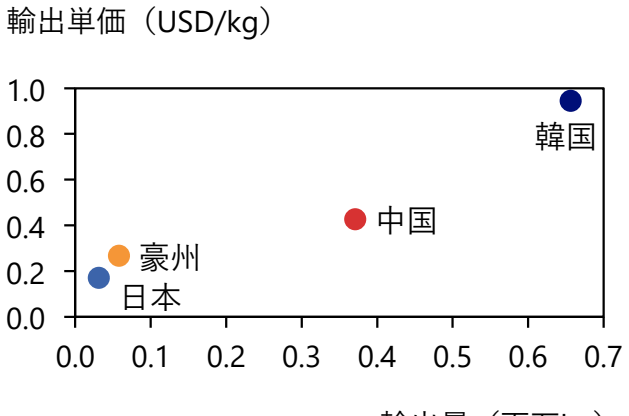
もも



いちご



かき

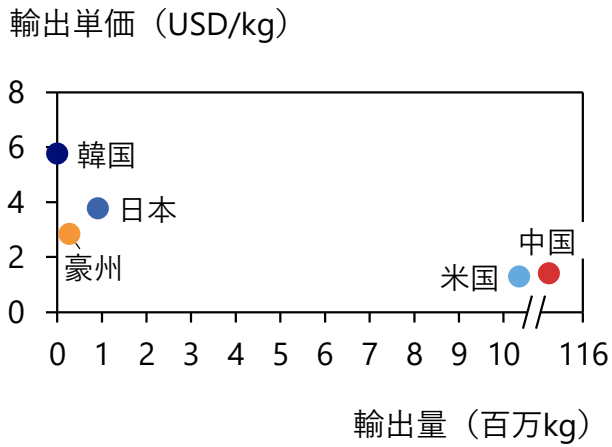


Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

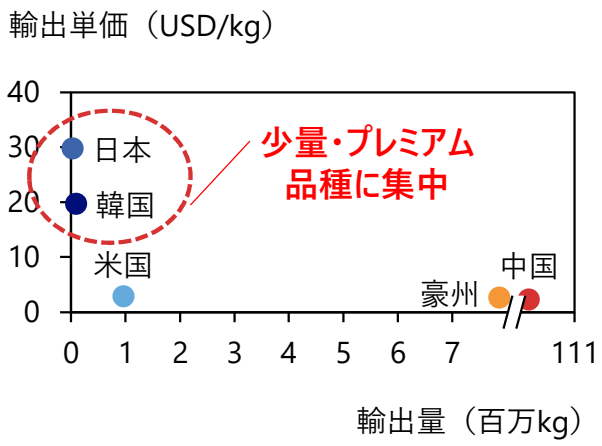
分析の対象選定（Task 1）

タイ向けの６つの品目の輸出量および輸出額から、韓国産のブドウといちごが調査対象として有望。一方、韓国産かきは、輸出規模や額が他品目に比べて小さく、優先順位から劣後と想定

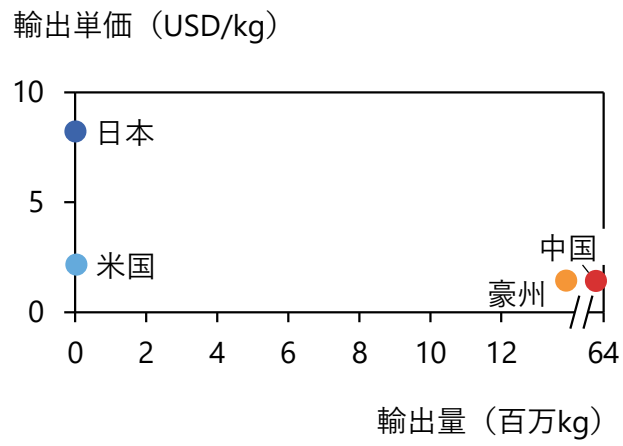
りんご



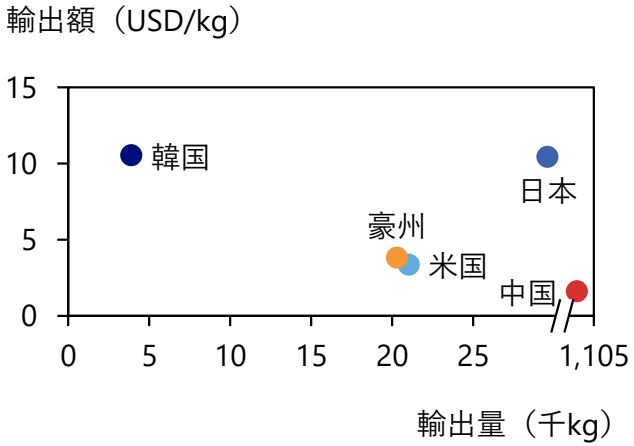
ブドウ



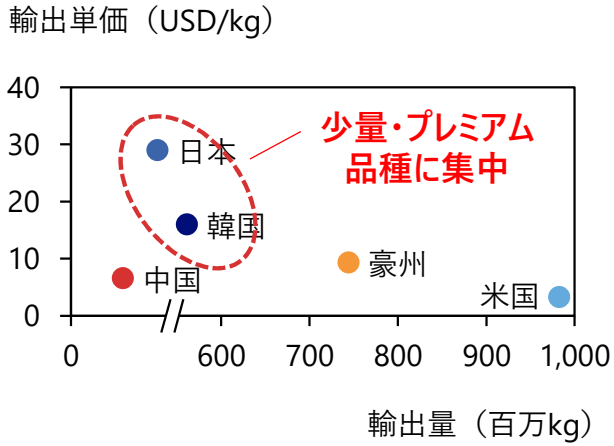
かんきつ



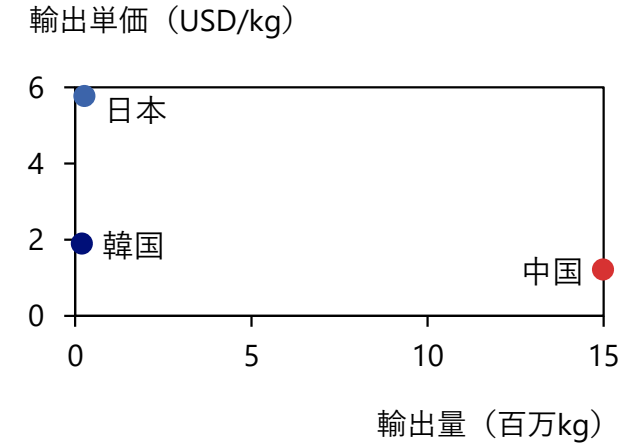
もも



いちご



かき



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- ■ 本調査の背景・目的およびスケジュール
- ■ 分析の対象選定（Task 1）
- **韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）**
  - ● 韓国の青果物輸出体制の概観
  - ● 韓国産シャインマスカットおよびいちごのコスト構造
  - ● 輸出先国で韓国産を販売する事業者の状況詳細
- ■ 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

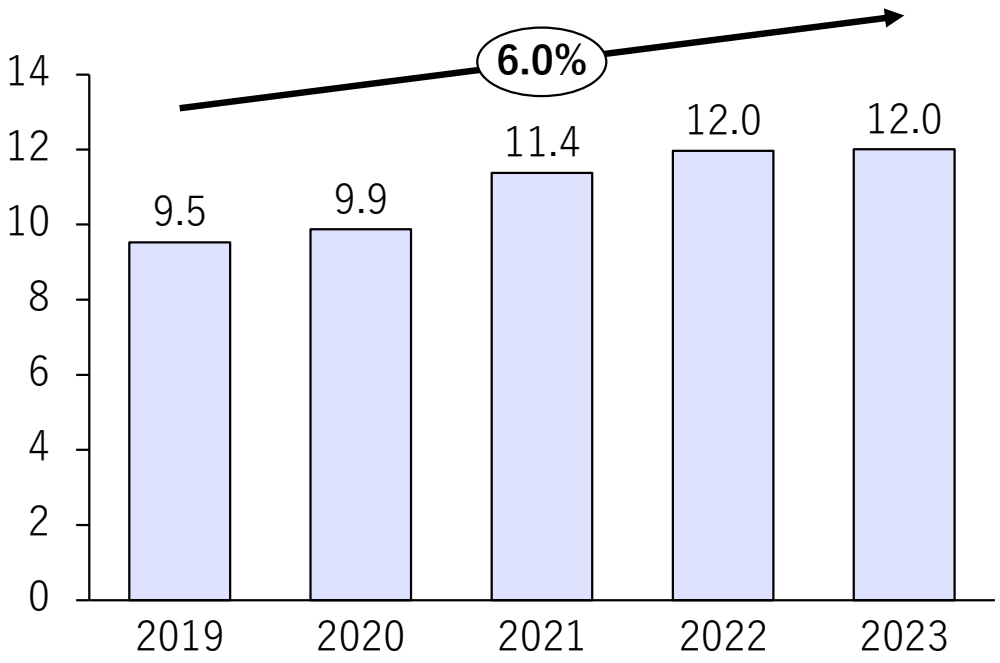
- 本調査の背景・目的およびスケジュール
- 分析の対象選定（Task 1）
- **韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）**
  - **韓国の青果物輸出体制の概観**
  - 韓国産シャインマスカットおよびいちごのコスト構造
  - 輸出先国で韓国産を販売する事業者の状況詳細
- 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）韓国の農業・食品輸出の状況(1/2)

農林水産食品　輸出

単位：10億USD



- 韓国は、主にアジア圏（日本、中国、ASEANなど）を中心に輸出を行っている。
- 主な輸出品目は、生鮮食品および水産物

直近・今後の動向と成長戦略

a　K-Food+ Export Strategy (2024)

- 韓国政府は、2024年、「K-Food＋」という輸出戦略を立て、農林水産物および農業機械、スマートファームなどの輸出の促進に向けた政策を打ち出している
- 目標は、2027年まで230億ドル（約3.5兆円程度）まで輸出額を増やすこと
- 地域としては、中東、南米、インドなどの新興国市場にけるシェアを2027年まで12%まで伸ばすことを目標としている

b　Agri-Food Global Growth Package (2024)

- 中小食品メーカーへの輸出支援政策パッケージとして、「Global Growth Package」も立ち上げ、輸出先国におけるマーケティングや現地化を支援
- 2024年、物流費支援など補助金撤廃に備え、企業支援政策の一環として導入
- 総予算額は、約2,400万ドル（約37.5億円）

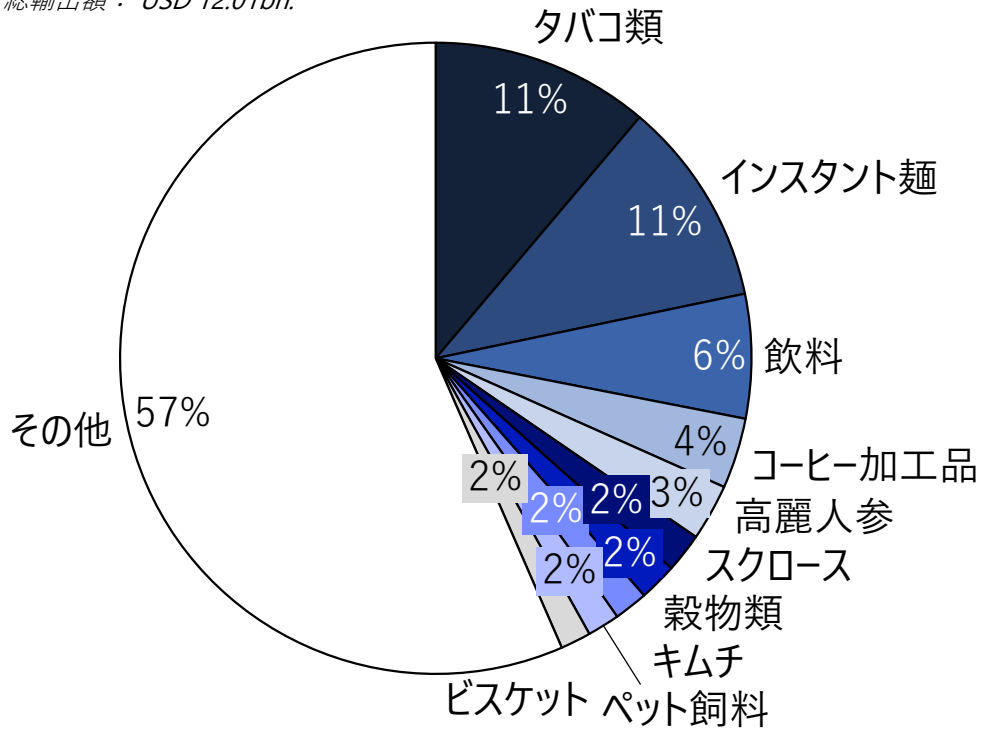
出所：農林畜産食品部「農林水産食品輸出入動向2023」より

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）韓国の農業・食品輸出の状況(2/2)

主要な輸出産品, 2023

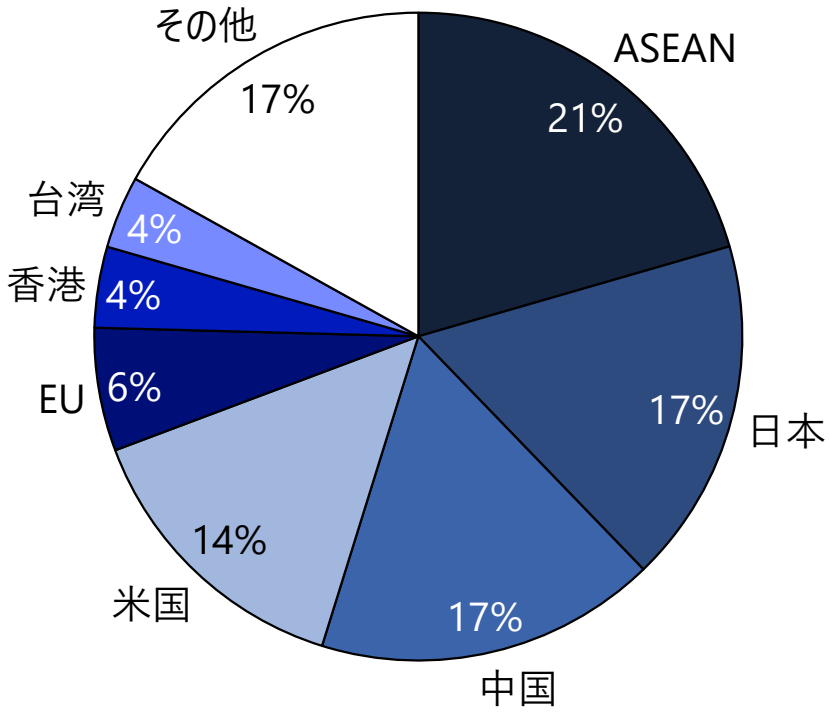
総輸出額： USD 12.01bn.



- タバコ類、インスタント麺、飲料が 3 割り程度で最も大きい割合を占める
- その他の中に、水産物や海苔などが含まれている

主要な輸出先, 2023

総輸出額： USD 12.01 bn.



- その他主要輸出国としてはサウジアラビア、アラブ連邦、カタールなどがある。
- ASEAN、日本、中国向けには、インスタント麺や飲料が最も多く輸出されている

出所：韓国農林畜産食品部「農林水産食品輸出入動向2023」より

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

なお、韓国は、輸出団体がまだまだ弱いため、政府系機関の韓国農水産食品流通公社（aT）やその直下で連携して動いている農業協同組合中央会や水産業協同組合中央会を調査すべきと想定

- 輸出促進体制
- 輸出戦略の策定
- 各種規制対応
- 国内での事業者・生産者支援
- 輸出国での事業者・生産者支援
- 輸出国でのプロモーション活動

PDCA・戦略等の見直し・デジタル化推進

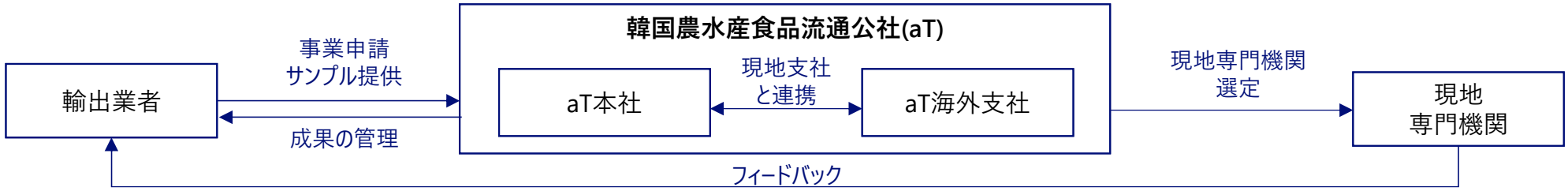
韓国の輸出促進体制（体制図）

＊出所：各種公開資料よりNRI作成

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）韓国農水産食品流通公社(aT)の概要

韓国におけるaT通じた輸出支援の体制基本的な流れ



事業内容

組織概要

- 国内農水産食品産業の育成・支援
- 農水産食品関連企業や地方自治体の輸出拡大の支援
- 約870名、16拠点、予算3,660億ウォン

活動概要

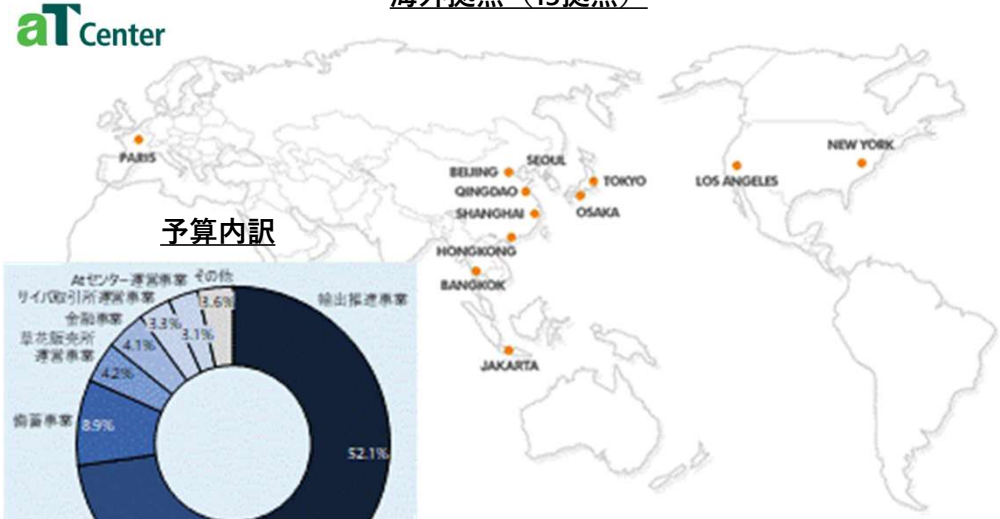
- 主要輸出国輸出業者と輸入バイヤーの通関問題解消及び国家別の非関税障壁への対応を通じた輸出市場開拓を支援
- 韓国の食品輸出の主要輸出拠点30カ国に専門家ネットワークを利用し、専門的なコンサルなど支援を実施

詳細

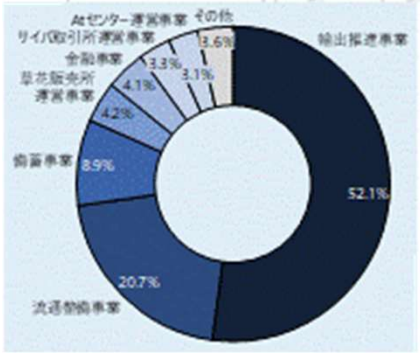
【支援項目】

- **非関税障壁解消コンサルティング**：通関、関税、SPS措置
- **ラベリング支援**：輸出製品ラベルのサンプルの登録・製作、ラベル製作に必要な食品検査
- **商標権出願支援**：知財及びブランド保護のための商標権出願
- **包装パッケージ現地化**：現地トレンドに適合する包装デザイン
- **輸入警報解除コンサルティング**：米国FDAの輸入警保解除に必要な対応措置をコンサルティング
- **One-Stop試験輸出支援**：新規市場開拓のためのサンプル輸出費用を支援（通関・検疫、物流、入店など）

海外拠点（13拠点）



予算内訳



方向性

既存

- 農食品輸出情報システム「kati」から通関検疫情報や諮問機関を連携したコンサル提供に集中

最近

- 2019年から「ラベル製作」や「One-Stop試験輸出」などaTが直接的に関与する事業が追加
- 中国においては地方自治体の中国代表処（10箇所）と「現地化支援事業協議会」を発足し、自治体との連携を強化するなど積極的な支援を実施

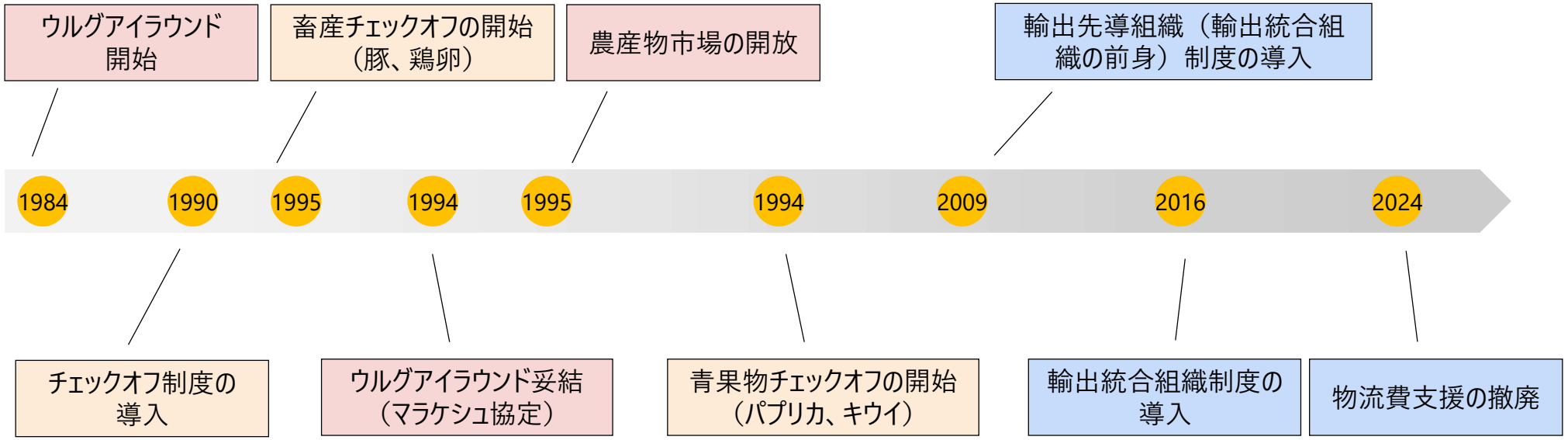
＊出所：各種公開資料よりNRI作成

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

ウルグアイラウンド以降、農業市場の開放を余儀なくされた韓国は、チェックオフ制度と輸出促進制度を二軸に農業政策を転換

- 1984年開始されたウルグアイラウンドにて韓国は、農業市場の開放を余儀なくされ、その対応策としてチェックオフ制度と輸出促進に向けて欧米の制度を研究し、次第に導入が進む
- チェックオフ制度は90年代から、輸出統合組織制度は2000年代から導入が始まり、定着しつつある

韓国におけるウルグアイラウンド以降の農業政策の変化



Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

輸出促進の一環として、韓国政府は、2023年を期限として撤廃されるまで輸出に対して補助金（物流費支援）を交付していた

2023年度「輸出物流費支援事業」の概要

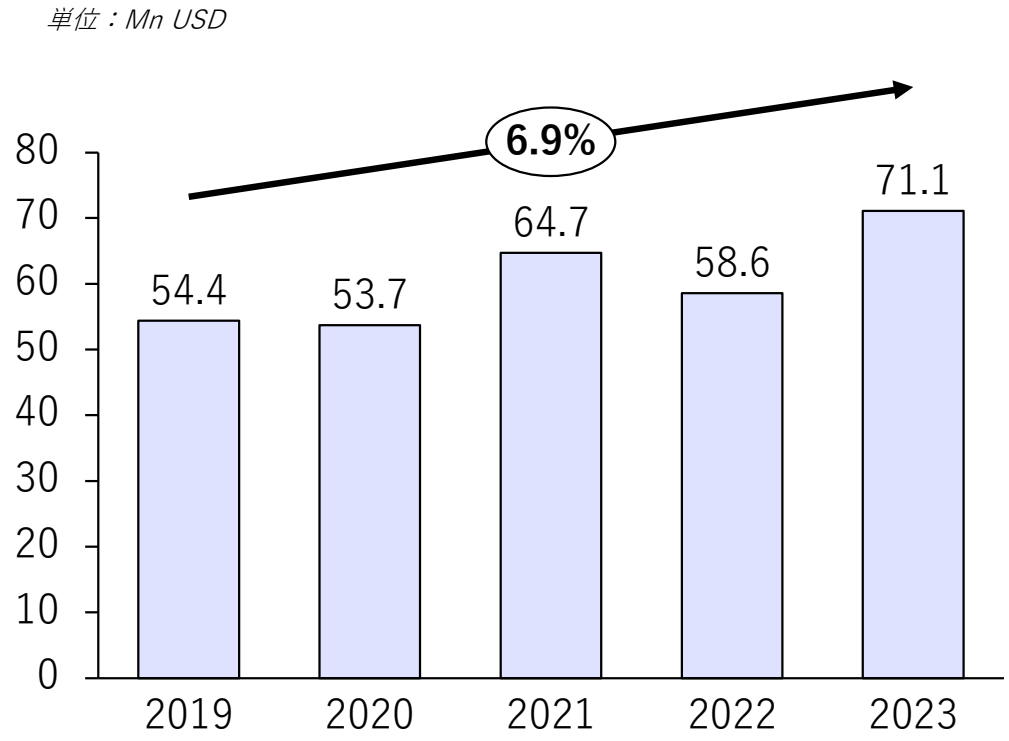
区分		内容
支援対象		• 登録日基準、過去1年間、輸出実績（FOB）が10万米ドル以上の事業者
支援品目		• 国産生鮮農畜産物およびそれを主原料とする加工食品
支援内容	支援期間	• 2023/1/1～2023/12/31の船積み分
	支援限度	• 標準物流費の15％を限度として、輸出量基準で中央政府と自治体が分担 ＜中央政府＞ • 加工食品は主原料の国産割合に応じて標準物流費1～5％を支援 • 輸出統合組織に加入していない場合は0％、輸出協議会に加入していない場合は1％ • 1件あたりの支援額はFOBの10％まで（航空の場合は30％）

出所）aTよりNRI作成

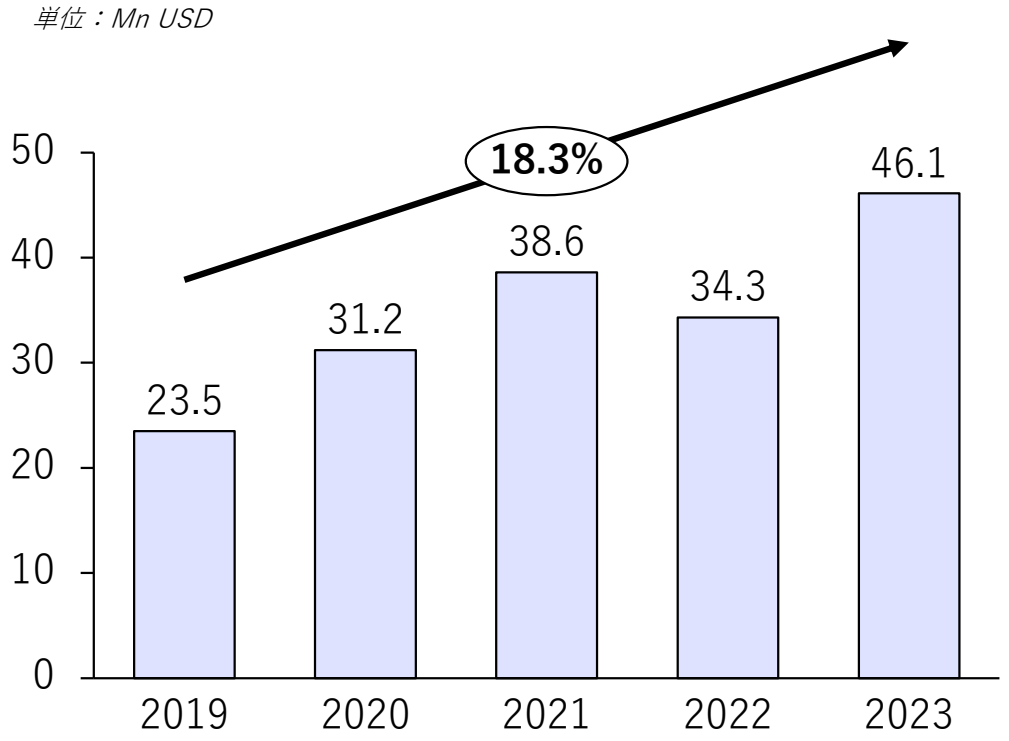
Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

イチゴとブドウについては、2023年に1億ドルの輸出を達成

イチゴの輸出額



ブドウの輸出額



出所：韓国農林畜産食品部「農林水産食品輸出入動向2023」より

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- ■ 本調査の背景・目的およびスケジュール
- ■ 分析の対象選定（Task 1）
- **韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）**
  - ● 韓国の青果物輸出体制の概観
  - **韓国産シャインマスカットおよびいちごのコスト構造**
    - • 分析の方法
    - • イチゴ
    - • シャインマスカット
  - ● 輸出先国で韓国産を販売する事業者の状況詳細
- ■ 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- ■ 本調査の背景・目的およびスケジュール
- ■ 分析の対象選定（Task 1）
- **韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）**
  - ● 韓国の青果物輸出体制の概観
  - **韓国産シャインマスカットおよびいちごのコスト構造**
    - **分析の方法**
      - • イチゴ
      - • シャインマスカット
  - ● 輸出先国で韓国産を販売する事業者の状況詳細
- ■ 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

以下の統計データと算定の前提条件を用いて、コスト構造を分析した

コスト項目	出典・算定の前提	備考
生産者受取価格	aT（https://kamis.or.kr/customer/circulation/domestic/item.do)	
出荷関連費用（選果、包装等）		
選果コスト		
包装コスト		
組合手数料		
輸出プレミアム	(生産者受取価格＋出荷関連費用）×0.2	
仕入価格	(生産者受取価格＋出荷関連費用＋国内輸送費）の120%を仮定	
輸出事業者利益	仕入れ価格の5％;商社ヒアリングより	
国内輸送費（産地→港)	国内輸送費（選果場→市場)×1.3（冷蔵割増）＋0.05（安全運賃相当分）	
その他輸出事業者諸費用（固定費、通関費用など）	FOB - 仕入価格 - 利益 - 国内輸送費	
FOB	UN Comtrade	
保険等	FOB価格の10％と仮定; 商社ヒアリングより	
輸送コスト	航空輸送（30%）、海上輸送（70%）で加重平均	
航空輸送コスト	韓国・農林水産食品部PR資料;	
海上輸送コスト	Tradlinx（www.tradlinx.com/kr)	
物流費支援	Weighted Average of Flight Support (30% of FOB) and Shipping Support (10% of FOB); aT資料より	
その他	FOB＋保険等＋輸送コスト（航空）－ 物流費支援 － CIF	
CIF	UN Comtrade	
輸入業者諸費用	(小売価格 – 小売関連費用−CIF)の50％と仮定; 商社ヒアリングより	
手数料等	輸入業者販売価格の5%と設定 (SG); 輸入業者販売価格の10%と設定 (TH)	
輸送コスト	60 cents(SGD)/250gパッケージ; 1 THB/kgと仮定	
政府認証取得 (SG); 品質検査費 (TH)	仕入れ額の2%と仮定	
税金等	仕入額の9％と仮定	

Note: SG refers to Singapore, TH refers to Thailand

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

以下の統計データと算定の前提条件を用いて、コスト構造を分析した

コスト項目	出典・算定の前提	備考
諸費用	輸入業者諸費用−その他項目と設定	
小売関連費用	小売価格の50％と仮定; 商社ヒアリングより	
店舗・事務所・倉庫等賃料	諸費用のうち15％と設定	
人件費	諸費用のうち20％と設定	
値引ロス	仕入れ額の4％と設定	
廃棄ロス	仕入れ額の10%と仮定	
手数料等	小売単価の3%と仮定	
その他	小売関連費用 - その他項目	
不明	税抜小売単価 - すべての費用	
小売単価（税抜き価格）(SG); 小売単価（税抜）(TH)	税込み価格×100/109 (SG); 税込み価格×100/107 (TH)	
消費税	税抜き価格×9% (SG); 税抜き価格×7% (TH)	
小売価格	NRI過去調査より	
小売価格 (After Adjustment)	CIF*(小売価格/CIF November)	

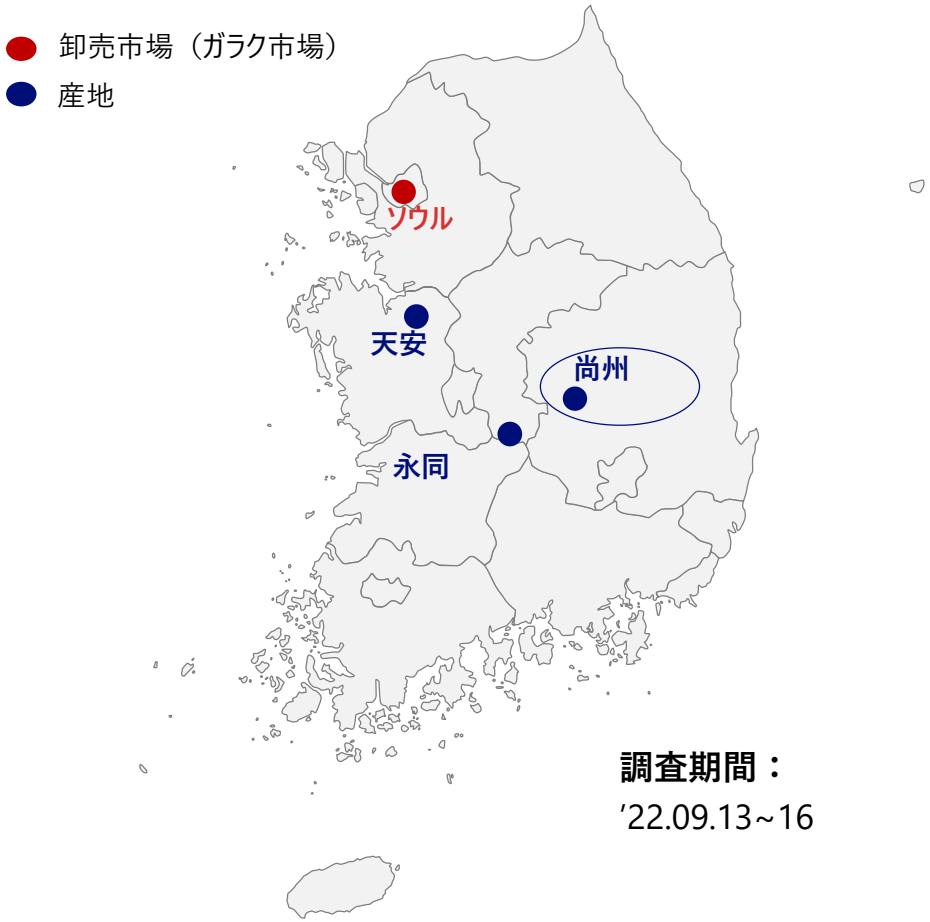
Note: SG refers to Singapore, TH refers to Thailand

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考） aTでは、2年ごとに主な産地とソウルにおける卸売市場対象として、韓国国内における農産品のコスト構造を調査している。NRIはその中で最大の産地における価格をベースにコスト推計

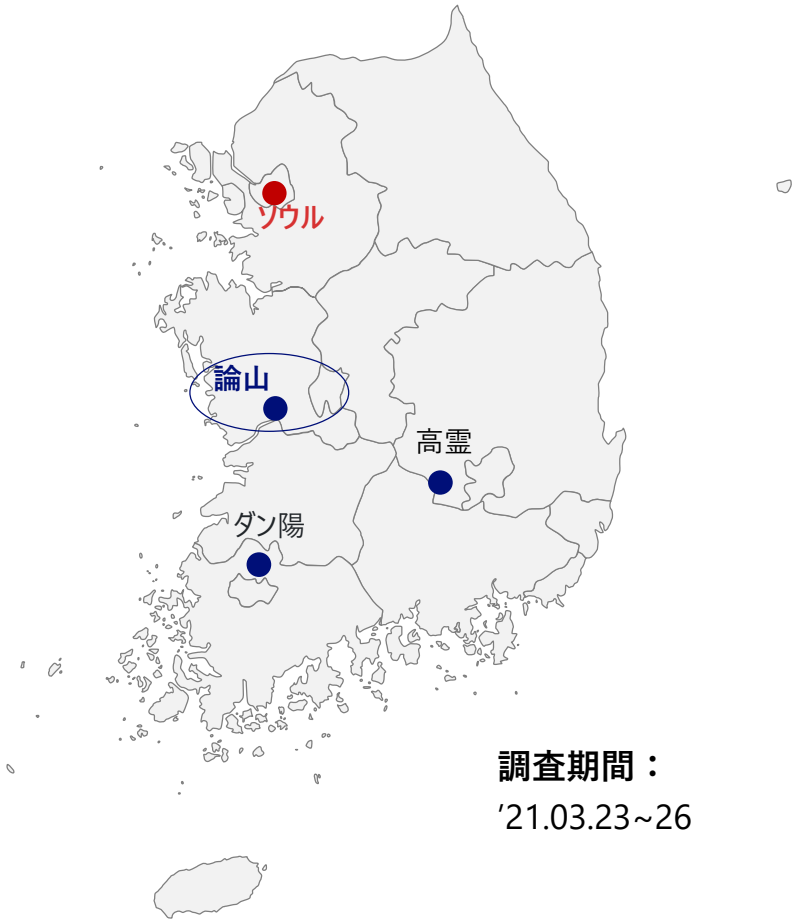
韓国国内におけるコスト構造分析

ブドウ（偶数年）



調査期間：
’22.09.13~16

イチゴ（奇数年）



調査期間：
’21.03.23~26

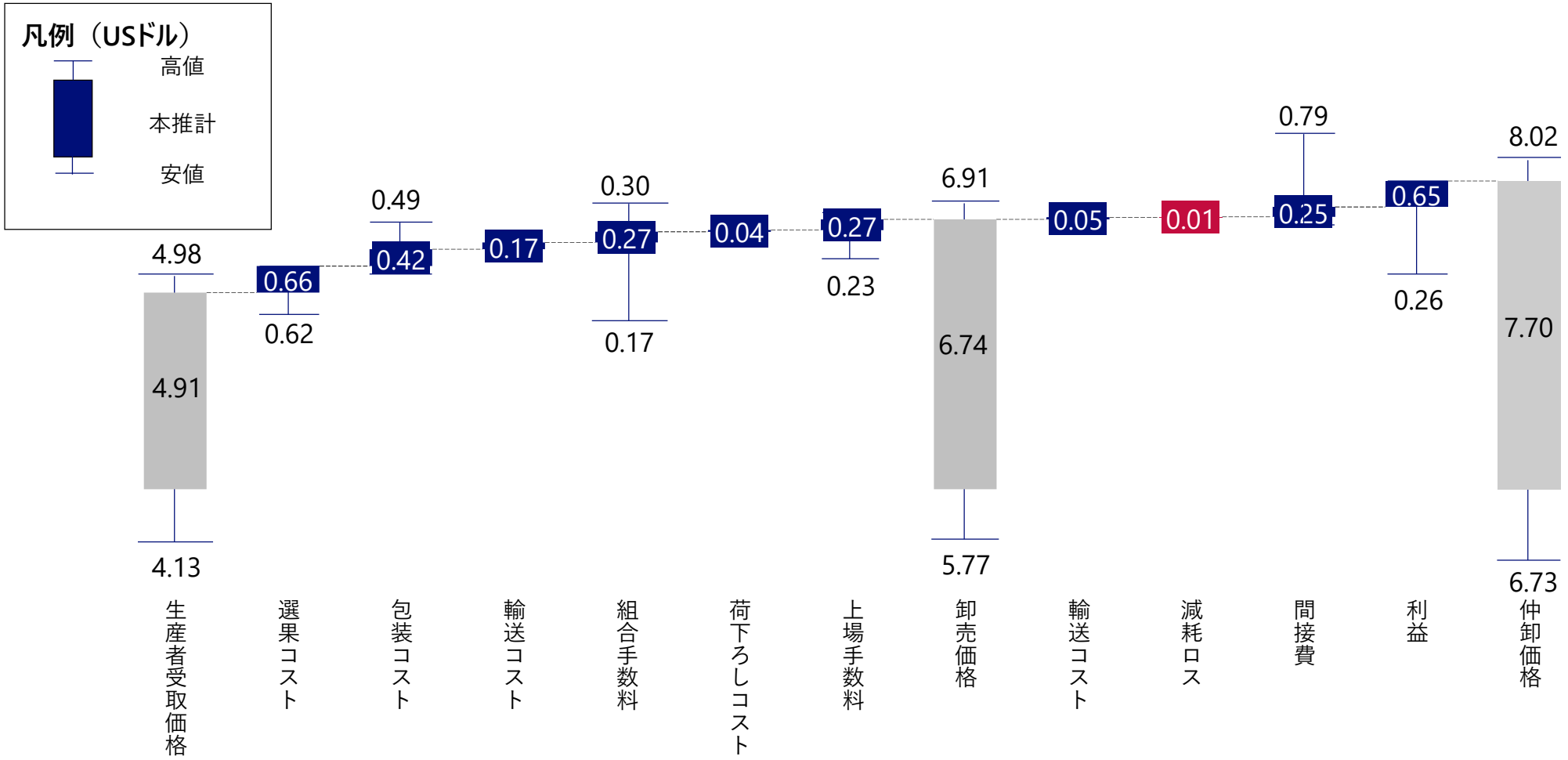
Note: Individual values from the logistics breakdown for both grapes and strawberries were obtained from surveying producers, producer associations, wholesalers, and retailers

出所）aT Report

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）個別産地における価格の分布は以下の通りだが、大きな差異は見られない

イチゴのコスト分布（韓国国内）

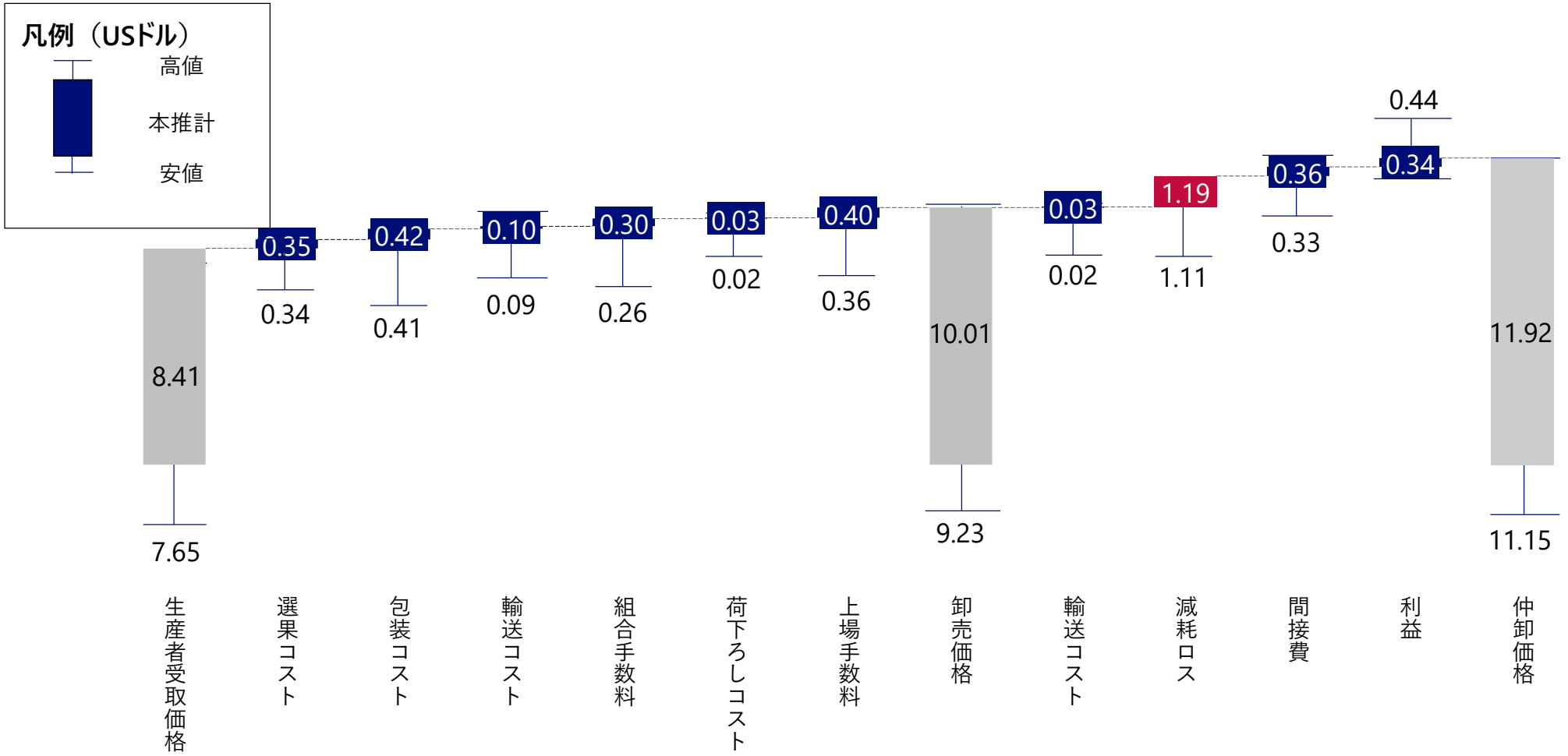


注）1USD＝1,150ウォン
出所）aT

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）シャインマスカットについては、産地による差異もほぼ見られない 本調査では、尚州をベースにして推計した

シャインマスカットのコスト分布（韓国国内）



注）1USD＝1,300ウォン
出所）aT

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）韓国国内におけるブドウ（キャンベルおよびシャインマスカット）の流通コスト調査結果（尚州→ソウル・ガラク市場）

〈붙임 6〉

포도 유통비용 명세표(상주 → 서울, 가락시장)

조사일 : '22. 9월　　(단위 : 원/kg, %, 캠별, 상품)

구 분		금 액	비 율	산 출 근 거
생산자	생산자수취가격	10,931.0	60.7	
	선 별 비	450.0	2.5	900원/2kg
	포 장 재 비	540.0	3.0	
	(골 판 지 상 자)	390.0	2.2	780원/2kg
	(삼 각 대)	80.0	0.4	40원×4개/2kg
	(비 닐 랩, 배 망)	70.0	0.4	50원/2kg, 30원×3개/2kg
	운 송 비	125.0	0.7	250원/2kg
	조 합 수 수 료	390.0	2.2	경락가격의 3%
도매시장	하 차 비	44.0	0.2	88원/2kg
	상 장 수 수 료	520.0	2.9	경락가격의 4%
	경 락 가 격	13,000.0	72.2	26,000원/2kg
중도매인	배 송 료	44.0	0.2	88원/2kg
	감 모	1,550.0	8.6	
	간 접 비	468.0	2.6	점포관리비, 인건비, 임차료 등
	이 윤	438.0	2.4	
	판 매 가 격	15,500.0	86.1	31,0000원/2kg
소매상	운 송 비	48.0	0.3	60,000원/1,250kg
	감 모	1,069.5	5.9	구입가격의 5%
	간 접 비	542.5	3.0	점포관리비, 인건비, 임차료 등
	이 윤	840.0	4.7	
	판 매 가 격	18,000.0	100.0	36,000원/2kg

| 193 |

05 과일류

区分		価格 (USD)	割合 (%)	前提
生産者	生産者受取価格	8.41	60.7	
	選果コスト	0.35	2.5	• 0.7 USD/2kg
	包装資材コスト	0.42	3.0	
	（段ボール）	0.30	2.2	• 0.6 USD/2kg
	（三角袋）	0.06	0.4	• 0.03 USD * 4 per 2kg
	（ビニール、ネット）	0.05	0.4	• 0.04 USD/2kg, 0.02 USD * 3 per 2kg
	輸送コスト	0.10	0.7	• 0.2 USD/2kg
	組合手数料	0.30	2.2	• 競落価格の3%
卸売	荷下ろしコスト	0.03	0.2	• 0.06 USD/2kg
	上場手数料	0.40	2.9	• 競落価格の4%
	競落価格	**10.0**	72.2	• 20.0 USD/2kg
仲卸	輸送コスト	0.03	0.2	• 0.06 USD/2kg
	減耗ロス	1.19	8.6	
	間接費	0.36	2.6	• 管理費、人件費、賃料など
	利益	0.34	2.4	
	仲卸価格	**11.92**	86.1	• 23.84 USD/2kg
小売	輸送コスト	0.04	0.3	• 46.15 USD/1,250kg
	減耗ロス	0.82	5.9	• 仲卸価格の5%
	間接コスト	0.42	3.0	• 管理費、人件費、賃料など
	利益	0.65	4.7	
	小売価格	**13.85**	100.0	• 27.70 USD/2kg

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）韓国国内におけるイチゴの流通コスト調査結果（論山→ソウル・ガラク市場）

〈붙임 1〉

딸기 유통비용 명세표(논산→서울 가락시장)

조사월 : '21.3 (단위 : 원/kg, %, 상품)

구	분	금 액	비 율	산 출 근 거
생산자	생산자수취가격	5,647.5	49.5	
	선별비	760.0	6.7	(인건비 70천원) + (점심,간식/ 6천원)/100kg
	포장재비	480.0	4.2	(골판지상자 450원 + 투명용기4개 440원 + 스티커 50원)/ 2kg, 래핑 10원/kg
	운송비	200.0	1.8	400원/2kg박스(산지->서울) : 상자당 가격결정
	수수료	310.0	2.7	경락가격의 4%
도매시장	하차비	42.5	0.4	85원/2kg
	상장수수료	310.0	2.7	경락가격의 4%
	경락가격	7,750.0	68.0	15,500원/2kg상자
중도매인	배송료	58.0	0.5	58원/1kg상자
	감모	13.3	0.1	4.3%
	간접비	286.8	2.5	3.7% - 점포운영비, 인건비 등
	이윤	741.9	6.5	
	판매가격	8,850.0	77.6	17,700원/2kg상자
소매상	운송비	57.0	0.5	80천원/1.4톤 적재 트럭 용차
	감모	18.5	0.2	2.5%
	간접비	194.7	1.7	2.2% - 점포운영비, 인건비 등
	이윤	2,279.8	20.0	
	판매가격	11,400.0	100.0	22,800원/2kg상자

区分		価格 (USD)	割合 (%)	前提
生産者	生産者受取価格	4.91	49.5	
	選果コスト	0.66	6.7	• 60.87 USD (人件費) + 5.21 USD (昼食代) per 100kg
	包装資材コスト	0.42	4.2	• 0.39 USD (段ボール) + 0.38 USD (透明パッケージ 4 つ) + 0.04 USD (ステッカー) per 2kg + ラッピング 0.01USD/kg
	輸送コスト	0.17	1.8	• 0.34 USD/2kg 箱
	手数料	0.27	2.7	• 競落価格の4%
卸売	荷下ろしコスト	0.04	0.4	• 0.08 USD/2kg
	上場コスト	0.27	2.7	• 競落価格の4%
	競落価格	**6.74**	68.0	• 13.48 USD/2kg
仲卸	輸送コスト	0.05	0.5	• 0.05 USD/1kg 箱
	減耗ロス	0.01	0.1	
	建設コスト	0.25	2.5	• 店舗運営費、人件費など
	利益	0.65	6.5	
	仲卸価格	**7.70**	77.6	• 15.4 USD/2kg
小売	輸送コスト	0.05	0.5	• 69.57 USD/1,400kg トラック
	減耗ロス	0.02	0.2	
	間接コスト	0.17	1.7	• 店舗運営費、人件費など
	利益	1.98	20.0	
	小売価格	**9.91**	100.0	• 19.82 USD/2kg

注）1USD＝1,150ウォン
出所）aT

韓国のコンテナ運賃自動見積もりサイトにて、国内輸送費のデータを取得

陸上輸送費のデータ取得

20ftコンテナの場合の運賃目安

항구	행선지(시,도)	행선지(시,군,구)	행선지(읍,면,동)	구간거리(km)	20'ft 컨테이너(원)	40'ft 컨테이너(원)	45'ft 컨테이너(원)
부산북항	경상북도	상주시	신흥동	210	793,900.00	913,600.00	1,027,850.00
부산북항	경상북도	상주시	은척면	234	854,400.00	983,300.00	1,106,250.00
부산북항	경상북도	상주시	청리면	210	793,900.00	913,600.00	1,027,850.00
부산북항	경상북도	상주시	함창읍	222	824,100.00	948,700.00	1,067,325.00

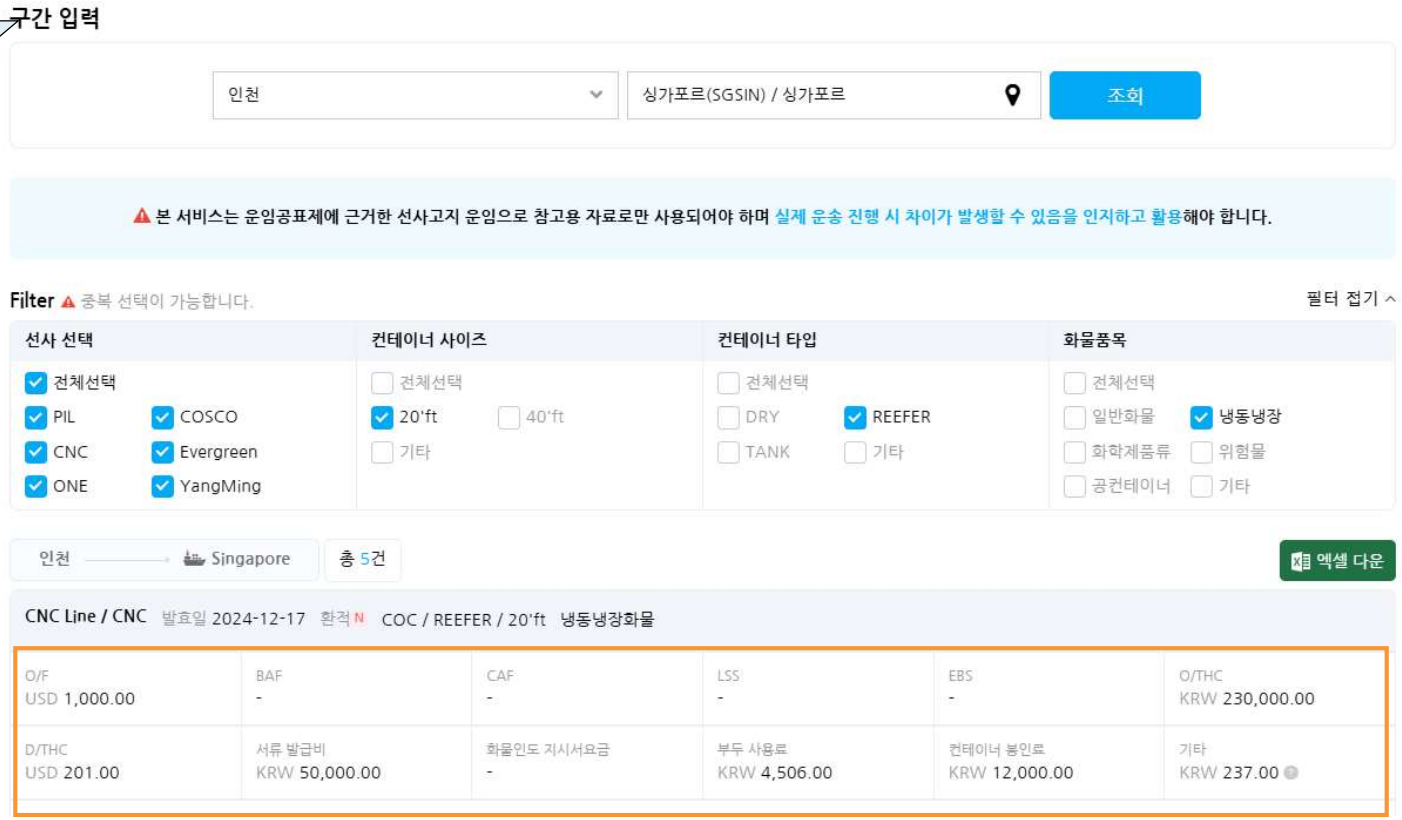
出所）Tradlinx

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

海上輸送費についても、見積もり可能である

海上輸送費のデータ取得

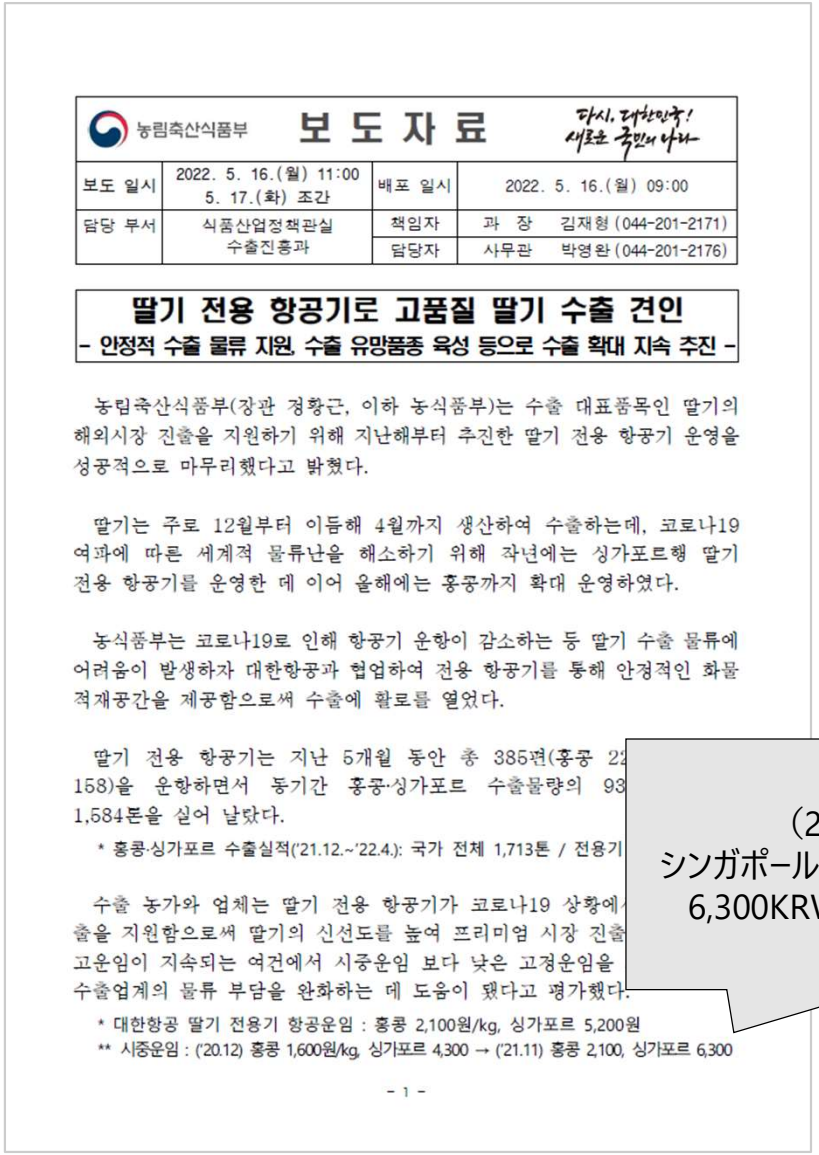
発着港の選択でコンテナの海上輸送費の目安を検索可能



出所）Tradlinx

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）航空輸送コストについては、当時の韓国・農林水産食品部から発表された資料を根拠として算定した



농림축산식품부 **보 도 자 료** 다시, 대한민국! 새로운 국민의 나라

보도 일시	2022. 5. 16.(월) 11:00 5. 17.(화) 조간	배포 일시	2022. 5. 16.(월) 09:00
담당 부서	식품산업정책관실 수출진흥과	책임자	과 장 김재형 (044-201-2171)
		담당자	사무관 박영완 (044-201-2176)

딸기 전용 항공기로 고품질 딸기 수출 견인

- 안정적 수출 물류 지원, 수출 유망품종 육성 등으로 수출 확대 지속 추진 -

농림축산식품부(장관 정황근, 이하 농식품부)는 수출 대표품목인 딸기의 해외시장 진출을 지원하기 위해 지난해부터 추진한 딸기 전용 항공기 운영을 성공적으로 마무리했다고 밝혔다.

딸기는 주로 12월부터 이듬해 4월까지 생산하여 수출하는데, 코로나19 여파에 따른 세계적 물류난을 해소하기 위해 작년에는 싱가포르행 딸기 전용 항공기를 운영한 데 이어 올해에는 홍콩까지 확대 운영하였다.

농식품부는 코로나19로 인해 항공기 운항이 감소하는 등 딸기 수출 물류에 어려움이 발생하자 대한항공과 협업하여 전용 항공기를 통해 안정적인 화물 적재공간을 제공함으로써 수출에 활로를 열었다.

딸기 전용 항공기는 지난 5개월 동안 총 385편(홍콩 22
158)을 운항하면서 동기간 홍콩·싱가포르 수출물량의 93
1,584톤을 실어 날랐다.

* 홍콩·싱가포르 수출실적('21.12.~'22.4.): 국가 전체 1,713톤 / 전용기

수출 농가와 업체는 딸기 전용 항공기가 코로나19 상황에
출을 지원함으로써 딸기의 신선도를 높여 프리미엄 시장 진출
고운임이 지속되는 여건에서 시중운임 보다 낮은 고정운임을
수출업계의 물류 부담을 완화하는 데 도움이 됐다고 평가했다.

* 대한항공 딸기 전용기 항공운임 : 홍콩 2,100원/kg, 싱가포르 5,200원

** 시중운임 : ('20.12) 홍콩 1,600원/kg, 싱가포르 4,300 → ('21.11) 홍콩 2,100, 싱가포르 6,300

- 1 -

（2021年11月時点）
シンガポール向けイチゴの航空輸送コスト
6,300KRW/kg（≒4.5 USD/kg）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

①複数の統計が同様の数値を示している点、②韓国の物流費支援の算定根拠をFOBにしているという点から、FOBとCIFのマイナス差分を物流費支援とみなすのが妥当

- 韓国商社へのヒアリング調査では、物流費支援がすでにFOBに組み込まれているのではないかという回答があったが、以下の理由により、FOBには反映されていないと思料
- 複数の統計をクロスチェックした結果、統計にエラーは見られなかった
- 物流費支援はFOBを基準とするため、FOBに物流費支援を組み込むのは、論理的に成立しない

複数の統計をクロスチェック済

UN Comtrade データ

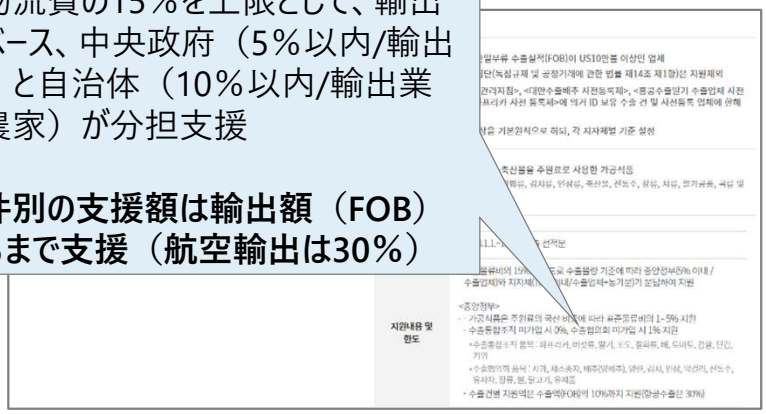
≒

KATI（aT運営）データ

物流費支援の算定方法

【支援内容および限度】
- 標準物流費の15％を上限として、輸出物量ベース、中央政府（5％以内/輸出業者）と自治体（10％以内/輸出業者＋農家）が分担支援

（中略）
- **輸出件別の支援額は輸出額（FOB）の10％まで支援（航空輸出は30％）**



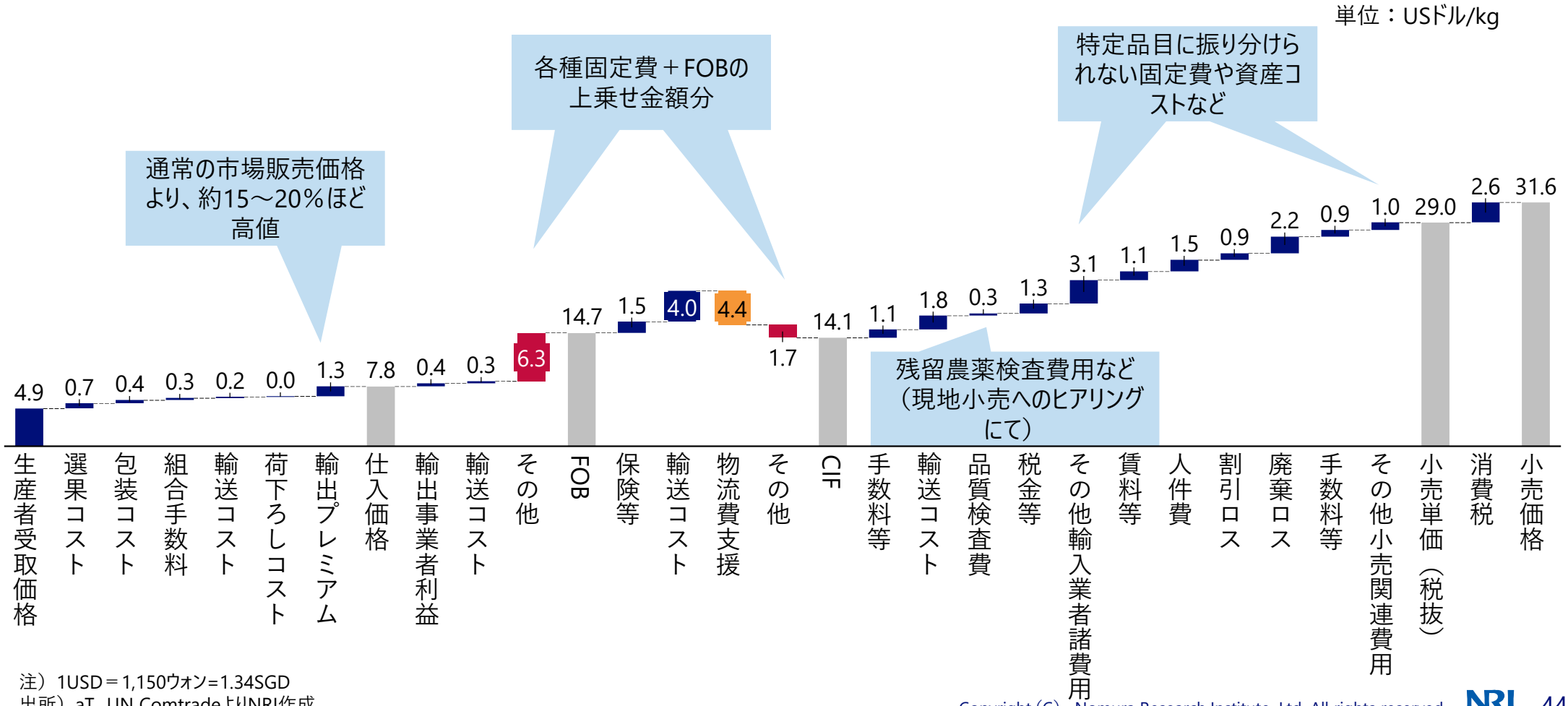
Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- ■ 本調査の背景・目的およびスケジュール
- ■ 分析の対象選定（Task 1）
- **韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）**
  - ● 韓国の青果物輸出体制の概観
  - **韓国産シャインマスカットおよびいちごのコスト構造**
    - • 分析の方法
    - **イチゴ**
      - • シャインマスカット
  - ● 輸出先国で韓国産を販売する事業者の状況詳細
- ■ 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

SG向けイチゴのコスト構造（2021）

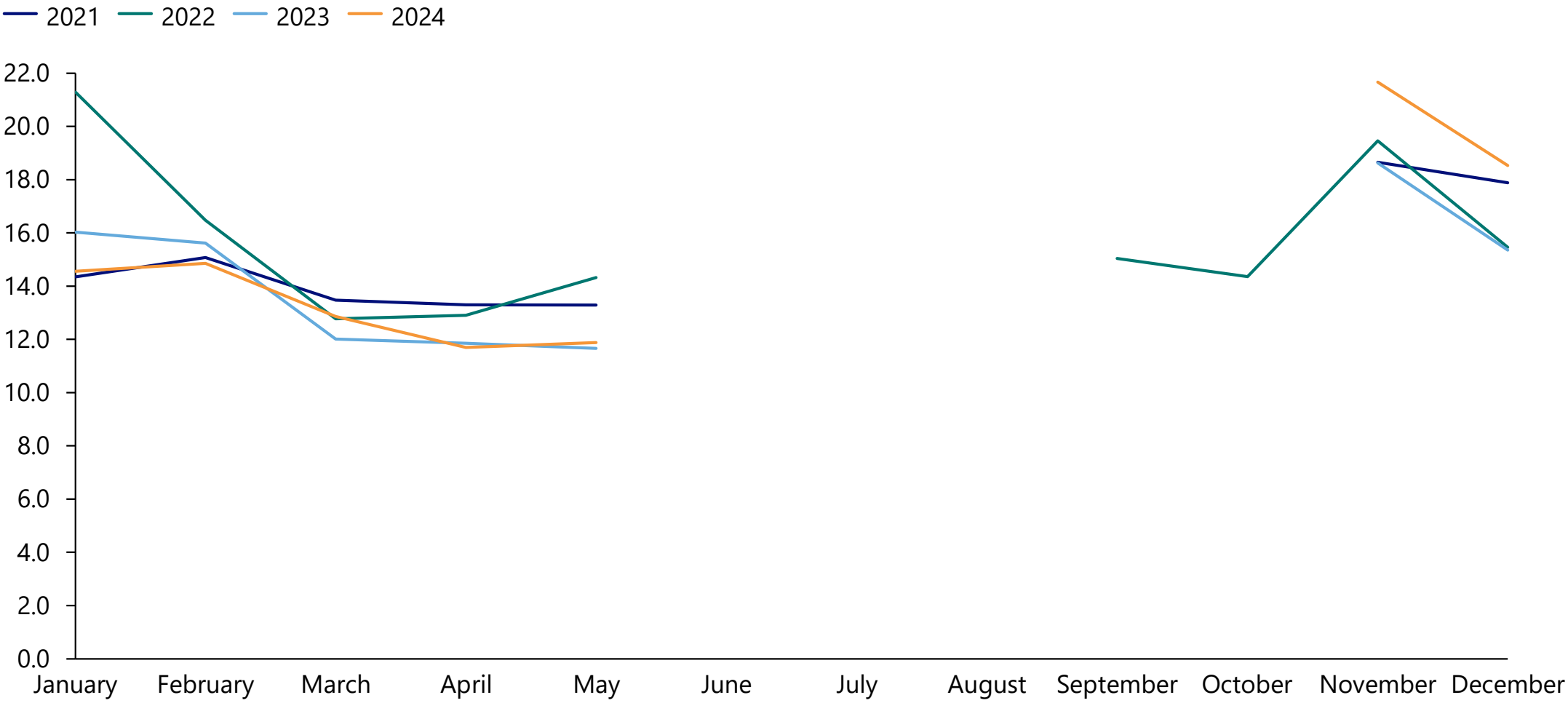


注）1USD＝1,150ウォン=1.34SGD
出所）aT、UN ComtradeよりNRI作成

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

SG向けのイチゴは早ければ秋ごろから5月にかけて輸出

シンガポール向けイチゴのFOB(USD/kg, 2021-24)

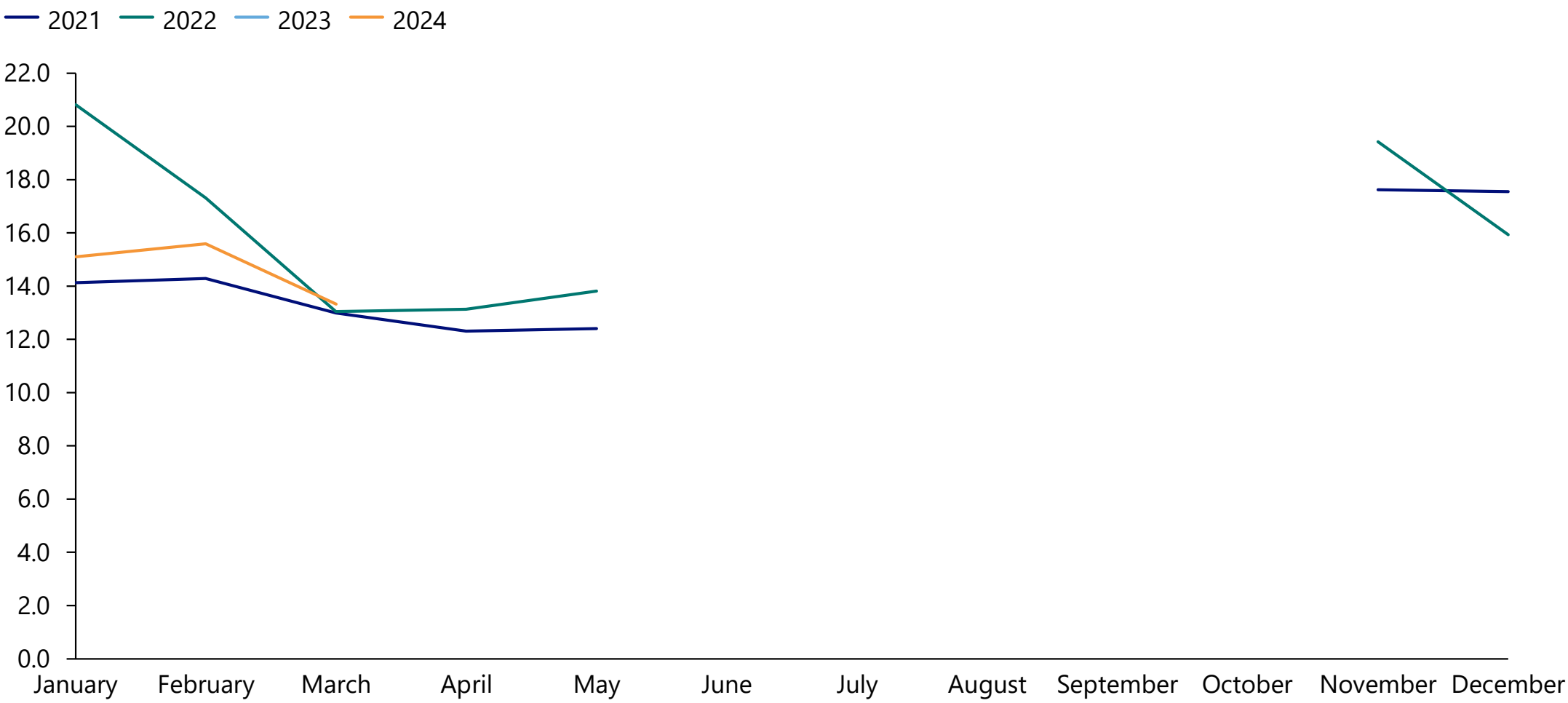


出所）aT

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

イチゴのCIFは1～2月に高騰し、5月まで続く

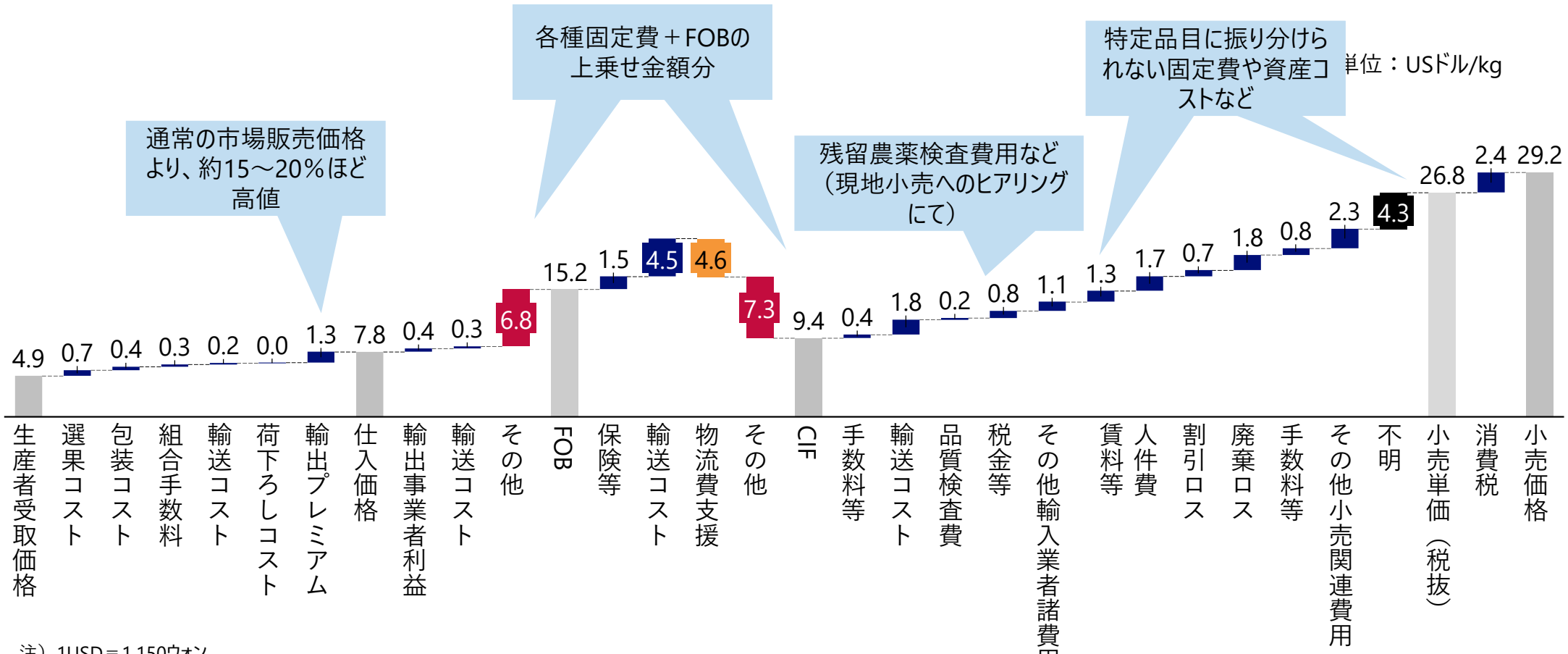
シンガポール向けイチゴのCIF(USD/kg, 2021-24)



出所）UN Comtrade

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

タイ向けイチゴのコスト構造（2021）

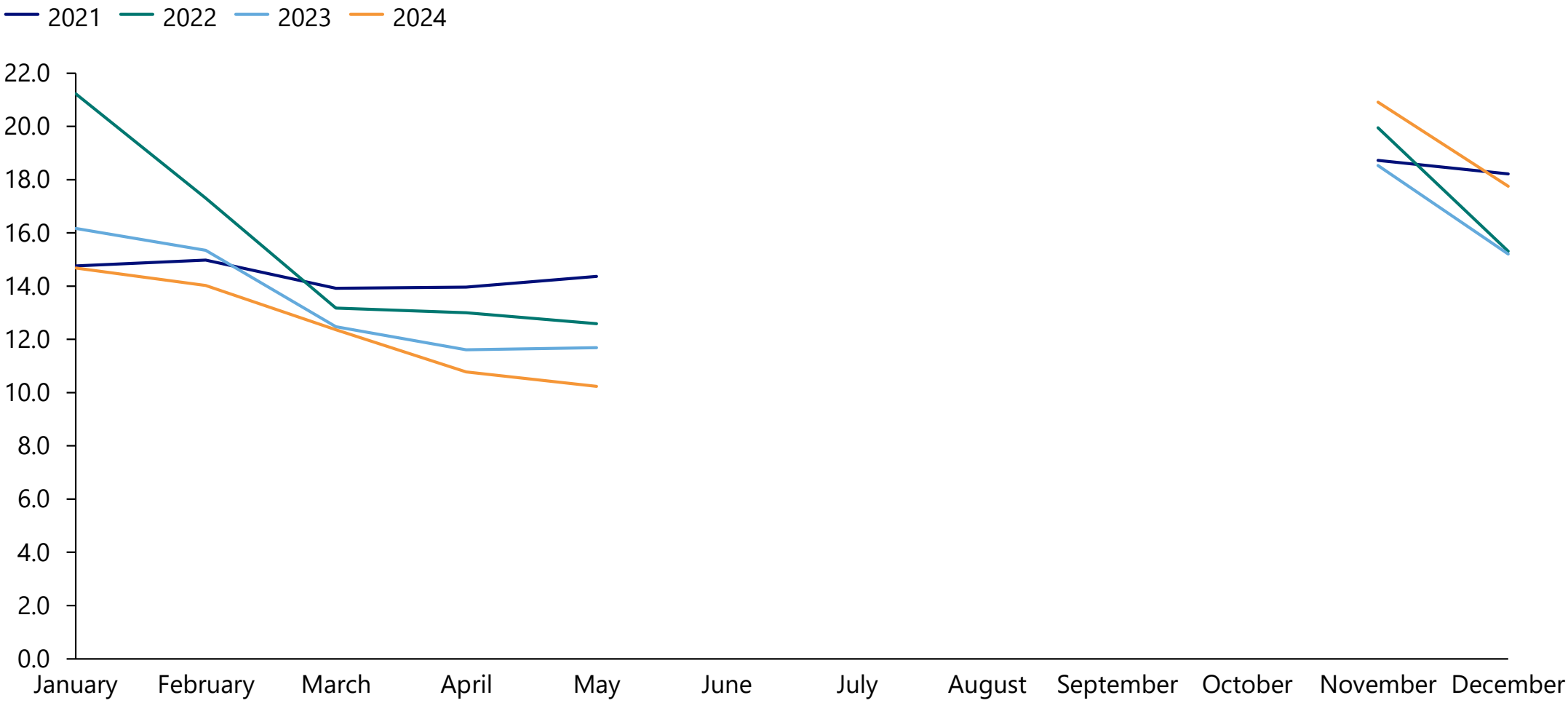


注）1USD＝1,150ウォン
出所）aT、UN ComtradeよりNRI作成

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

イチゴは11月～5月の間に輸出が行われ、冬に最も価格が高い傾向
また、FOB価格で見ると、コロナ禍以降イチゴの価格低下が著しい

タイ向けイチゴのFOB(USD/kg, 2021-24)

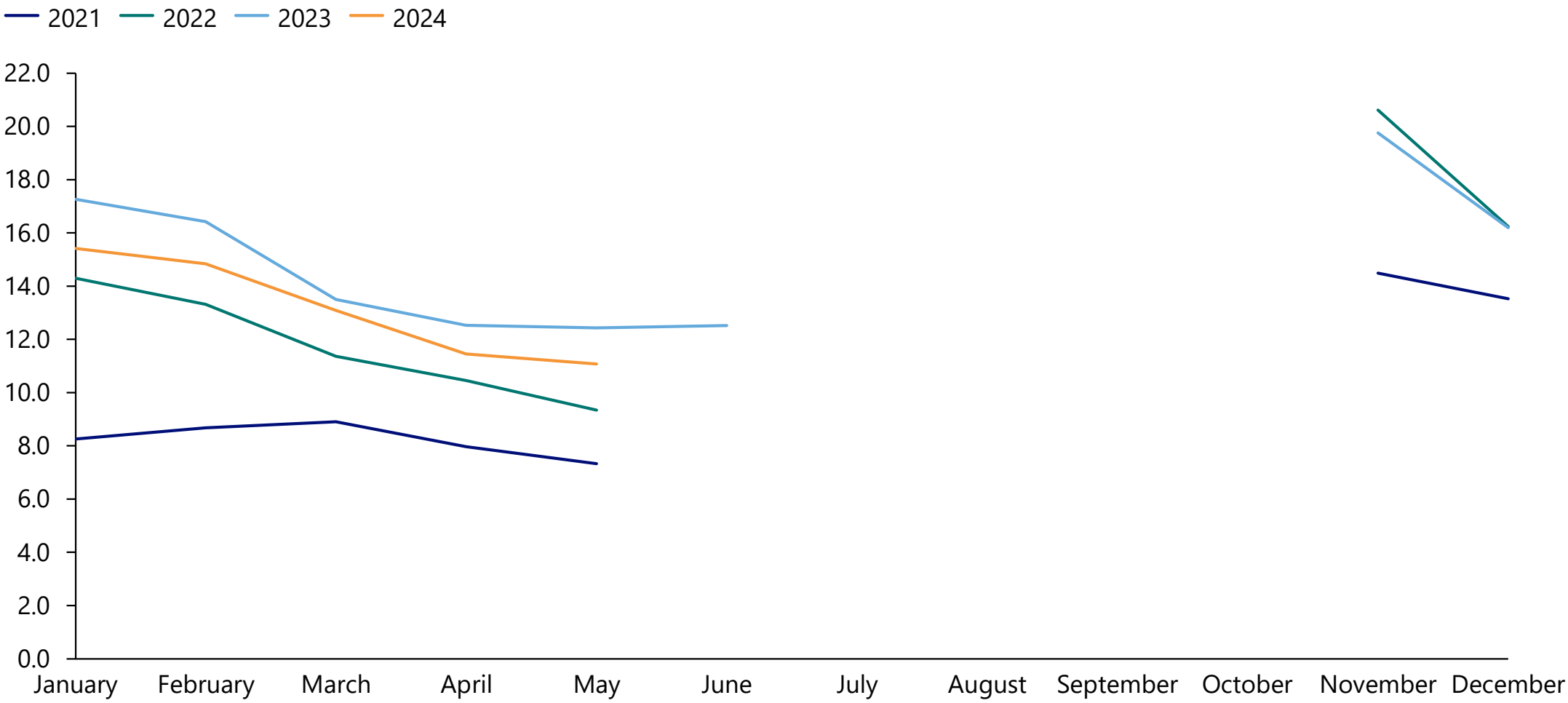


出所）aT

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

一方、CIF価格で見る場合、直近の価格低下は反映されず、物流費支援撤廃の影響がうかがえる。

タイ向けイチゴのCIF(USD/kg, 2021-24)

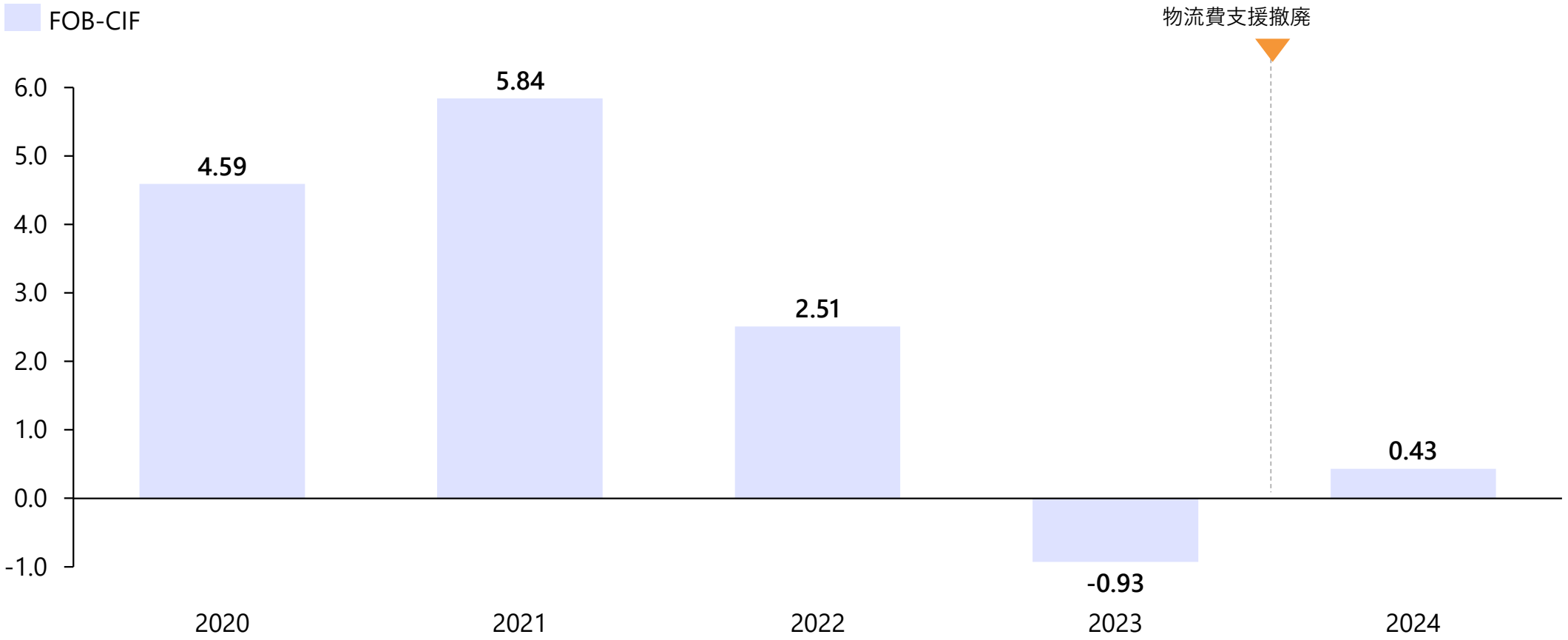


出所）UN Comtrade

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

タイ向けイチゴのFOBおよびCIFの差分
物流費支援の撤廃後、FOBとCIFの差分が縮んでいる

タイ向けイチゴのFOB - CIF (USD/kg, 2020-24)



出所）UN Comtrade

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

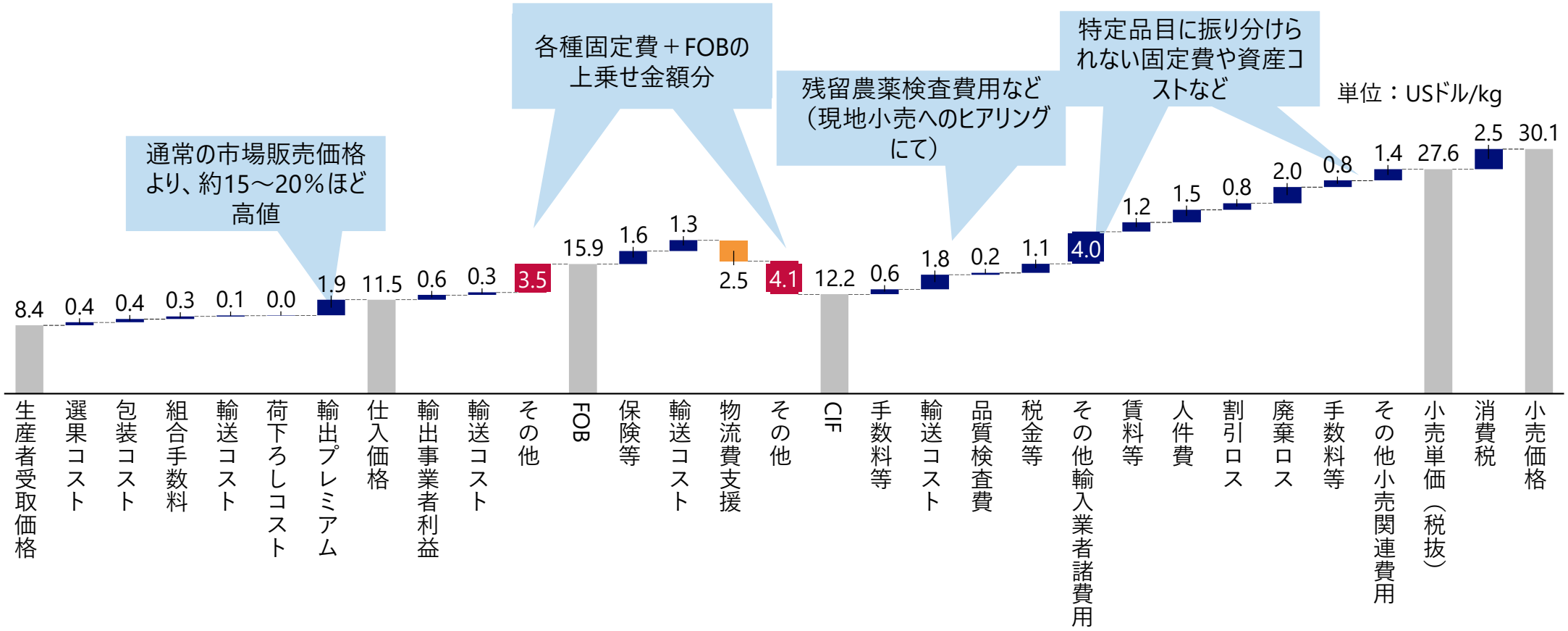
議題

- ■ 本調査の背景・目的およびスケジュール
- ■ 分析の対象選定（Task 1）
- **韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）**
  - ● 韓国の青果物輸出体制の概観
  - **韓国産シャインマスカットおよびいちごのコスト構造**
    - • 分析の方法
    - • イチゴ
    - **シャインマスカット**
  - ● 輸出先国で韓国産を販売する事業者の状況詳細
- ■ 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

SG向けシャインマスカットのコスト構造（2022）

- 「輸出プレミアム」は、「仕入価格−国内仕向価格」と理解し、輸出向け作物を栽培している農家がその恩恵を享受するものであると思われる。
- 実際、韓国では輸出向けだけにシャインマスカットを栽培する農家が昨今急激に増加しており、その品質コントロールが難しく、全体的な品質の低下につながっている恐れがあるとの商社のコメントがあった。

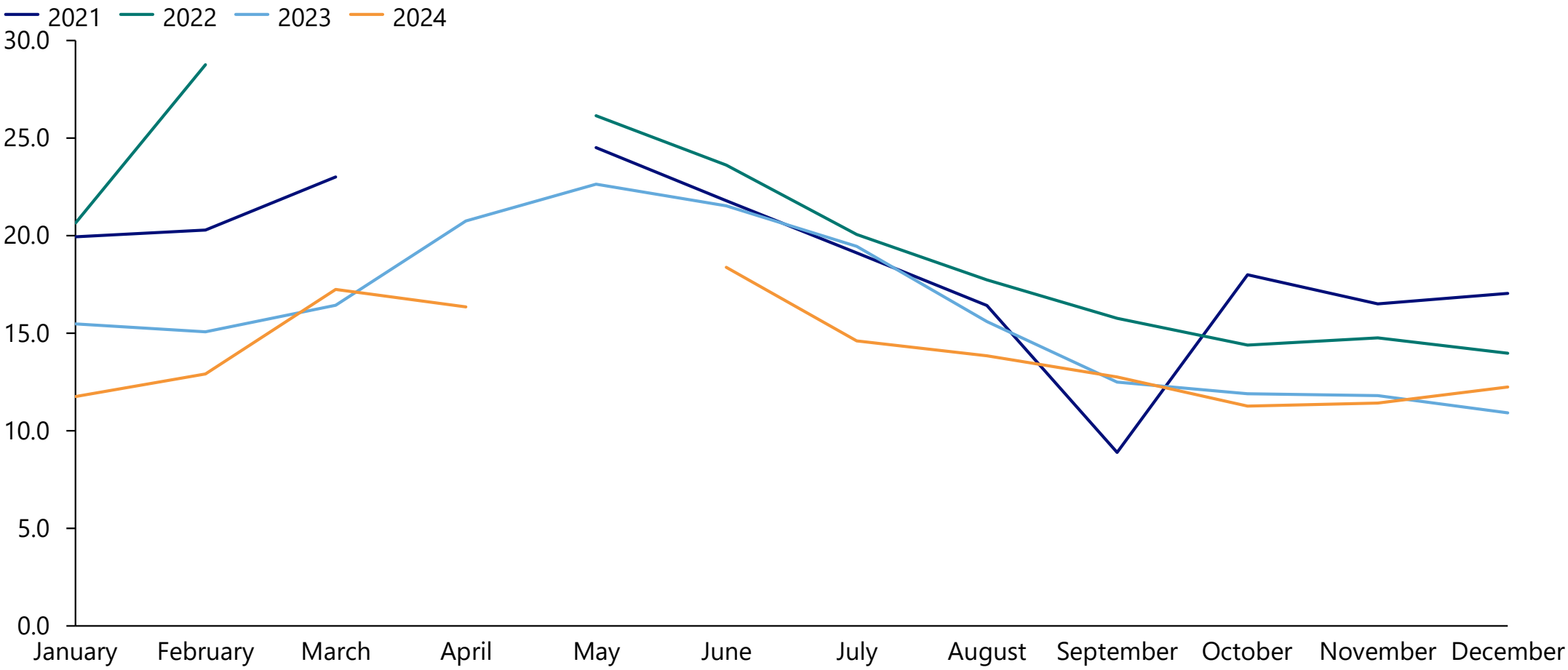


注）1USD＝1,300ウォン
出所）aT、UN ComtradeよりNRI作成

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

ブドウの価格は、3月に高騰する傾向を見せ、冬にやや下落する

シンガポール向けブドウのFOB(USD/kg, 2021-24)

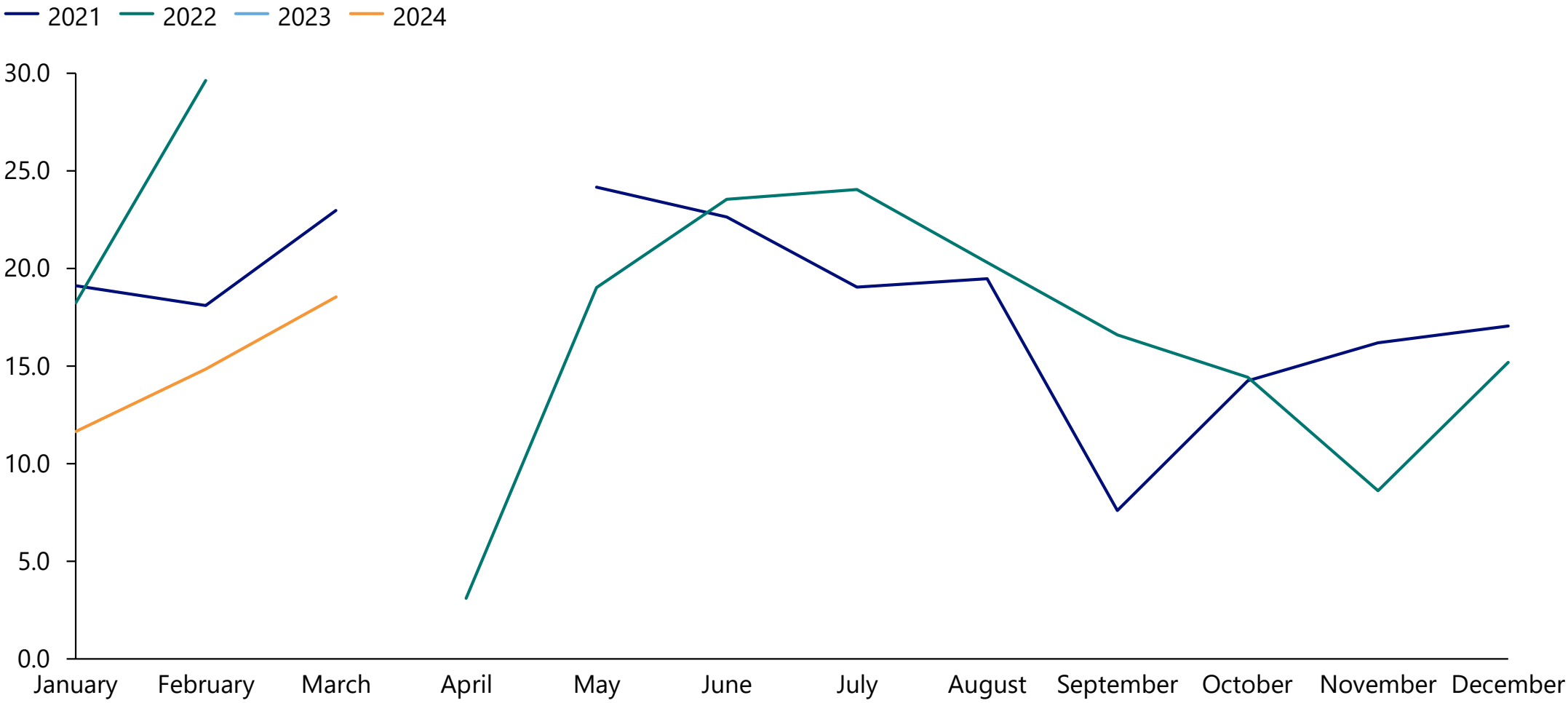


出所）aT

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

CIFも春に高騰し、冬に向けて落ち着く様相

シンガポール向けブドウのCIF(USD/kg, 2021-24)

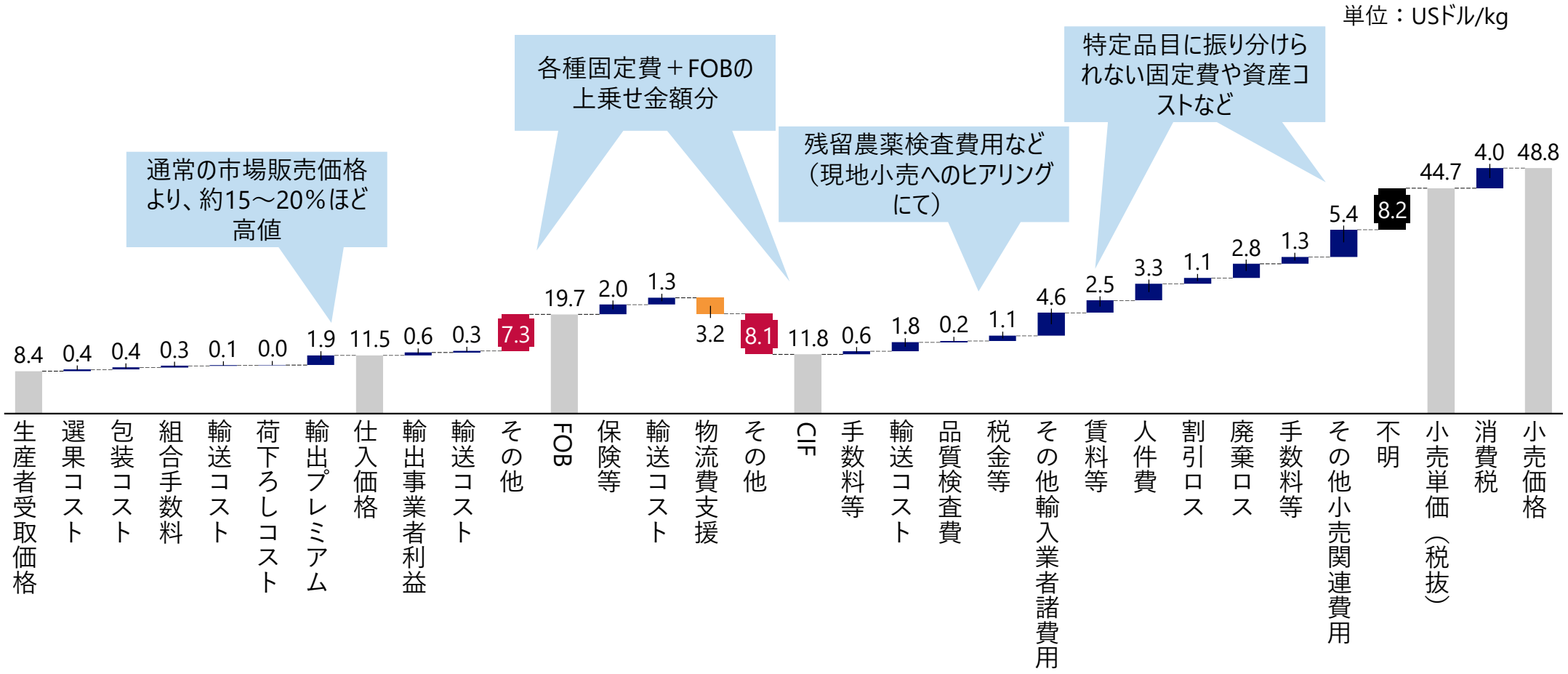


出所）UN Comtrade

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

タイ向けシャインマスカットのコスト構造（2022）

- 2022年は、コロナの影響もあり、シャインマスカットの価格がイチゴを大幅に上回っているものの、近年の品質低下や中国産品との競合などの要因により、2024年～2025年店頭調査の時点における小売価格が大幅低下している
  - 2025年時点では、35 USD/kg程度

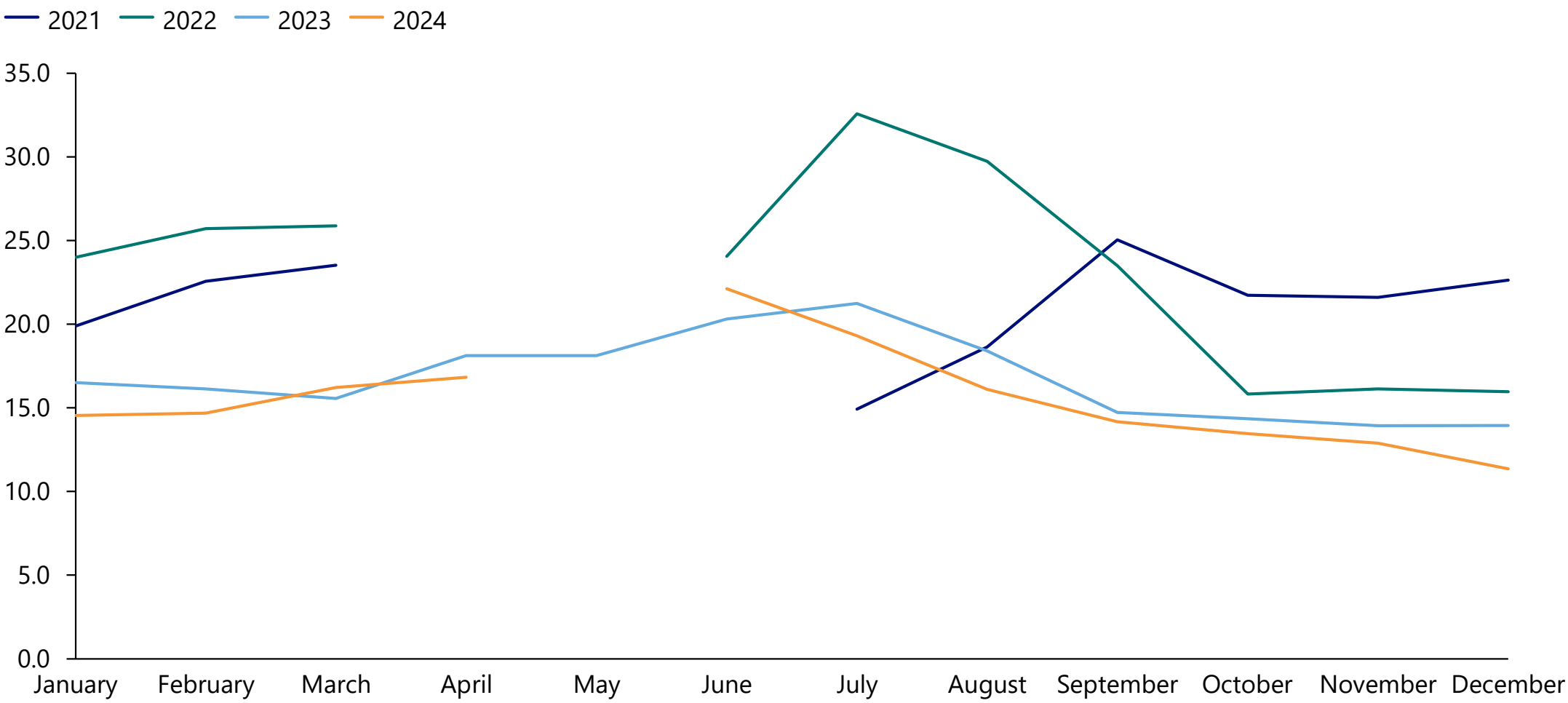


注）1USD＝1,300ウォン
出所）aT、UN ComtradeよりNRI作成

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

7～9月は価格が高騰するケースが見られるものの、直近では通年FOB価格が安定傾向

タイ向けブドウのFOB(USD/kg, 2021-24)

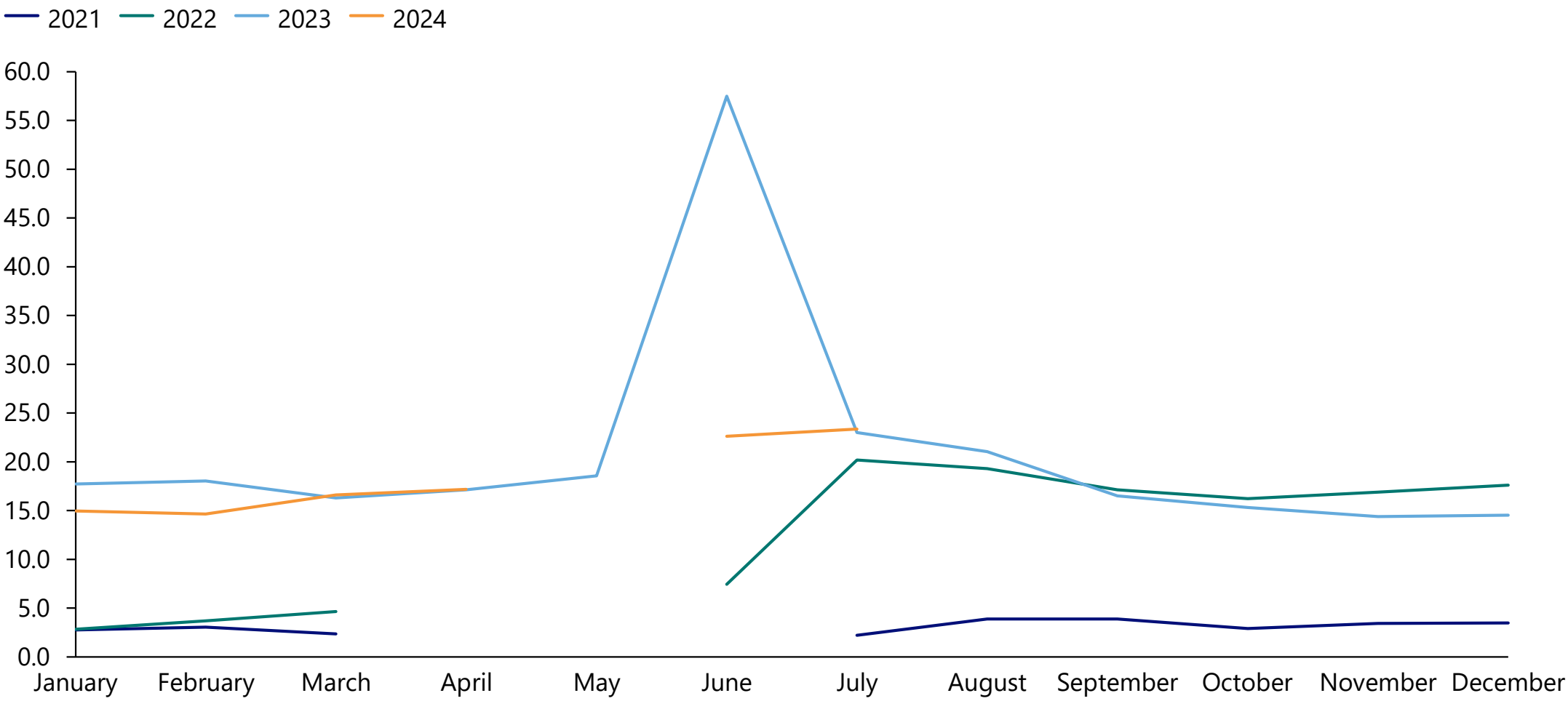


出所）aT

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

同じく、2023年6月を除く場合、通年価格が安定しており、15～20ドルにて推移

タイ向けブドウのCIF(USD/kg, 2021-24)

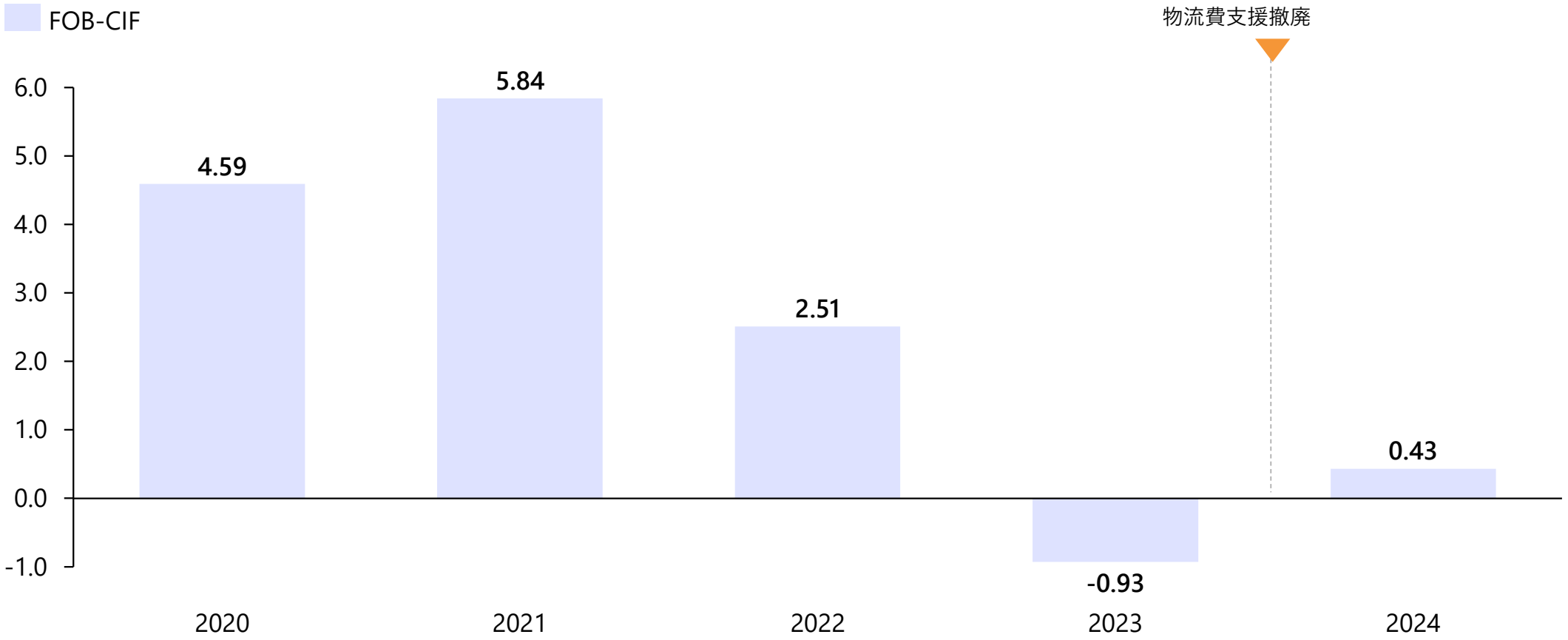


出所）UN Comtrade

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

タイ向けシャインマスカットのFOBおよびCIFの差分

タイ向けシャインマスカットのFOB - CIF (USD/kg, 2020-24)



出所）UN Comtrade

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- 本調査の背景・目的およびスケジュール
- 分析の対象選定（Task 1）
- **韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）**
  - 韓国の青果物輸出体制の概観
  - 韓国産シャインマスカットおよびいちごのコスト構造
  - **輸出先国で韓国産を販売する事業者の状況詳細**
  - **店頭調査**
- 韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

店頭調査概要
以下の通りに店頭調査を実施した

■ 店頭調査実施期間
- 2024年12月～2025年2月

■ 調査対象
- シンガポール
  - 現地系スーパー
    - Fair Price
    - Cold Storage
  - 韓国系スーパー
    - Jun’s Butchery
    - Chorok Market
    - Shine Korea
    - Sol Mart
- タイ
  - 現地系スーパー
    - Gourmet Market
    - Villa Market
    - Tops Market
    - Big C
  - 韓国系スーパー
    - Jidubang
    - Soul Korea Town
    - We Sell Korea
    - LP Korea Store

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

店頭調査（SG、イチゴ）

	Cold Storage	Fair Price	Jun's Butchery	その他韓国系スーパー（Chorok Martなど）
写真		 		取扱なし
価格	42.27 SGD/kg （≒4,870円/kg）	39.25 SGD/kg （≒4,523円/kg）	60.00 SGD/kg （≒6.915円/kg）	
※参考値（同種日本産品）	62.5 SGD/kg （≒7,200円/kg）	取扱なし	取扱なし	

出所）NRI店頭調査

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

店頭調査（SG、シャインマスカット）

	Cold Storage	Fair Price	Jun’s Butchery	その他韓国系スーパー（Chorok Martなど）
写真			取扱なし	取扱なし
価格	24.88 SGD/kg （≒2,867円/kg）	22.11 SGD/kg （≒2,548円/kg）		
※参考値（同種日本産品）	取扱なし	取扱なし		

出所）NRI店頭調査

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

店頭調査（タイ、イチゴ、2025年1月時点）

	Tops Market（MBK Center店）	Gourmet Market（Siam Paragon店）	Villa Market（Gaysorn Amarin店）	Big C（Ratchadamri店）	韓国系スーパー（LPなど）
写真				取扱なし	取扱なし
価格	916THB/kg （≒4,150円/kg）	1,209THB/kg （≒5,500円/kg）	1,209THB/kg （≒5,500円/kg）		
※参考値（同種日本産品）	取扱なし	2,000THB/PKG （≒6,000THB/kg≒27,300円/kg） （福岡県産ミガキイチゴ）	取扱なし		

出所）NRI店頭調査

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

店頭調査（タイ、シャインマスカット、2025年1月時点）

	Tops Market（MBK Center店）	Gourmet Market（Siam Paragon店）	Villa Market（Gaysorn Amarin店）	Big C（Ratchadamri店）	韓国系スーパー（LPなど）
写真				取扱なし	取扱なし
価格	543THB/kg（≒2,500円/kg）	1,300THB/kg（≒5,900円/kg）	998THB/kg（≒4,500円/kg）		
※参考値（同種日本産品）	取扱なし	2,500THB/房（≒5,000THB/kg=22,750円/kg）（長野県産）	取扱なし		

出所）NRI店頭調査

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）直近の韓国産シャインマスカットおよびいちごの小売価格動向

韓国産シャインマスカット（2024年12月初旬）
（≒SGD 23.2/kg）

韓国産いちご（2024年12月初旬）
（≒SGD 54/kg）

出所）直接撮影

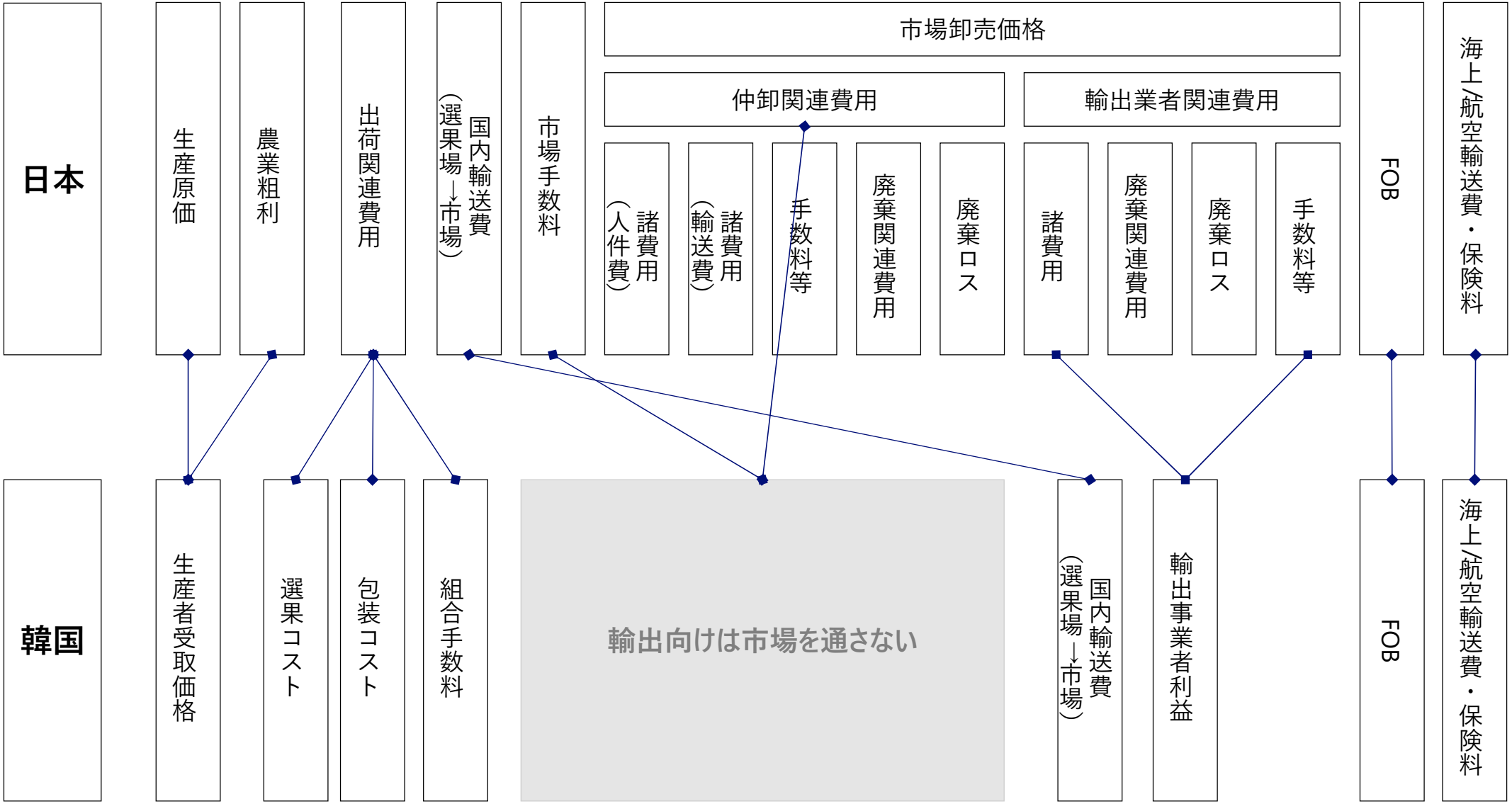
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- 本調査の背景・目的およびスケジュール
- 分析の対象選定（Task 1）
- 韓国産青果物のサプライチェーン構造分析（Task 2）
- **韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）**

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

昨年度調査と本調査における統計項目の比較（国内～通関部分）
なお、現地におけるコスト項目は、基本昨年度のものと概ね同様（ヒアリングにて検証済み）



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

日韓のコスト構造比較のために、以下のように項目を揃えるのはどうか

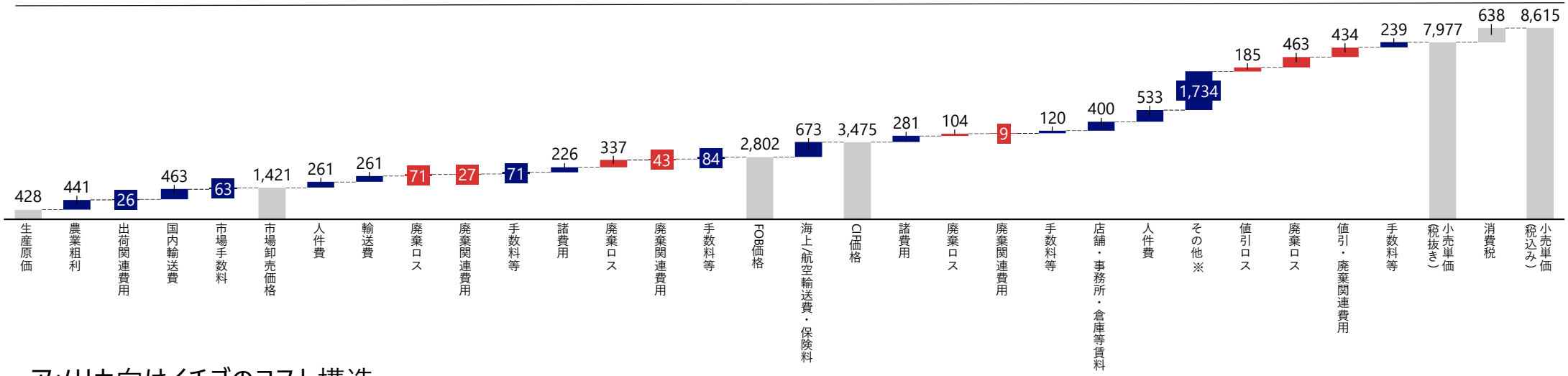
■ コストの中身を考慮し、各項目の最大公約数になるように項目を統一しつつ、ワードは日本寄りに揃えた

日本	韓国		比較のための項目設定
生産原価	生産者受取価格	→	生産者受取価格
農業粗利			
出荷関連費用	選果コスト	→	出荷関連費用（選果、包装等）
	包装コスト		
	組合手数料		
国内輸送費（選果場→市場）	国内輸送費（選果場→港・空港）	→	国内輸送費
市場手数料	該当なし	→	市場手数料
諸費用（人件費）		→	諸費用（人件費）
手数料等			手数料等
諸費用（輸送費）			諸費用（輸送費）
廃棄関連費用		→	廃棄関連費用
廃棄ロス			廃棄ロス
諸費用	輸出事業者諸費用	→	輸出事業者諸費用
手数料等			
廃棄関連費用	該当なし		
廃棄ロス			

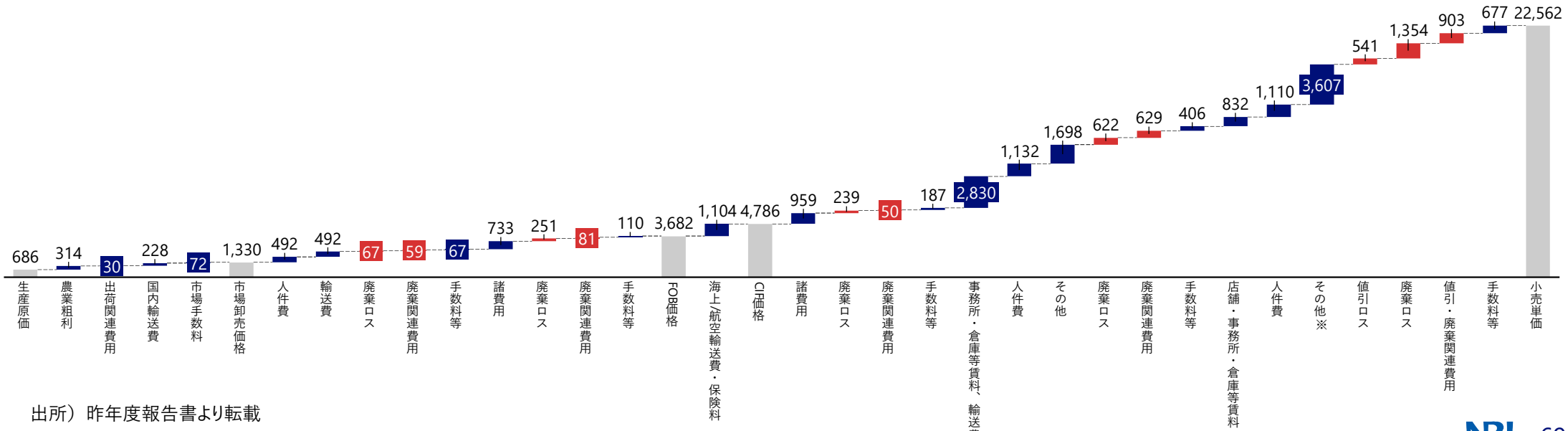
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）昨年度調査（SG/ブドウ、アメリカ/イチゴ）

SG向けブドウのコスト構造



アメリカ向けイチゴのコスト構造



出所）昨年度報告書より転載

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

国別・品目別の日韓の差分（シンガポール向けブドウの場合）

1USD ＝ 140JPY

日本		韓国		差分
項目	金額 (USD/kg)	項目	金額 (USD/kg)	
生産者受取価格	6.17	生産者受取価格	8.41	-2.24
生産原価	3.04			
農業粗利	3.13			
出荷関連費用	**0.18**	出荷関連費用	**1.07**	-0.89
		選果コスト	0.35	
		包装コスト	0.42	
		組合手数料	0.30	
国内輸送費	**5.13**	国内輸送費	**0.18**	**4.95**
国内輸送費（選果場→市場）	3.28			
諸費用（輸送費）	1.85			
市場手数料	**0.45**	なし		**0.45**
市場卸売価格	**10.07**	仕入価格	**11.53**	-1.46
仲卸関連費用（輸送費を除く）	**4.90**			**4.90**
諸費用（人件費)	1.85			
手数料等	0.50	なし		
廃棄関連費用	0.19			
廃棄ロス	0.50			

赤字：日本＜韓国
青字：日本＞韓国

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

国別・品目別の日韓の差分

1USD ＝ 140JPY

日本		韓国		差分
項目	金額 (USD/kg)	項目	金額 (USD/kg)	
輸出業者関連費用	**4.90**	輸出事業者関連費用	**4.18**	**0.72**
諸費用	1.60	輸出事業者利益	0.58	
廃棄関連費用	0.30	その他輸出事業者諸費用	3.60	
廃棄ロス	2.39			
手数料等	0.60			
FOB	**19.87**	FOB	**15.91**	**3.96**
海上/航空輸送費・保険料	**4.77**	海上/航空輸送費・保険料等	0.37	**4.4**
		保険等	1.59	
		輸送コスト	1.33	
		物流費支援	-2.55	-
		その他	4.08	-

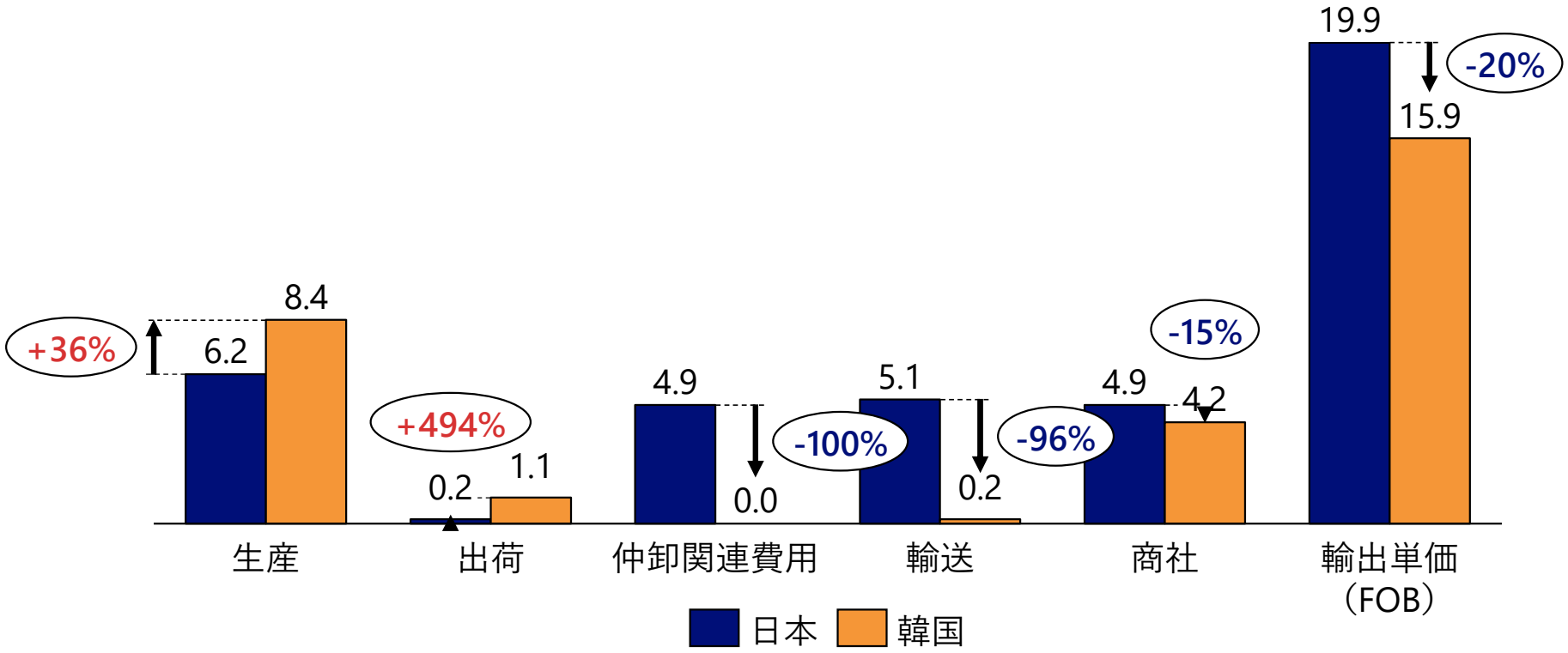
赤字：日本＜韓国
青字：日本＞韓国

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

日韓の国内部分を段階別に比較してみると、韓国の農家は輸出によって手取りが日本より大きい一方、市場関連費用や輸送コストが抑えられ、輸出単価は日本より低く形成

- 日韓を比較してみた場合、韓国は農家の手取りと出荷費用が日本よりも高い状況にもかかわらず、市場を通さないことや輸送コストが大きく抑えられており、最終的には輸出単価が抑えられていることがわかる。
- なお、商社関連費用は日韓に大きい差はなかった。

流通段階別のコスト比較（シンガポール向けブドウの場合）



Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

チェックプライスを運用するためには、特に商社を納得させる必要がある
韓国政府はこれまでは、物流費支援を武器に生産者と商社を納得させて、結束させてきた

- 輸出統合組織は、生産者と商社がそれぞれ出資している株式会社の形態を取っており、補助金業務と共同物流、共同資材の推進などが主な機能
- チェックプライスは、生産者と商社からの納得を得る必要がある。チェックプライス違反、要するに「抜け駆け」に対する罰則が明確でない
- おそらく、行政から給付される物流費支援に対する機会損失が、団体をまとめ上げ、特に商社にチェックプライスを納得させる武器であったと思料

サプライチェーンにおける輸出統合組織と政府の役割

	生産	選果・包装	国内物流	通関	現地物流	販売
輸出統合組織の役割	• 供給契約締結 • 情報システム構築 • 生産者ID付与・管理 • 品質管理 • 安全管理 • 農家教育	• 品質基準策定 • 包装資材の共同購入			• （コロナ対応という観点で大韓航空とのMOU締結）	• 共同ブランドの策定・運営 • 輸出目標策定 • 市場情報調査 • チェックプライスの運用
政府の役割	• R&D費用支援		• コールドチェーン整備支援 • 物流施設に係る費用支援	• 輸出先国の検疫基準に対する情報収集（aT） • 輸出・通関手続教育（aT）		• 輸出計画の評価 • 輸出物量に応じたインセンティブ支給 • 既存・新規マーケット開拓（aT） • 販促イベント開催・出展（aT）

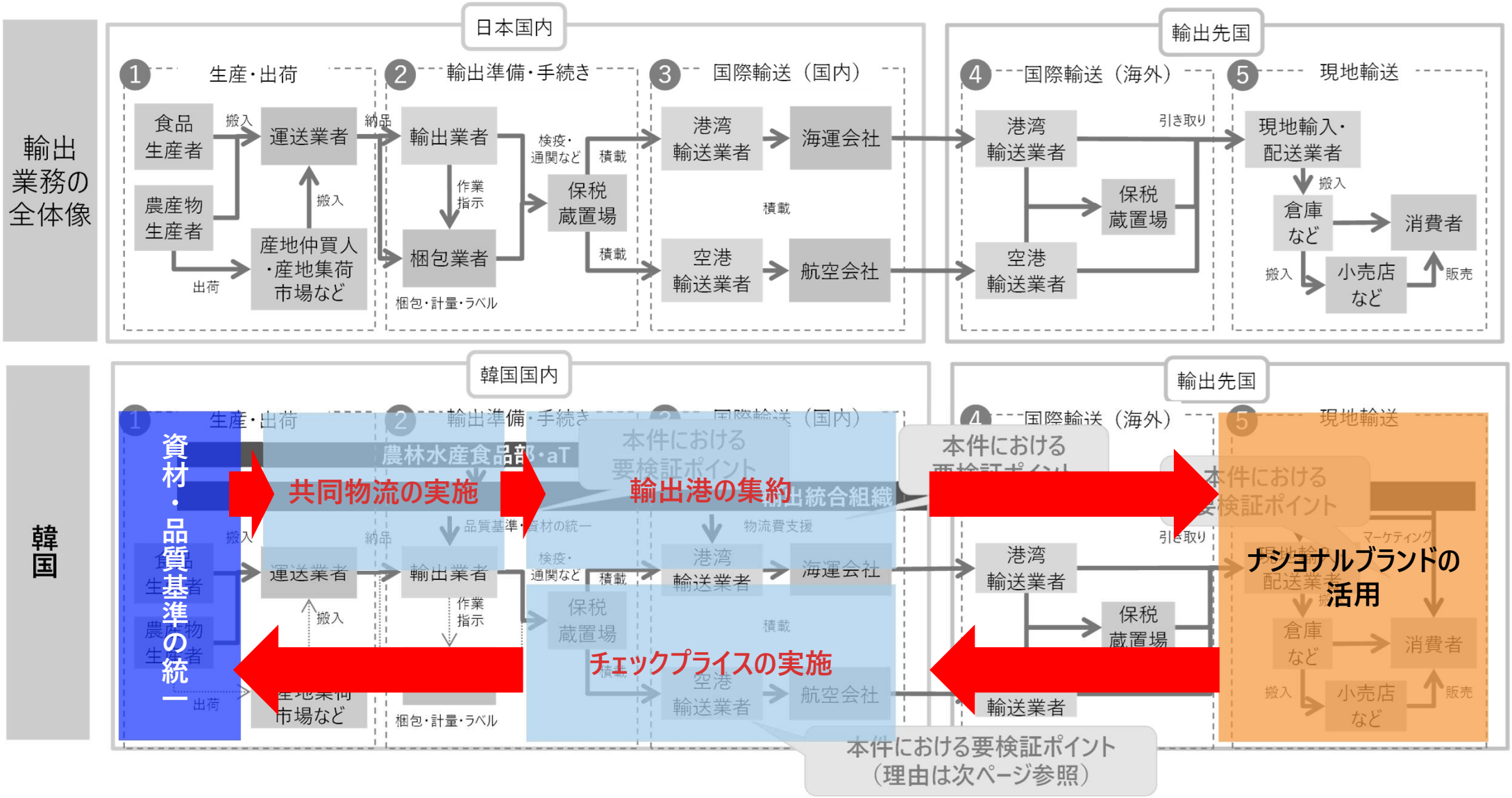
- 未加入輸出業者への物流費支援削減
- 財政自立（資本金拡大など）への誘導
- コンサルティング費支援
- 人件費、賃借料支援
- 人材育成費支援

出所）公開情報および過去ヒアリングよりNRI作成

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

これまでは、物流費支援とチェックプライスをフックとして、輸出に向けた好循環ができていた



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

輸出向けのイチゴおよびシャインマスカットは、市場を通さず、産地から直に輸出される
市場で売れ残ったモノが輸出に向けられるのではなく、そもそも輸出のためのモノを生産

韓国における青果物の流通経路別の占有率（2023、%）

区分		販売								
		合計	生産者	生産者団体（農協）	産地流通業者	産地共同販売場（産地市場）	加工	卸売	大型小売	小売
買入	合計			48.0	35.2	6.6	11.9	50.5	34.9	42.6
	生産者団体（農協）	48.0	48.0				0.5			
	産地流通業者	35.2	35.1	0.1						
	産地共同販売場（産地市場）	6.6	6.5	0.1						
	加工	11.9	4.8	4.2	1.7	1.2				
	卸売	50.5	1.4	21.9	21.1	1.7	4.4			
	大型小売	34.9	0.2	17.8	3.1	1.7	4.2	7.9		
	小売	42.6		0.8	2.2	1.6	1.8	36.2		
	輸出/その他	0.3		**0.3**						
	大量需要先	16.8		1.7	7.1	0.4	1.5	6.1		
	消費者	82.9	4.0	1.1				0.3	34.9	42.6

注）青果物：イモ類、根菜類、果菜類、調味野菜類（唐辛子など）、果物類を総称。数字は、販売先に対する買入先の占有率を指す。
出所）aT

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

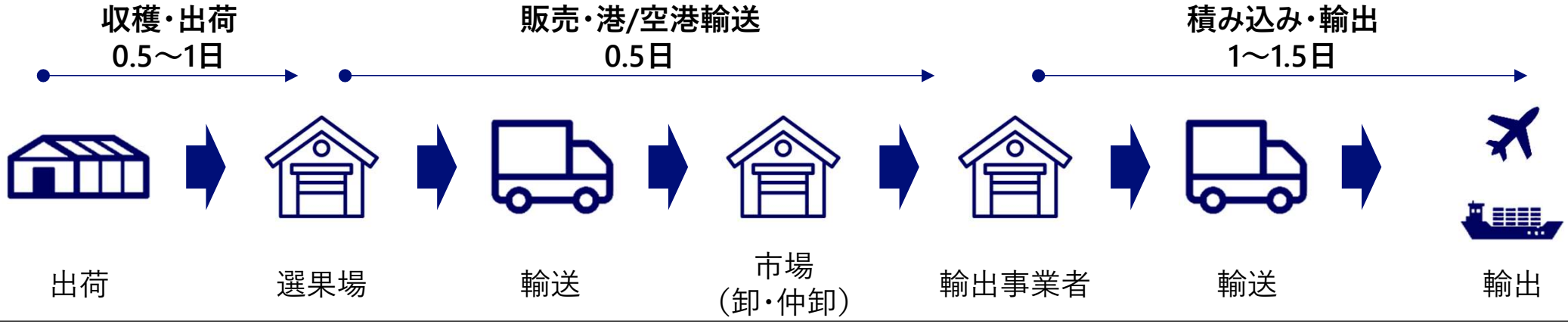
市場を通さず、共同物流によってそのまま空港に運ばれるため、出荷から輸出までの期間は1.5～2日しか要せず、日本と比べるとトータルで0.5～1.5日程度が短縮できている

韓国→SG、ブドウの場合

トータル 1.5～2日

日本→SG、ブドウの場合

トータル 2～3日

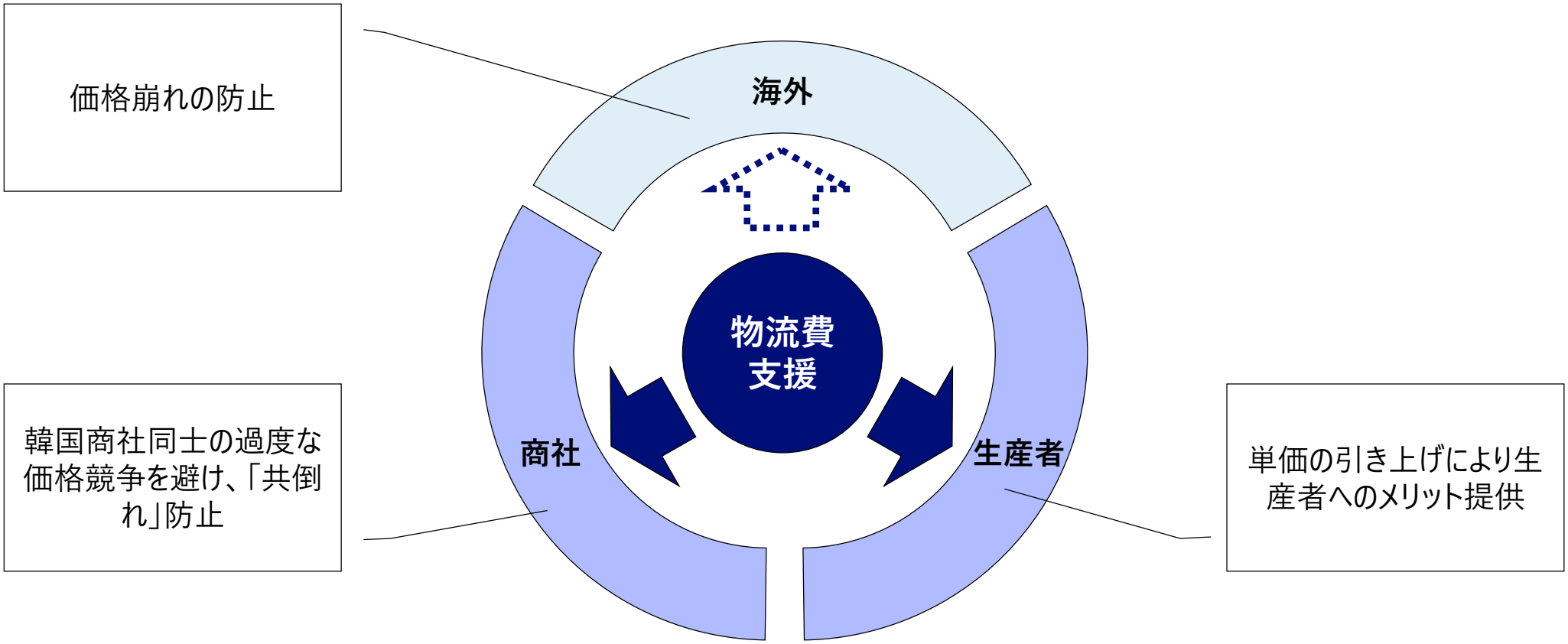


出所）昨年度調査およびヒアリング結果よりNRI作成

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

おそらく、物流費支援の最大の役割は、単価の引き下げを防止するためにチェックプライスを遵守させる、内向きの「飴と鞭」であったと言える

- 価格補助の物流費支援とチェックプライス（最低価格制度）は一件、矛盾しているように見えるかもしれない
- チェックプライス制度に対する「飴と鞭」として物流費支援が活用されたということは、物流費支援が直接の輸出補助金という性格（すなわち、現地における価格競争力の維持）よりも、韓国商社同士の過度な価格競争による「共倒れ」を防ぐ性格が強かったと言える



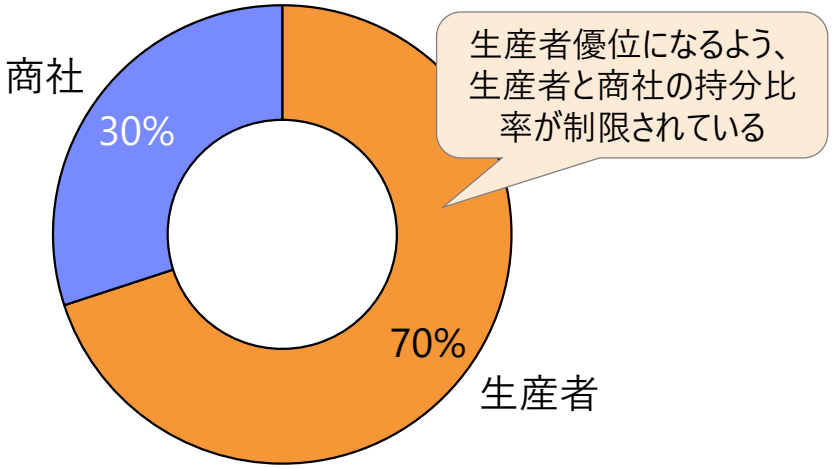
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

行政が生産者と商社をまとめ上げる強いリーダーシップを発揮してきたが、物流費支援の撤廃以降は、それが弱体化しているのではないか

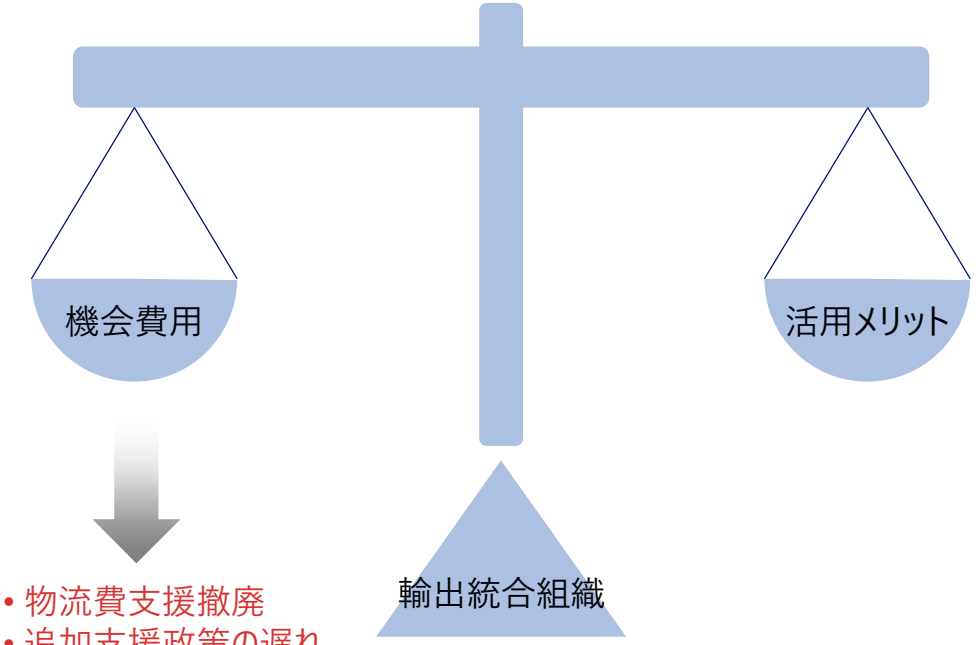
- 従来より、組織内での生産者と商社の軋轢や商社同士の軋轢も指摘されている。
- 結局、構造的に商社側の不満が解消されないまま、物流費支援が撤廃されているため、結束力が弱まっていくのではないか
- 結局、数年前にも指摘されたように、生産機能と商社機能が一体になれておらず、近年の韓国政治の混迷により、それを補強するための新たな施策が打たれないまま、撤廃の期限が過ぎてしまったと解釈

生産者と商社の持分比率



「持分比率を生産者と商社で制限を設けてため、商社の発言力が弱く、生産者が一方的に意見を押し付けてくることもある。
あえて持分比率を設けるよりも、生産者と商社が対等に話し合える土俵を作ってくれるのが政府の役割だと思う。
立場が対等だったら、もっと上手く行っていると思う。」
（2021年度ヒアリングより）

輸出統合組織の相対的メリットの低下



- 物流費支援撤廃
- 追加支援政策の遅れ

出所）公開情報および過去ヒアリングよりNRI作成

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

輸出に対する認識や足並みが生産者と商社の間で揃わないまま、力づくでチェックプライスを守らせていた反動で、輸出統合組織への求心力は低下

- 輸出統合組織制度の根本的な課題が解決されぬまま、生産者と商社をコントロール手段がなくなってしまっている。
- 経済学でいう、いわゆる「鹿狩りゲーム」状態になりつつある。
- 数百に上る零細商社に対する制度の強制力を保つ手段として「物流費支援」を見た場合、これらの零細商社が統廃合されない限りは、独占企業のゼスプリのようになることは難しい

鹿狩りゲーム（物流費支援撤廃の前後比較）

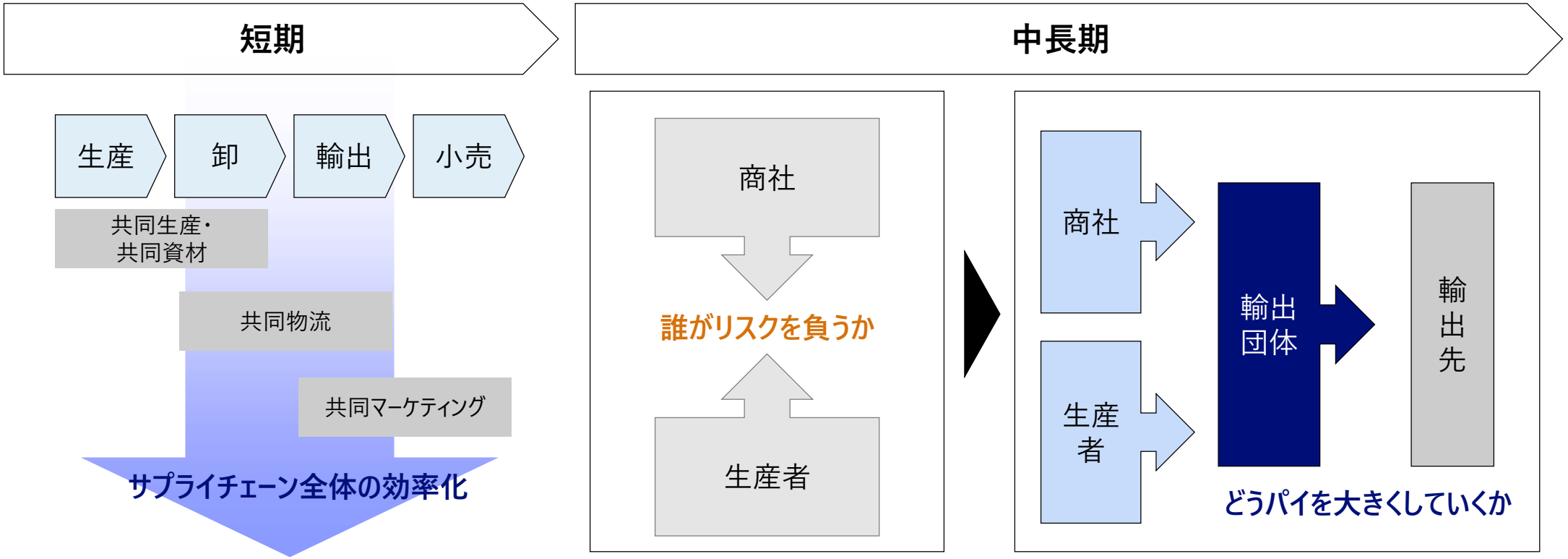
		商社２	
		輸出統合組織への参画（協力）	独自輸出（協力しない）
商社１	輸出統合組織への参画（協力）	(5,5)	Before (0,-1) ↓ After (0,1)
	独自輸出（協力しない）	Before (-1,0) ↓ After (1,0)	(1,1)

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

韓国と日本の相違点の分析・整理（Task 3）

今後、短期的には物流の効率化などの施策を実行しながらも、輸出強化に対する納得感を生産者と商社に対して腹落ちさせることが肝要

- 短期的には共同物流や共同資材など、サプライチェーン全体の効率を上げて、全体の負担を下げていく施策が必要
- 一方ゼスプリのように独占的地位を築けない状況の中、輸出団体が果たす役割は、生産者と商社に同じ方向に向かわせることが重要ではないか
- であるが、中長期的には輸出を強化していくべきという納得感をいかに組成するかにゴールを置くべき



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

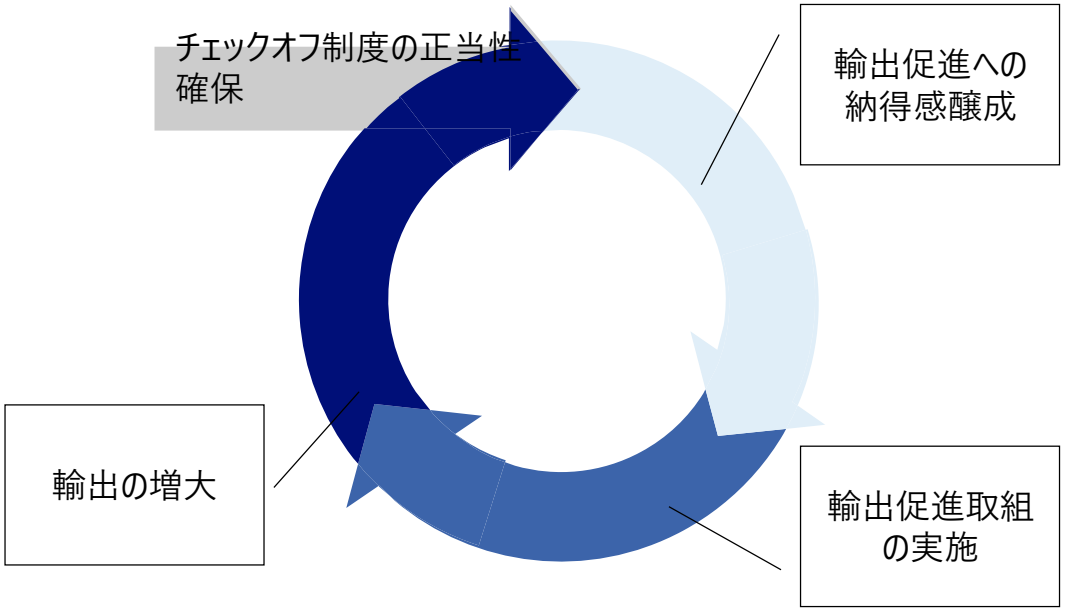
チェックオフ団体と輸出品目団体は、機能を相互に補完可能
チェックオフ団体の代表性と輸出品目団体の取組を上手く連携させて好循環を作る

- 韓国の輸出統合組織の求心力が低下するのは、生産者と農家に対して輸出促進の取組を強制できるほど、正当性がないため
- チェックオフは、その性質上、農家からの代表性を確保することが肝要であるため、多くの国では、チェックオフ団体の代表性を確保する仕組みが備わっている。チェックオフ団体の代表性と輸出品目団体の取組を上手く連携することで、好循環が生まれる

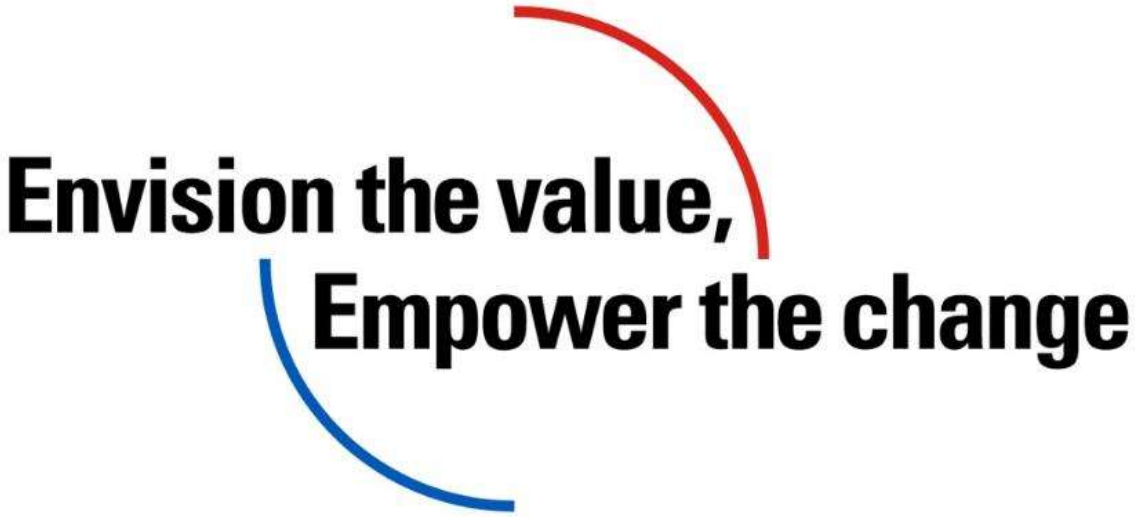
輸出品目団体およびチェックオフ団体の機能比較（輸出促進向け）

	輸出団体	チェックオフ団体
企画	• 海外市場調査 • 輸出促進の戦略策定	• （生産者からの情報をフィードバック）
生産	• （現地のニーズをフィードバック）	• 品質基準の策定 • 設備投資への支援
輸出	• 販路開拓および現地ネットワーク • マーケティング活動の実施	
リスク管理		• 輸出農家に対する資金調達・リスクヘッジ支援

輸出促進に向けた輸出品目団体とチェックオフの好循環



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.


Envision the value,
Empower the change